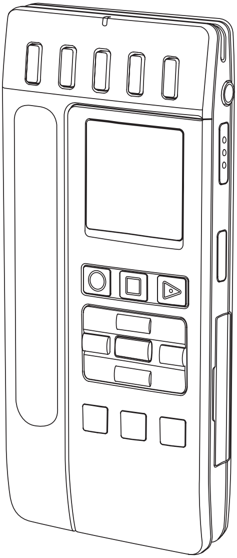
取扱説明書

保証書付

ラジオ付き IC レコーダー

品番 ICR-RS110MF
ICR-RS110M



お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、後々のために大切に保管してください。

- この取扱説明書は「保証書付」です。「お買い上げ日」「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

本機のご使用または故障により生じた損害、逸失した利益、ご使用に要した費用または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。

Ni-MH

ニッケル水素電池はリサイクルへ

INDEX

本機だけで操作する項目です。
パソコンを使用する項目です。
本機、パソコン共通の項目です。

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
＊クレードルはICR-RS110MFのみ付属しています。

安全のため必ずお守りください。

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

⚠「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

本体とクレードル共通のご注意

⚠警告

■ 分解・改造しない

分解禁止

分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げ販売店にご依頼ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、電池（本体）またはACアダプター（クレードル）を抜き、お買い上げ販売店にご相談ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。温度が5℃未満、または35℃を超える場所や湿気の多い場所で使用しないでください。また、身に付けている場合は、汗による湿気が故障の原因となることがあります。水ぬれや湿気による故障は保証の対象外となり無料修理はできません。

■置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。また、不安定な場所に置かないでください。

■雷が鳴り出したら使わない

感電の原因となります。

■煙や変な音やにおいがするときは、使用を中止する

禁止

電源を切り、電池（本体）を取り外す、または電源プラグ（クレードル）をコンセントから抜き、煙がでなくなったことを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

⚠注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない

禁止

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでの録音はノイズが入りますので避けてください。
また、ラジオが正常に受信できない場合があります。

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

注意

磁気の発生する近くに置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

本体のご注意

⚠警告

■ 運転中や危険な場所では使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらのヘッドホンの使用、または細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では絶対に使用しないでください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンで聞く時に耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。また、始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は徐々に上げてください。

クレードルのご注意

⚠警告

■ 電源プラグの注意

禁止

電源プラグはコンセントへ根元まで確実に接続し、電源プラグにゆるみや傷みがある場合は使用しないでください。また、電源プラグやコンセント、それら周辺にほこりなどを付着させないでください。ショートや発熱が起こり、火災の原因となります。

■ ぬれた手で電源プラグをさわらない

禁止

感電の原因となります。

⚠注意

■ 使用上の注意

禁止

- 付属の AC アダプターを使用してください。他のACアダプターを使用すると、故障の原因や、火災や感電など思わぬ事故が起きる可能性があります。また、付属の AC アダプターを、他の機器へ絶対に接続しないでください。
- 旅行などで長期間ご使用にならない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池について

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">安全上のご注意
（下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）</th><th colspan="2">電池の種類と危険の度合い</th></tr>
<tr><th>エネループ
（ニッケル水素電池）</th><th>アルカリ電池</th></tr>
<tr><td>禁止</td><td>■ エネループ以外の充電池を使用しない
安全のため、エネループ以外の充電池、または模造品は使用しないでください。エネループ以外の充電池を使用すると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となります。</td><td>⚠危険</td><td>—</td></tr>
<tr><td>注意</td><td>■ 液漏れ、変色、変形、外傷、変なにおいなどに気付いたときは、すぐに取り出して使用を中止し、火気から遠ざける
● 異常状態のまま使用を続けると、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。
● 液漏れしている場合は、火気に近づけると電池の電解液に引火し、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。</td><td colspan="2">⚠危険</td></tr>
<tr><td>分解禁止</td><td>■ 変形・分解・改造しない
変形、分解、電池に直接ハンダづけするなどの改造をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因となります。</td><td>⚠危険</td><td>⚠警告</td></tr>
<tr><td>禁止</td><td>■ プラスとマイナスを針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない
ショート状態になり、過大な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。また、針金やネックレスなどの金属が発熱する原因となります。</td><td>⚠危険</td><td>⚠警告</td></tr>
<tr><td>禁止</td><td>■ 火中に投入したり、加熱しない
絶縁物が溶けたり、安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火や破裂の原因となります。</td><td>⚠危険</td><td>⚠警告</td></tr>
</table>

安全上のご注意 （下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）		電池の種類と危険の度合い	
		エネループ（ニッケル水素電池）	アルカリ電池
禁止	■ **本機、または指定された充電器以外では充電しない** 他の充電器で充電すると、過度あるいは異常な電流での充電状態となって電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	ー
禁止	■ **外装をはがしたり、傷つけたりしない** 外装をはがす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなどをすると電池内部でショート状態となり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	⚠警告
注意	■ **指示通りに入れる** ● 極性（プラスとマイナス）に注意し、表示通りに入れてください。 ● 万一極性を逆に入れた場合、充電時には異常な化学反応が起こったり、使用時には異常な電流が流れたりして、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	⚠警告
禁止	■ **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止める** そのままつづけて充電すると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	ー
注意	■ **充電して使う** ● エネループが消耗したときは、必ず充電してからご使用ください。充電中に電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。 ● 乾電池は充電しないでください。 ● 本機以外で充電するときは、エネループ対応の充電器を使用し、充電器の「取扱説明書」に従って正しく充電してください。	⚠注意	ー

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">安全上のご注意
（下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）</th><th colspan="2">電池の種類と危険の度合い</th></tr>
<tr><th>エネループ
（ニッケル水素電池）</th><th>アルカリ電池</th></tr>
<tr><td>禁止</td><td>■ 使用しているときに電池を抜かない
本機を使用しているときには電池を抜かないでください。データが壊れたり、故障の原因となります。</td><td colspan="2">⚠警告</td></tr>
<tr><td>注意</td><td>■ 録音や、録音内容を消去するときは、残量を確認する
● 録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったときは、すぐに録音をやめて、充電または新しい電池に交換してください。
● 消去の途中で電池切れになると、録音内容は消去できません。</td><td colspan="2">⚠注意</td></tr>
<tr><td>禁止</td><td>■ 長時間入れたままにしない
● 本機を長時間（1 週間程度）使用しないときは電池を取り出して、涼しい場所で保管してください。</td><td colspan="2">⚠警告</td></tr>
</table>

電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

充電式電池の廃棄について

エネループ（ニッケル水素電池）はリサイクルシステムが整備されています。寿命がきたり不要になった充電池は、（＋）（－）端子部にテープなどを貼って、リサイクルマークのある協力店や特定の回収窓口にある回収 BOX へお入れください。
充電式電池の回収やリサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人 JBRC のホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html をご参照ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送や MD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
実演や興行の中には、個人として楽しむ目的であっても録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容 (データ) の損失を防ぐために

1. **録音前には必ず試し録音をしてください。**
2. **録音データを他の機器にバックアップしてください。**
3. **電池の残量が充分にある電池をお使いください。**

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

商標および登録商標についての注意

- Microsoft、Windows Media™ および Windows® ロゴは米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- Windows Media™ Player は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- microSD ロゴ、および microSDHC ロゴは商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

※本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

お使いになる前に

本書の見方

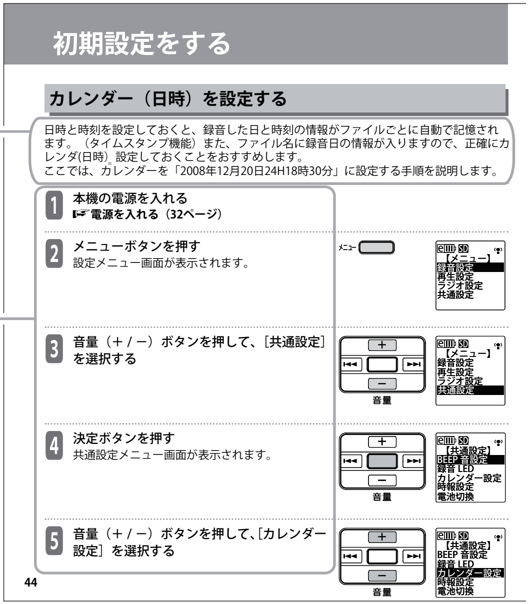
- 本書の中では、「microSD™ メモリーカード（付属）」、「microSDHC™ メモリーカード（別売）」を総称して「microSD カード」と表記しています。
- 本機は、各操作（一部を除く）を音声でご案内する「音声ガイド機能」を搭載しています。
☞ **音声ガイド /BEEP 音を設定する（146 ページ）**
- 本書の表記中の録音残時間や各種設定の表示は、挿入している microSD カードの容量や録音状態によって異なることがあります。
- **クレードルは ICR-RS110MF にのみ付属しています。ICR-RS110M には付属していません。**

機能・操作の概要

本機で操作、設定できる機能の概要を説明しています。
また、他の機能と同時に設定できない条件などを説明しています。

操作手順

操作、設定の方法を順番に説明しています。
また操作、設定中に気をつけていただきたい内容についても説明しています。
［　］は、画面内の選択項目を表します。
☞ は、参照・補足する内容が記載されているページを表します。


初期設定をする

カレンダー（日時）を設定する

日時と時刻を設定しておくと、録音した日と時刻の情報がファイルごとに自動で記憶されます。（タイムスタンプ機能）また、ファイル名に録音日の情報が入りますので、正確にカレンダ(日時)設定しておくことをおすすめします。
ここでは、カレンダーを「2008年12月20日24H18時30分」に設定する手順を説明します。

1 本機の電源を入れる
☞ 電源を入れる（32ページ）

2 メニューボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。

3 音量（＋ / −）ボタンを押して、［共通設定］を選択する

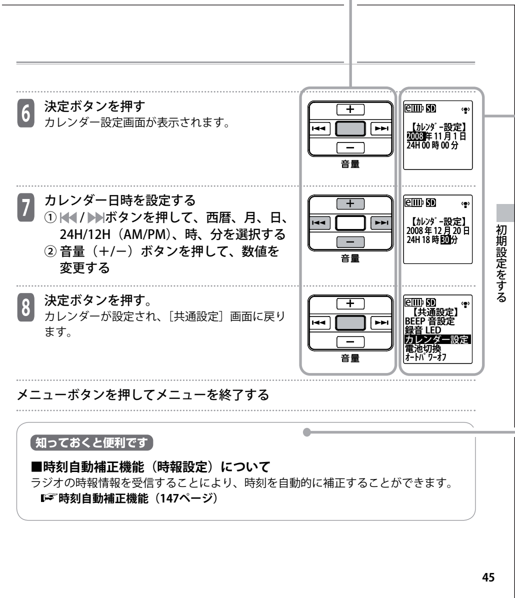
4 決定ボタンを押す
共通設定メニュー画面が表示されます。

5 音量（＋ / −）ボタンを押して、［カレンダー設定］を選択する

44

本機で操作するボタン/スイッチ

操作、設定時に使用する本機のボタンやスイッチを説明しています。
図の中にある番号は、操作手順の手順番号を表しています。



6 **決定ボタンを押す**
カレンダー設定画面が表示されます。

7 **カレンダー日時を設定する**
① ⏮/⏭ボタンを押して、西暦、月、日、24H/12H（AM/PM）、時、分を選択する
② 音量（+/−）ボタンを押して、数値を変更する

8 **決定ボタンを押す。**
カレンダーが設定され、［共通設定］画面に戻ります。

メニューボタンを押してメニューを終了する

知っておくと便利です

■時刻自動補正機能（時報設定）について
ラジオの時報情報を受信することにより、時刻を自動的に補正することができます。
☞時刻自動補正機能（147ページ）

45

画面表示

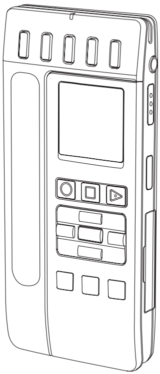
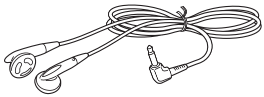
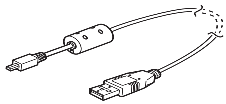
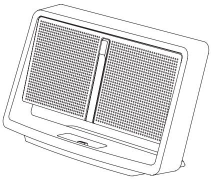
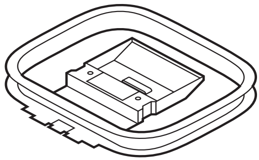
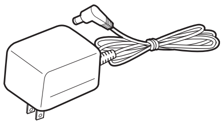
操作中や、操作後に画面に表示される内容です。
※この取扱説明書の画面表示は、操作説明のため実際の表示とは異なる場合があります。

補足事項・注意事項

操作や設定の際に知っておくと便利な内容や、操作や設定の際に遵守していただきたい内容です。
注意事項を守らないと、正しく操作や設定がされなかったり、本機の故障やデータの損失につながったりするおそれがあります。

付属品を確認する

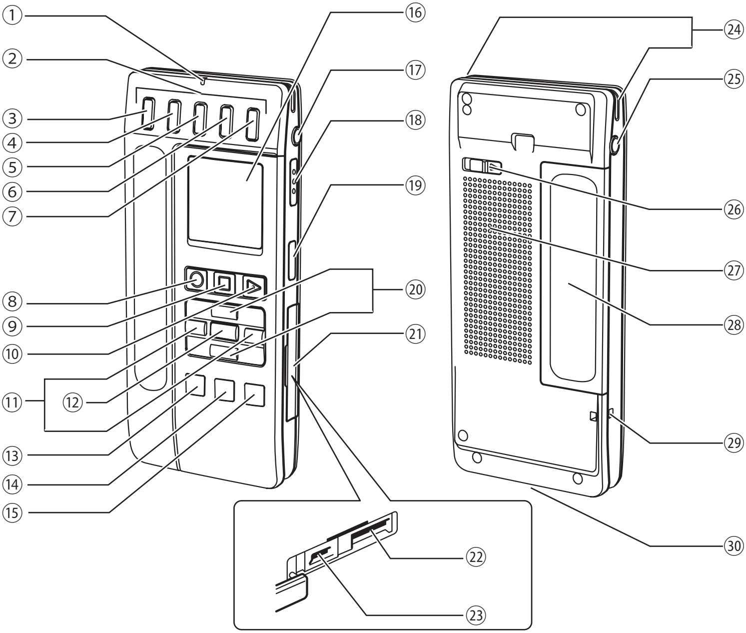
箱から出して、以下の付属品がそろっていることを確認してください。

ラジオ付き IC レコーダー本体 	インナーイヤー型 ステレオイヤホン *1 	専用 USB 接続ケーブル 
	マルチクレードル (ASX-SP500) *2 	AM ループアンテナ *2 
	FM アンテナ *2 	microSD カード ICR-RS110MF ・・・ 2GB ICR-RS110M ・・・・ 1GB
	クレードル用 AC アダプター *2 	単三形エネループ充電池（1 本） 本書（保証書付） 基本操作ガイド

*1 本機ではリモコン付きなどの 4 極プラグ端子ステレオヘッドホンは使用できません。
*2 ICR-RS110MF のみ付属しています。

各部のなまえとはたらき

本体



① 録音 LED ランプ
録音中は赤く点灯し、本機が録音中の状態であることをお知らせします。

② ダイレクト選局ボタン（1 ～ 5）
SD モード中 :
それぞれのボタンごとに異なるはたらきをします。
ラジオモード中 :
あらかじめプリセットしておいた放送局を呼び出します。また、お好みの放送局をプリセットすることもできます。

③ A-B リピートボタン（選局ボタン 1）
SD モード中 :
再生中のファイルの一部分を繰り返し再生（A-B リピート）します。
ラジオモード中 :
選局ボタン 1 としてはたらきます。

④ センテンスボタン（選局ボタン 2）
SD モード中 :
再生中のファイルを設定した秒数だけ戻って再生（センテンス再生）します。
ラジオモード中 :
選局ボタン 2 としてはたらきます。

⑤ インデックスボタン（選局ボタン 3）
SD モード中 :
録音中、または再生中に、聞きたい場所の頭出しに便利なインデックスを付けることができます。
ラジオモード中 :
選局ボタン 3 としてはたらきます。

⑥ 分割ボタン（選局ボタン 4）
SD モード中 :
1 つのファイルを 2 つに分割することができます。
ラジオモード中 :
選局ボタン 4 としてはたらきます。

⑦ 消去ボタン（選局ボタン 5）
SD モード中 :
消去メニューを表示します。
ラジオモード中 :
選局ボタン 5 としてはたらきます。

⑧ 録音ボタン
録音を開始します。
録音中に押すと録音を一時停止します。もう一度押すと、一時停止を解除し、録音を再開します。

⑨ 停止 / もどるボタン
ファイルの録音や再生を停止します。
メニュー操作中は、一つ前の画面に戻ります。

⑩ 再生ボタン
ファイルを再生します。

再生中に短押しすると、再生スピードが 70%→ 150%→ 100%（MP3）、70%→ 120%→ 100%（WMA）段階的に切り換わります。
再生中に長押しすると、クリアボイス再生されます。

⑪ ⏮ / ⏭（早戻し、早送り）ボタン
再生中に短押しすると、ファイルの頭出しをします。
再生中に長押しすると、再生中のファイルの早送り、早戻しをします。
停止中は、フォルダ内のファイルを選択します。
メニュー操作中やリスト画面操作中は一つ上（または下）の階層へ移動します。

⑫ 決定 / フォルダ選択ボタン
メニュー操作中やリスト画面操作中は、選択した内容を決定して、次の画面に移ります。
SD モード中 :
フォルダ選択画面を表示します。
ラジオモード中 :
選局方法を切り換えます。

⑬ 予約ボタン
タイマー予約設定画面を表示します。
MP3/WMA 再生中 :
再生スピードを遅くします。

⑭ AM/FM ボタン
SD モード中 :
ラジオモードに切り換わります。
MP3/WMA 再生中 :
再生スピードを早くします。
ラジオモード中 :
AM 放送と FM 放送を切り換えます。

⑮ SD/ リストボタン
SD モード中 :
リスト画面に切り換わります。
ラジオモード中 :
SD モードに切り換わります。

⑯ 液晶パネル
本機の状態や様々な情報を表示します。
また、使用状況に応じて、パネルの明るさ（バックライト）やコントラストを調整することもできます。

⑰ マイク端子
外部マイク（別売）を使用して録音するときに、マイクを接続する端子です。
また、外部機器をこの端子に接続して、本機で録音することもできます。

⑱ 電源ボタン
電源のオン / オフをおこないます。
電源オンのときは短押し、電源オフのときは長押しします。

⑲ メニューボタン
設定メニューを表示します。
再生中に押すと、再生メニューを表示します。
MUSIC（M）フォルダでリスト表示中に押すと、プレイリスト操作画面が表示されます。

⑳ 音量（＋ / −）ボタン
スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。
メニュー操作中やリスト画面操作中は、同じ階層内の項目やファイル（またはフォルダ）を選択します。

㉑ USB/microSD カードスロットカバー
カバーを開けると､USB 端子と microSD カードスロットがあります。
使用しないときは、カバーを閉じておいてください。

㉒ microSD カードスロット
録音や再生に使用する microSD カードを挿し込みます。

㉓ USB 端子
付属の USB ケーブルでパソコンと接続する端子です。

㉔ 内蔵ステレオマイク
本機のみで録音するときに使用するステレオマイクです。

㉕ ヘッドホン端子
ヘッドホンで音を聞くときに使用するステレオヘッドホン端子です。

㉖ ホールド /USB 充電スイッチ
誤作動を防止するためのスイッチです。各ボタンを押しても機能しなくすることができます。
USB 接続後にスイッチを切り換えるとエネループの充電を開始します。

㉗ スピーカー
再生中の音声が出力されます。

㉘ 電池ぶた
電池を入れる、または交換するときに開けるふたです。

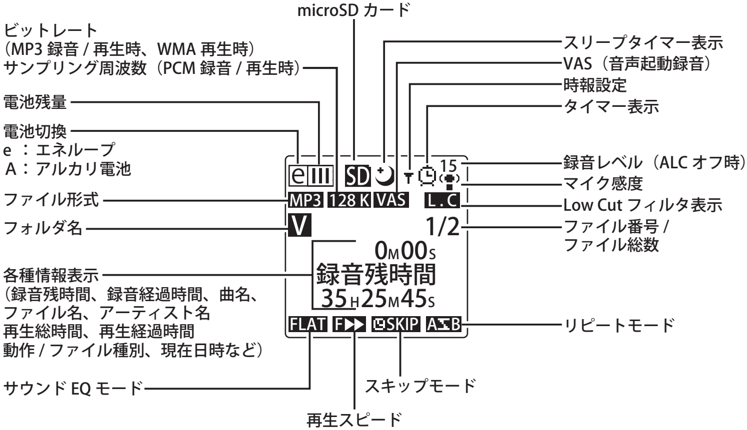
㉙ ストラップ穴
ストラップを取り付ける穴です。

㉚ I/O 端子
クレードルに接続する端子です。

液晶パネル

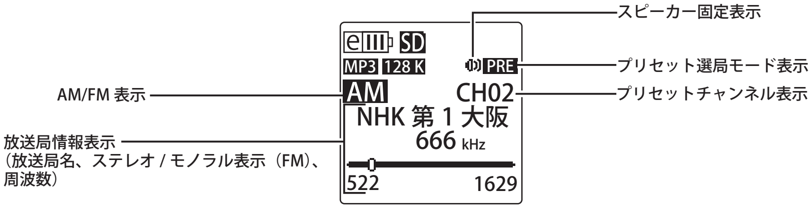
■ SD モード画面（基本画面）

すべての画面を一度に表示することはできません。



■ラジオモード画面

本機でラジオを受信中の画面です。

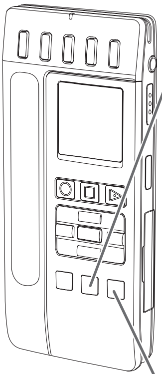


液晶パネルのコントラストの調整をすることができます。

☞ **画面のコントラストを調整する（152 ページ）**

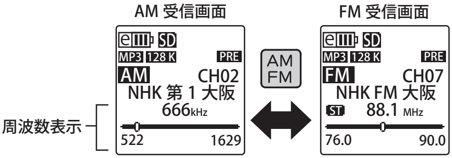
動作モードについて

本機は､ラジオを聞くときの｢ラジオモード｣とボイスレコーダーやミュージックプレイヤーとして使うときの「SD モード」を切り換えて使用します。



ラジオモード

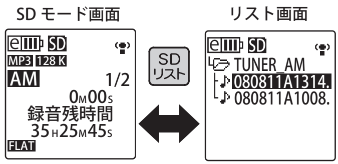
ラジオを聞いたり、録音したりするときのモードです。
AM/FM ボタンを押すごとに AM⇔FM が切り換わります。
ラジオモードに切り換えると、画面に周波数が表示されます。



SD/ リストモード

microSD カード内のファイルを再生したり、マイク録音したりするときのモードです。
SD/ リストボタンを押すごとに SD モード画面⇔リスト画面が切り換わります。

☞ **リスト画面の操作（28 ページ）**



ファイル / フォルダについて

本機では、1 回の録音単位を「ファイル」、そのファイルを入れておく場所を「フォルダ」と呼びます。「ファイル」は「フォルダ」に収容され、本機に挿入されている microSD カードに保存されます。

ファイルとは

1 回の録音操作（録音ボタンを押してから停止ボタンを押すまで）を行うごとに、1 つの録音データが作成されます。この録音 1 回分のデータを「ファイル」と呼びます。本機で録音したファイルには自動的に任意の名前（ファイル名）がつき、10 回の録音を行うと 10 個の名前の違うファイルが作成されることになります。

■ファイル名について

本機で録音したファイルには、以下のような構成で自動的に名前がつきます。

001_ 081120 A 1008.MP3

①: 001_　②: 081120　③: A　④: 1008　⑤: .MP3

①：ファイル番号*（録音するごとに、001、002、003…と順次ファイルが作成されていきます）
②：日付（ファイルを録音した日付です） 08（年） 11（月） 20（日）
③：録音内容（録音した内容によって変わります）
A: AM 録音、F: FM 録音、V: マイク録音
④：周波数（AM 録音、FM 録音時のみ付けられます）
⑤：拡張子（ファイル形式です。MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV となります）

* 本機では表示されません。パソコンでのみ表示されます。

・ゴミ箱機能を使ってゴミ箱に移動したファイルは、ファイル名が変更されます。
☞ **ゴミ箱機能について（116 ページ）**

フォルダとは

たくさんの録音を行うとファイルの数が多くなってくるので、あとから目的のファイルを探し出すのが大変です。そこで、録音する内容ごとにファイルを入れておく場所を分ければ、あとから必要なファイルを探し出すのに便利です。この、ファイルを入れておく場所を「フォルダ」と言います。
フォルダは、フォルダの中にさらにフォルダを作成し、細かく分類していくことができます。フォルダの中にフォルダを作ることを「階層」と呼び、階層が深くなっていく度に第１階層、第２階層…と言います。

■本機のフォルダ構成について

本機では、以下のようにあらかじめいくつかのフォルダが用意されています。

● TIMER フォルダ（T1 ～ T5）

タイマー予約録音用フォルダです。本機でタイマー予約録音した音声ファイルはここに保存されます。TIMER フォルダ内には T1 ～ T5 の 5 つのフォルダが用意されており、例えば T1 フォルダはラジオ講座用、T2 フォルダは FM エアチェック用といったように目的に応じて使い分ければ、後から録音したファイルを探すのに便利です。

☞ タイマー予約を設定する（96 ページ）

● TUNER_AM フォルダ（AM）

AM ラジオ録音用フォルダです。本機で受信中の AM ラジオ放送を手動で録音した音声ファイルはここに保存されます。

☞ ラジオ放送を録音する（63 ページ）

● TUNER_FM フォルダ（FM）

FM ラジオ録音用フォルダです。本機で受信中の FM ラジオ放送を手動で録音した音声ファイルはここに保存されます。

☞ ラジオ放送を録音する（63 ページ）

● VOICE フォルダ（V）

マイク録音用フォルダです。会議や講義、楽器演奏など、本機でマイク録音した音声ファイルはここに保存されます。

☞ 会議など人の声を録音する（65 ページ）
☞ 楽器演奏や自然の音などを録音する（67 ページ）

● MUSIC フォルダ（M）

パソコンから MP3、WMA 形式および、本機で録音された WAV 形式のファイルを転送して再生するフォルダです。お手持ちの音楽 CD や語学 CD をパソコンに取り込み、本機で再生する場合はこのフォルダを利用します。但し、日本語及び英数字以外のファイル名のファイルは本機では再生できません。また、本機の録音操作で、このフォルダに録音することはできません。尚、パソコンを使えば MUSIC フォルダ内にさらに 2 階層まで任意のフォルダを作成することができます。

MUSIC フォルダには、あらかじめ 5 つのプレイリスト用ファイル（MYLIST1 ～ 5）が用意されています。MUSIC フォルダ内のファイルを各 MY LIST に登録することで、お好きな順番で再生することができます。

☞ Windows Media Player で音楽ファイルを転送する（176 ページ）
☞ プレイリスト機能（91 ページ）

● RECYCLE フォルダ（🗑）

ゴミ箱フォルダです。ゴミ箱機能がオンの時、本機で消去したファイルがこのフォルダに移動されます。ゴミ箱フォルダ内のファイルは元に戻すことができますので、誤って消去した場合などでも安心です。

☞ ゴミ箱機能について（116 ページ）

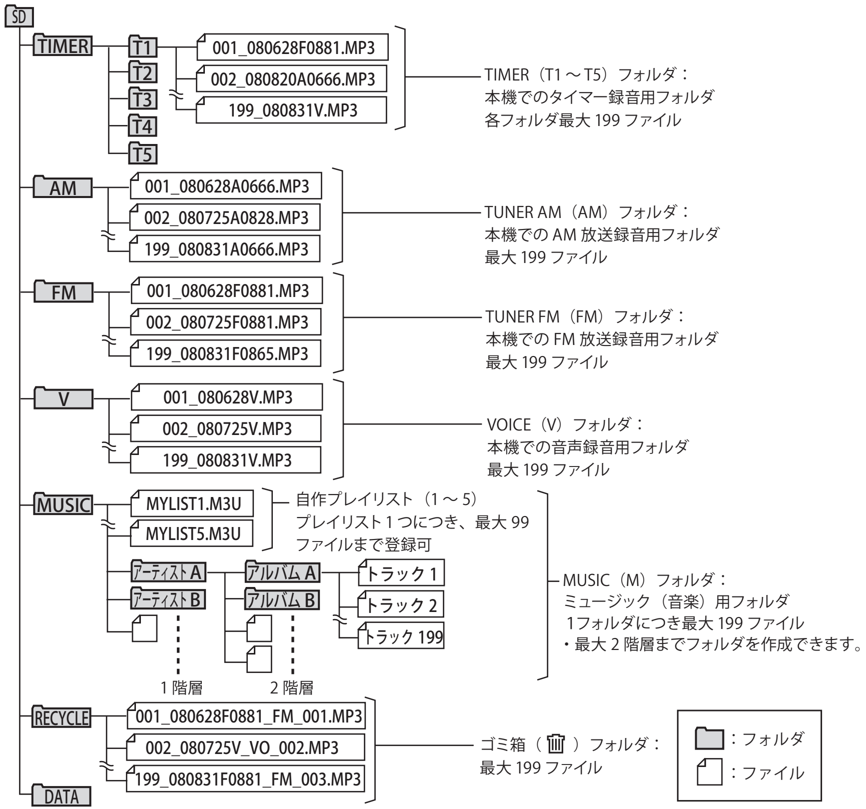
● DATA フォルダ

本機からは見えません。本機をパソコンに接続したときに見ることができます。

ワードやエクセルなどのファイルを入れて、本機を microSD カードリーダー / ライター（リムーバブルディスク）として使うためのフォルダです。

☞ microSD カードリーダー / ライターとして使用する（179 ページ）

フォルダ構成と最大ファイル数



- 録音（録音→停止）するごとに、ファイルが 1.2.3. と順次作成されていきます。何度録音しても、上書きはされず、消去操作をしない限りファイルは消えません。

知っておくと便利です

■ MUSIC フォルダの最大ファイル数について

・ MUSIC（M）フォルダの最大ファイル数（199 ファイル）には、サブフォルダやプレイリストファイルも含まれます。
例えば、MUSIC フォルダの直下には、あらかじめプレイリスト用ファイル（MYLIST1 ～ 5）が 5 つ用意されているので、収容可能なファイル数は、以下のようになります。

199（最大ファイル数）−5（ MYLIST1 ～ 5）＝194（ 収容可能なファイル数）

また、MUSIC フォルダの直下に、新しいフォルダを 10 個作った場合の収納可能なファイル数は、以下のようになります。

199（最大ファイル数）−5（ MYLIST1 ～ 5）−10（ サブフォルダの数）
＝184（ 収容可能なファイル数）

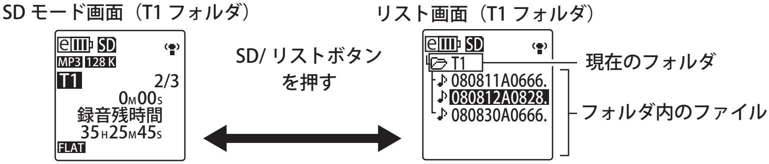
プレイリストファイル、サブフォルダ、ファイルの合計が 199 を超えた場合、200 番目以降のファイルが本機で表示されず、本機で再生することができなくなります。
最大 199 ファイルを超えないようにしてください。

リスト画面の操作

リスト画面は、microSD カード内のフォルダやファイルをツリー型の一覧で表示します。目的のフォルダやファイルをすばやく簡単に選ぶことができます。

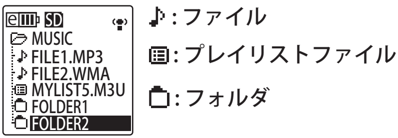
リスト表示する

SD モード画面で SD/ リストボタンを押すと、リスト画面に切り換わります。
リスト画面は、SD モード画面で選択していたファイルを最初に表示します。



- 再生中や録音中は、リスト画面を表示できません。再生中に、SD/ リストボタンを押すと、再生を停止してからリスト画面に切り換わります。
- ファイル名が画面に収まらない場合、カーソルを合わせたまま、しばらく待っているとスクロール表示します。
  ☞ **ファイル名について（23 ページ）**
- もう一度 SD/ リストボタンを押すと、SD モード画面に戻ります。

■リスト画面に表示されるアイコンについて



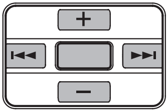
上図は例です

選択したフォルダに
ファイルがない場合

リスト画面で操作する

ファイルとフォルダの切り換え選択は音量（＋ / －）ボタン、⏮ / ⏭ボタンだけで行うことができます。

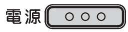
■リスト表示中の各ボタンの機能

	＋	カーソルを上方向に移動します。
	－	カーソルを下方向に移動します。
	⏮	一つ上の階層に戻ります。
	⏭	選択中のフォルダを開きます。
	（決定）	選択中のフォルダを開きます。 ファイル選択時は、リスト画面を終了して SD モード画面を表示します。
	録音	リスト画面を終了して録音を開始します。
	停止	リスト画面を終了して SD モード画面に戻ります。
	再生	選択中のフォルダまたはファイルの再生を開始します。 選択したフォルダにファイルがない場合は、「再生するファイルがありません」と表示してから SD モード画面に戻ります。

フォルダを切り換える

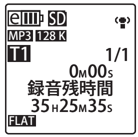
SD モード画面からフォルダを切り換える

1 **電源を入れる**



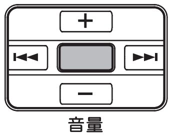
2 **SD モード画面を表示する**

・ SD/ リストボタンを押すごとに、SD モード画面⇔リスト画面が切り換わります。

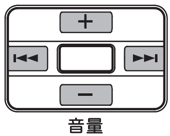


3 **決定ボタンを押す**

フォルダ選択画面が表示されます。

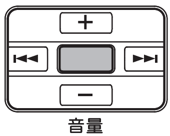


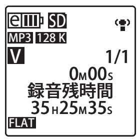
4 **音量（＋ / －）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押して、切り換えたいフォルダを選択する。**



5 **決定ボタンを押す。**

選択したフォルダに切り換わり SD モード画面に戻ります。





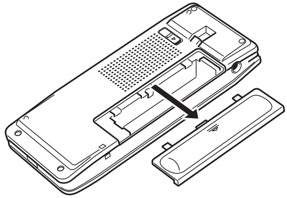
・ リスト画面からフォルダを切り換えることもできます。(☞ 29 ページ)

電池を入れる

付属のエネループ充電池を本機に入れます。

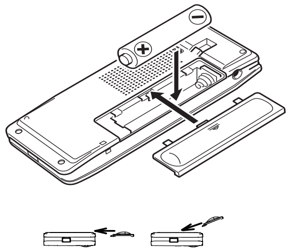
1 電池ぶたをあける

電池ぶたを矢印の方向に横にすべらせるようにスライドさせてください。



2 エネループ充電池（付属）またはアルカリ乾電池を入れて、電池ぶたを閉める

- 電池の＋、－の向きに注意して入れてください。
- 電池を交換する際、5 分以内に新しい電池に交換しないと、カレンダー設定がクリアされたり、タイマー設定や時報設定の「ON」が「OFF」に変わったりすることがあります。この場合は、再度、カレンダー設定、タイマー設定、時報設定を行なってください。録音した内容やアラーム設定は消えません。



- **電池ぶたは横に滑らせるようにスライドさせて取り付けてください。斜めに差し込んで上から強く押し込むと、本機や電池ぶたが破損することがあります。**

知っておくと便利です

本機に付属のエネループ充電池のほかに、市販のアルカリ乾電池を使うことができます。

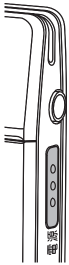
- 市販のアルカリ電池を使うときは、設定メニューの【電池切換】を［アルカリ電池］に設定してください。 但し、エネループ充電池以外は充電できません。

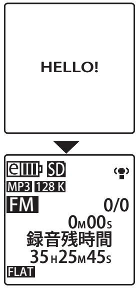
☞ **使用する電池の種類を切り換える（150 ページ）**

電源を入れる / 切る

■電源を入れる

電源ボタンを押す





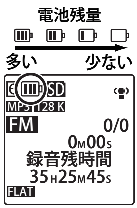
- 電源が入り、「HELLO!」と画面に表示された後、レジューム機能により前回電源を切る前に選ばれた動作モードが表示されます。
  ☞ **動作モードについて（22 ページ）**
- SD モードでは、前回停止した位置から再生することができます。（再生レジューム機能）

■電源を切る

電源ボタンを 2 秒以上長押しする

- 「SEE YOU」が表示された後、電源が切れます。

電池の残量について



電池の残量は、画面で確認することができます。

が表示された場合は、新しい電池に交換するか、充電してください。

- 電池が切れると、画面に［電池切れです］と表示された後、画面が消灯します。
- 設定メニューの【BEEP 音設定】が［音声ガイド］または［警告音］に設定されている場合は、電池切れの際に「BEEP 音」または「音声ガイド」が鳴ります。
- 周囲の温度や使用状態などにより、電池残量の表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。

レジューム機能について

電源が切れる前の本機の動作モード、ファイル、再生位置状態を記憶し、次回電源を入れたときに前回電源を切ったときの状態で起動する機能です。
ただし、以下のような場合には、レジューム機能ははたらきません。
- フォルダを切り換えたとき
- パソコンに接続したとき
- 電源オフ操作を行わずに、電池または microSD カードを抜いたとき
- 電源オン後に microSD カードを挿入したとき
- AC 動作モードで電源オフ操作を行わずに、本機と外部電源の接続をはずしたとき

知っておくと便利です

■初めて電源を入れたときは

初めて本機の電源を入れたときは、カレンダーやお使いになる地域の設定を行ってください。

☞**カレンダー（日時）を設定する（44 ページ）**
☞**お使いになる地域を設定する（46 ページ）**

■オートパワーオフ機能について

オートパワーオフ機能の設定により、電源が入った状態で約 15 分間放置すると自動的に電源が切れます。

・ お買い上げ時はオートパワーオフ機能は「15 分」に設定されています。

☞**オートパワーオフを設定する（151 ページ）**

■スリープタイマー機能について

スリープタイマーを設定すると、設定した時間が経過した後、自動的に電源を切ることができます。

☞**スリープタイマーを使う（115 ページ）**

エネループを充電する

本機に付属のエネループは、本機に入れた状態でパソコンやクレードルで充電することができます。

☞ **パソコンまたは USB 対応 AC アダプターで充電する（160 ページ）**
☞ **クレードルで充電する（43 ページ）**

AC 動作モードで使用する（クレードル）(ICR-RS110MF のみ）

付属のクレードル (ICR-RS110MF のみ) に接続し、AC 動作モード（外部電源）で使用することができます。

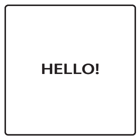
1 本機の電源を切った状態で、本機をクレードルに差し込む

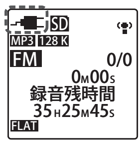
☞ **クレードルを使う（42 ページ）**

- エネループをご使用の場合は、充電が開始されます。

2 本機をクレードルに接続した状態で本機の電源を入れる

電源





- AC 動作モード時は、電池切換の表示が に変わります。
- 本機でラジオ放送を受信したり、音声ファイルを再生したりすると、クレードルのスピーカーから音声が出力されます。

本機を取り外すときは、電源ボタンを 2 秒以上長押しして本機の電源を切ってから取り外してください。

電源

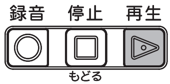
AC 動作モードで使用する（USB 電源）

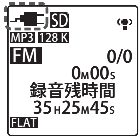
クレードル以外の外部電源として、パソコンの USB 端子からの電源供給または USB 対応 AC アダプター（別売）がご利用可能です。

1 **付属の専用 USB 接続ケーブルをパソコンの USB 端子、または USB 対応 AC アダプター（別売）に接続する**

- USB 対応 AC アダプターは、コンセントに差し込んでください。

2 **本機の電源を切った状態で、再生ボタンを押しながら、専用 USB 接続ケーブルのもう一方を本機に接続する**





"HELLO!" と表示され、電源が入ります。

- AC 動作モード時は、電池切換の表示が に変わります。
- 電源オンの状態で接続した場合は、AC 動作モードになりません。

AC 動作モードを終了するときは、電源ボタンを 2 秒以上押し、本機の電源を切ってから、本機を専用 USB 接続ケーブルから取り外してください。

- 必ず本機の電源を切ってから取り外してください。microSD カードにアクセス中は専用 USB 接続ケーブルを抜いたり、パソコンの電源を切ったりしないでください。ファイルが壊れる場合があります。
- もう一度電源をオンにするときは、一度本機を専用 USB 接続ケーブルから取り外し、再度手順 **2** で電源をオンにしてください。

知ってておくと便利です

■ AC 動作モード（クレードル、USB 電源）で使用時のご注意

- AC 動作モードでの連続録音時間は 1 ファイルにつき最大 24 時間です。ただし、2GB 超えて連続録音することはできません。
- クレードル以外（USB 電源）での AC 動作モード時は、外部ノイズの影響を受けやすいので、ラジオの受信・録音を行う場合は、電池またはクレードルでお使いください。
- 本機の使用中及び、不適切な使用や停電などにより生じた損害、逸失した利益が発生しても、補償に関しては、当社では一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- **USB 電源及び、USB 対応 AC アダプターによる AC 動作モードでの使用時は、タイマー設定した時刻になっても、タイマーは働きませんのでご注意ください。**

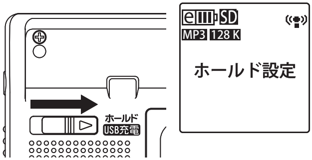
誤動作を防止する（ホールド機能）

本機をカバンやポケットに入れたときなどに、物と接触しておこるボタンやスイッチなどの誤動作や、誤動作による電池の消耗を防ぎます。

- 本機をカバンやポケットに入れているときは、誤動作防止のためホールド設定をすることをおすすめします。

ホールドスイッチをホールド側にスライドする

" ホールド設定 " が表示され、各ボタンが機能しなくなります。



ホールドスイッチを戻すと、ホールド機能が解除されます。

" ホールド解除 " が表示され、各ボタンが機能します。

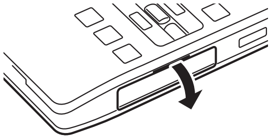
microSD カードを取り付ける / 取り外す

本機は、録音・再生に microSD カードを使用します。

1 本機の電源を切る

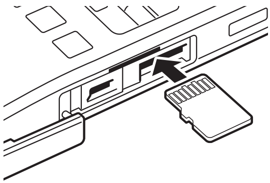
☞ 電源を切る（32 ページ）

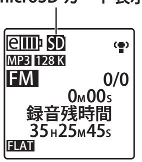
2 microSD カードスロットのカバーを開ける



3 ● 取り付けるとき

microSD カードスロットに、microSD カード（付属）を図の向きにまっすぐに差し込み、「カチッ」と音がするまで確実に押し込む



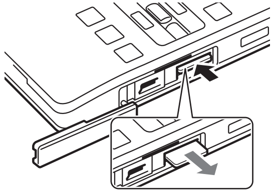


- microSD カードを差し込む前に差込口を確認してまっすぐ差し込んでください。
- 本機の電源を入れると、画面に SD が表示されます。
- microSD カードを取り付けても認識しない場合は、いったん microSD カードを抜き、再度挿入し直してください。
- microSD カードが入っていない、または microSD カードが正しく認識されていない状態で録音、再生などの操作を行おうとすると、「SD カードを挿入して下さい」と表示されます。

● 取り外すとき

microSD カードを軽く押し込む

microSD カードが少し飛び出すので、ゆっくりと引き抜いてください。



4 **microSD カードスロットのカバーを閉じる**

microSD カードについて

本機は、録音 / 再生用メモリーとして microSD カードを使用します。
本機で microSD カードを使うときは、microSD カードをフォーマットしてください。

- **フォーマットは必ず本機で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットした microSD カードは、使用できないことがあります。**
  ☞ **microSD カードを初期化する（フォーマット）（123 ページ）**

■本機で使用可能な microSD カード

本機は 512MB ～ 2GB の microSD カード、および 4GB、8GB の microSDHC カードに対応しております。（2008 年 12 月現在）

- microSD カード、microSDHC カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
- 当社基準において動作確認済のmicroSDカードは以下の通りです。その他のmicroSDカードの動作確認については、各 microSD カードの販売元へお問い合わせください。

microSD カードメーカー	microSD カード品番	容量
東芝	SD-MC512MA	512MB
	SD-MC001GA	1GB
	SD-MC002GA	2GB
	SD-MH004GA	4GB
	SD-MH008GA	8GB
Panasonic	RP-SM512BJ1K	512MB
	RP-SM01GBJ1K	1GB
	RP-SM02GBJ1K	2GB
	RP-SM04GBJ1K	4GB
	RP-SM08GBJ1K	8GB
SanDisk	SDSDQ-512-J3K	512MB
	SDSDQ-1024-J3K	1GB
	SDSDQ-2048-J3K	2GB
	SDSDQ-4096-J60M	4GB
	SDSDQ-8192-J95M	8GB
ハギワラシスコム	HNT-MR512T	512MB
	HNT-MR1GT	1GB
	HNT-MR2GT	2GB
	HNT-MRH4GTA	4GB

＊上記の表は、弊社が動作確認を行った microSD カードメーカーを紹介するものであり、弊社がお客様にmicroSDカードの動作保障をするものではありません。各カードメーカーの仕様変更などにより、対応できなくなる場合があります。あらかじめご了承下さい。

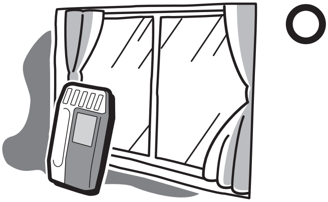
- ご利用の際は、必ず microSD カードに付属の取扱説明書を合わせてお読み下さい。
- 256MB 以下の microSD カードは利用できません。
- microSD カードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。
- 全ての microSD カードの動作を保障するものではありません。

■ microSD カードの取扱いについて

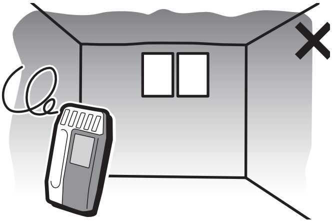
- microSD カードは、本機に正しく取り付けてください。正しく取り付けていないと本機での録音 / 再生ができません。
- microSD カードの取り付け / 取り外しの際に、必要以上に力を入れないでください。手や指をけがするおそれがあります。また、microSD カードおよび本機のカードスロットが破損するおそれがあります。
- microSD カードの端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSD カードを曲げたり、折ったり、重いものを載せたりしないでください。
- 当社基準において動作確認済の microSD カードをご使用ください。動作確認済以外の microSD カードを使用すると、データの消失や故障の原因となるおそれがあります。
- 本機の電源を入れたまま、microSD カードの抜き差しをしないでください。microSD カード内のデータが破損するおそれがあります。
- 挿入方向や microSD カードの表裏を間違うと奥まで挿入できません。
- micro SD カードは、サイズが小さいため抜き差し時の取り扱いには、充分ご注意ください。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- microSD カードを腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データ消失の原因となります。
- microSD カードを廃棄する場合、内部データが流出するおそれがありますので、内部データを消去するだけでなく物理的に microSD カードを破壊したうえで廃棄することをおすすめします。
- 挿入方向や microSD カードの表裏を間違うと microSD カード、および microSD カードスロットが破損するおそれがあります。
- microSD カードは、小さなお子様の手に届くところには絶対に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 電源オン時に microSD カードを認識しない場合、一度電源をオフにし、microSD カードを挿入し直してから、再度電源をオンにしてください。

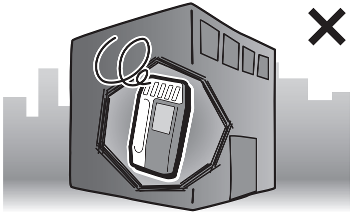
本機の使用場所について

本機でラジオを受信する場合は、窓際などラジオの電波を受信しやすい場所でご使用してください。

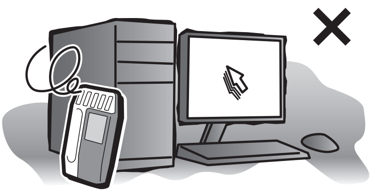


・ 窓から遠い部屋の中や、ビルの中は電波が届きにくいため、本機のご使用は避けてください。





・ テレビやパソコンなどの家電製品の近くは、ノイズの影響を受けやすく電波を受信しにくいため、本機のご使用は避けてください。

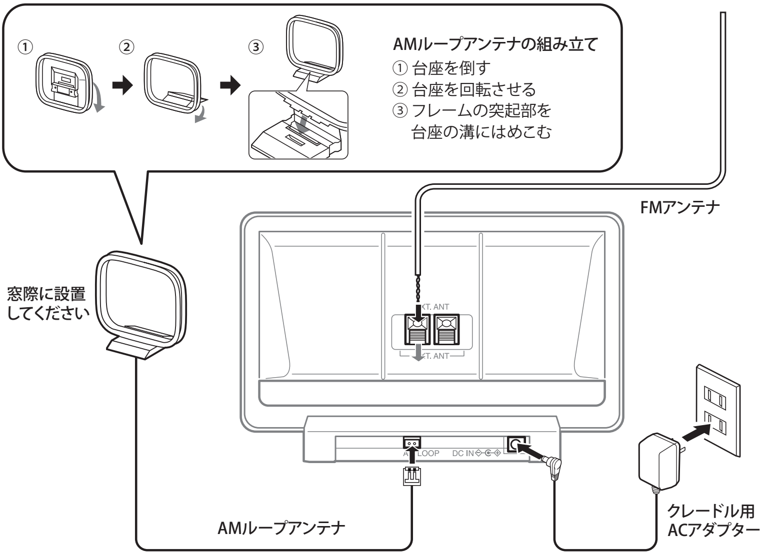


クレードルを使う (ICR-RS110MF のみ)

付属（ICR-RS110MF のみ）のクレードルに本機を接続すると、本機の充電や AC 駆動が可能です。また、接続時にはクレードルのスピーカーから大音量でラジオ放送や録音したファイルの再生ができます。

クレードルを設置するクレードルにアンテナや AC アダプターを接続し、クレードルを使用で

・ クレードルは、安定した水平な場所に設置し、アンテナは、窓際などの電波の届きやすい場所に設置してください。



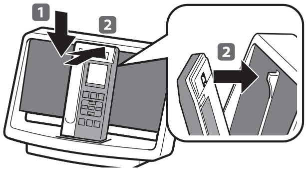
本機をクレードルにセットする

■クレードルにセットする

1 **本機の電源を切った状態で、本機をクレードルに差し込む**

2 **本機を矢印の方向に押す**

カチッと音がして本機がクレードルにロックされます。

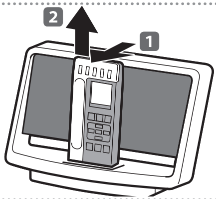


■クレードルから取り外す

1 **本機の電源を切った状態で本機を手前に引き、ロックを解除する**

カチッと音がしてロックが解除されます。

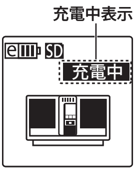
2 **本機をクレードルから抜く**



クレードルで充電する

本機の電源を切った状態でクレードルにセットする、または本機をクレードルにセットした状態で電源を切る

- エネループ以外は充電できません。
  ☞ **エネループを充電する（160 ページ）**
- 録音 LED が点灯し、充電を開始します。
- 充電が完了すると、録音 LED が消灯し、充電中表示が消えます。



準備する

初期設定をする

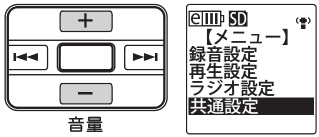
カレンダー（日時）を設定する

日付と時刻を設定しておくと、録音した日と時刻の情報がファイルごとに自動で記録されます。（タイムスタンプ機能）また、ファイル名に録音日の情報が入りますので、正確にカレンダー（日時）設定しておくことをおすすめします。
ここでは、カレンダーを「2008 年 12 月 20 日 24H 18 時 30 分」に設定する手順を説明します。

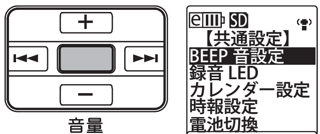
1 **本機の電源を入れる**
☞電源を入れる（32 ページ）

2 **メニューボタンを押す**
設定メニュー画面が表示されます。

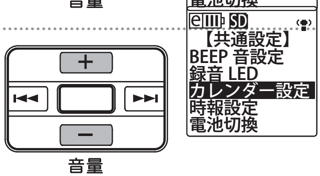
3 **音量（＋ / －）ボタンを押して、［共通設定］を選択する**



4 **決定ボタンを押す**
共通設定メニュー画面が表示されます。

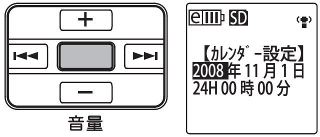


5 **音量（＋ / －）ボタンを押して、［カレンダー設定］を選択する**



6 **決定ボタンを押す**

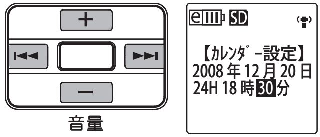
カレンダー設定画面が表示されます。



7 **カレンダー日時を設定する**

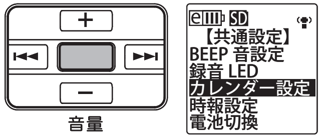
① ⏮ / ⏭ボタンを押して、西暦、月、日、24H/12H（AM/PM）、時、分を選択する

② 音量（＋ / －）ボタンを押して、数値を変更する



8 **決定ボタンを押す。**

カレンダーが設定され、［共通設定］画面に戻ります。



メニューボタンを押してメニューを終了する

知っておくと便利です

■時刻自動補正機能（時報設定）について

ラジオの時報情報を受信することにより、時刻を自動的に補正することができます。

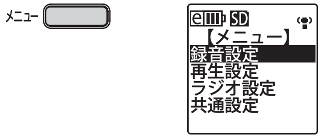
☞時刻自動補正機能（時報設定）を設定する（147 ページ）

お使いになる地域を設定する

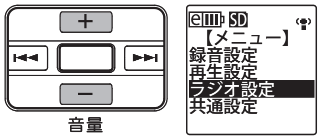
お使いになる地域を設定することで、設定した地域の放送局が登録されます。

1 **本機の電源を入れる**
☞電源を入れる（32 ページ）

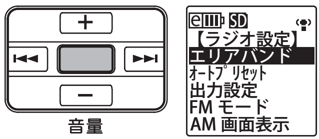
2 **メニューボタンを押す**
設定メニュー画面が表示されます。



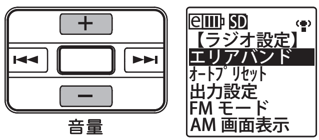
3 **音量（＋ / －）ボタンを押して、[ラジオ設定] を選択する**



4 **決定ボタンを押す**
ラジオ設定画面が表示されます。

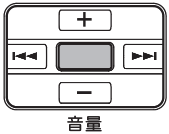


5 **音量（＋ / －）ボタンを押して、[エリアバンド] を選択する**



6 **決定ボタンを押す**

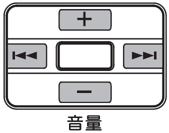
・エリアバンド設定画面が表示されます。



7 **音量（＋ / －）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押して、お使いになる地域を選択する**

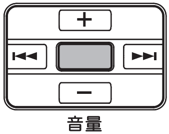
例 : ここでは［大阪］を選択しています。

☞ **エリアバンド一覧（183 ページ）**



8 **決定ボタンを押す。**

エリアバンドが設定され、［ラジオ設定］画面に戻ります。



メニューボタンを押してメニューを終了する

知っておくと便利です

■ユーザープリセットについて

エリアバンド設定画面で［ユーザー］を選択すると、お好みの放送局を登録し、呼び出すことができます。

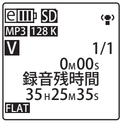
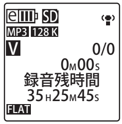
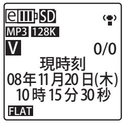
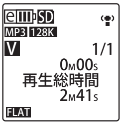
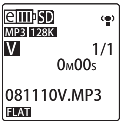
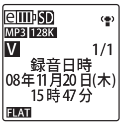
☞ **オートプリセットを使う（143 ページ）**
☞ **エリアバンド一覧（183 ページ）**

表示

表示情報を切り換える

SD モード画面で停止 / もどるボタンを押すごとに、表示画面が以下の順番で切り換わります。

（例 : V フォルダの場合）

表示順	表示項目	再生対象ファイルがある場合	再生対象ファイルがない場合
1	録音残時間		
2	現時刻		
3	再生総時間		表示されません
4.	ファイル名		表示されません
5	録音日時		表示されません

※ MUSIC フォルダは、フォルダ内に再生対象ファイルがあっても「録音日時」は表示されません。また、録音残時間も表示されません。

知っておくと便利です

■ 液晶パネル画面のバックライトを設定する

ボタンを押したときの画面のバックライトの ON/OFF の設定を変更します。

☞ **画面のバックライトを設定する（151 ページ）**

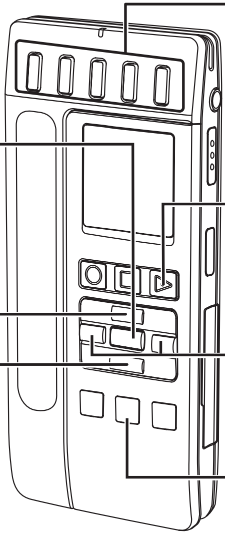
■ 液晶パネル画面のコントラストを調整する

画面のコントラストを調整します。
調整は、10 段階で設定できます。

☞ **画面のコントラストを調整する（152 ページ）**

ラジオを使う

ラジオの基本操作



選局ボタン（1 ～ 5）
プリセットされている放送局を呼び出します。

決定ボタン
周波数選局モードと手動選局モードを切り換えます。
長押しするとプリセット編集モードに切り換わります。

再生ボタン
FM 放送受信中、FM モード（ステレオ / モノラル）を切り換えます。

音量＋/－ボタン
ラジオの音量を調整します。
＋: 音量が大きくなります。
－: 音量が小さくなります。

⏮⏭ ボタン
プリセットチャンネルや周波数を切り換えて選局します。

AM/FM ボタン
ラジオモードに切り換えます。
ラジオ受信中は、AM/FM を切り換えます。

ラジオを聞く

本機で AM/FM 放送を受信します。

1 **本機の電源を入れる**

☞電源を入れる（32 ページ）

2 **AM/FM ボタンを押し、ラジオモード画面に切り換える**

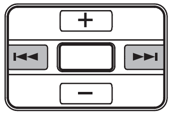
- ボタンを押すごとに、AM と FM が切り換わります。

3 **⏮/⏭ボタンを押して、聞きたい放送局を選択する**

- 聞きたい放送局が登録されていない場合は、手動で放送局を選局してください。

☞ 自動選局（オートスキャンチューニング）する（55 ページ）

☞ 手動選局（マニュアルチューニング）する（56 ページ）



■ラジオ音声の出力先を設定する

ラジオ放送の音声を、ヘッドホン接続時もスピーカーから出力することができます。

☞音声の出力先を切り換える（144 ページ）

■ラジオの受信について

● AM 放送

・ AM アンテナは本機に内蔵されています。本機の向きによって受信状態が変わりますので、放送がもっともよく聞こえる向きに本機を向けてください。クレードルにセットしてお使いの場合は、クレードルのループアンテナの向きを、放送がもっともよく聞こえるように設置してください。
・ AM ステレオ放送には対応していません。
・ 受信状態が悪い場合は、きれいに受信 / 録音できる場所へ移動してください。
・ テレビの近くで聞いていると、テレビに色ずれが生じたり、本機にテレビの雑音が入ることがあります。本機をテレビから離してご使用ください。
・ AM 放送を受信 / 録音するときは、画面表示を消すことによってノイズが軽減することがあります。

☞ **AM 画面表示を切り換える（145 ページ）**

● FM 放送

・ ヘッドホンがアンテナの役目をするので、必ず付属のヘッドホンを本機のヘッドホン端子に接続してください。また、ヘッドホンのコードはできるだけ長く伸ばした状態でお使いください。ただし、クレードルをご使用の場合、クレードルに FM アンテナが取り付けられていれば、ヘッドホンを接続する必要はありません。
・ テレビの近くで聞いていると、テレビに色ずれが生じたり、本機にテレビの雑音が入ることがあります。本機をテレビから離してご使用ください。
・ FM 文字放送には対応していません。
・ FM 放送受信時、受信状態によって雑音で聞こえにくい場合は、ラジオ設定メニューの「FM モード」の設定を［モノラル］に設定すると、受信状態に関わらず常にモノラル音声になるため、聞きやすくなる場合があります。

☞ **FM モードを切り換える（145 ページ）**

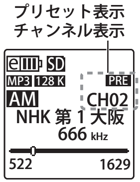
ラジオ放送の選局について

本機では、下記の方法で選局ができます。

● プリセット選局モード

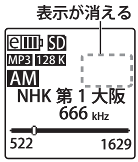
あらかじめエリアバンド設定やオートプリセットなどを行なって登録した放送局を選局するときに使います。

☞**お使いになる地域を設定する（46 ページ）**
☞**オートプリセットを使う（143 ページ）**



● 周波数選局モード

周波数を切り換えながら、受信したい放送局を選局するときに使います。
電波の強い放送局を自動で探し出す自動選局（オートスキャン）、手動で周波数を切り換える手動選局（マニュアルチューニング）2 通りの方法で選局することができます。



こんなこともできます

■受信可能な放送局を自動で登録する（オートプリセット）

現在、本機で聞くことのできる電波の強い放送局を、AM/FM それぞれ受信して、メニュー設定「エリアバンド」の「ユーザー」にプリセットします。

☞**オートプリセットを使う（143 ページ）**

登録されている放送局から選局する（プリセット選局）

1 **本機の電源を入れる**

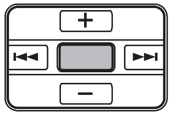
☞ **電源を入れる（32 ページ）**

2 **AM/FM ボタンを押して、AM 放送または FM 放送を選ぶ**

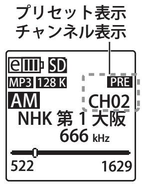
- ボタンを押すごとに、AM と FM が切り換わります。

3 **決定ボタンを押して、プリセット選局モードに切り換える**

- ボタンを押すごとに、プリセット選局モード⇔周波数選局モードが切り換わります。
- プリセット選局モードに切り換えると画面にPREとチャンネルが表示されます。

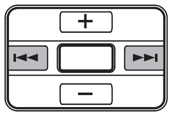


音量



4 **⏮ / ⏭ボタンを押して、チャンネルを切り換える**

- ボタンを押すごとに、現在登録されている放送局（1CH ～ 20CH）が、順に切り換わります。



音量

知っておくと便利です

登録されている放送局のチャンネル 1 ～ 5（CH01 ～ CH05）は、選局ボタン 1 ～ 5 でダイレクトに選局することができます。

自動選局（オートスキャンチューニング）する

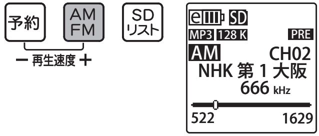
電波の強い放送局を自動で探し出します。

1 本機の電源を入れる

☞電源を入れる（32 ページ）

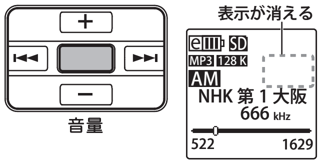
2 AM/FM ボタンを押して、AM 放送または FM 放送を選ぶ

- ボタンを押すごとに、AM と FM が切り換わります。



3 決定ボタンを押して、周波数選局モードに切り換える

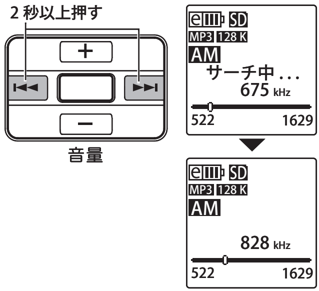
- ボタンを押すごとに、プリセット選局モード⇔周波数選局モードが切り換わります。
- 周波数選局モードに切り換えると画面のPREとチャンネルが表示が消えます。



4 ⏮/⏭ボタンを 2 秒以上押す

画面に「サーチ中…」と表示され、周波数が自動的に進み（戻り）、放送を受信すると自動で停止します。

- 電波が弱く受信状態がよくない場合は、自動で停止しません。
- 周囲に妨害電波などがある場合は、妨害電波を受信して停止することがあります。
- 本機をクレードルにセットした状態で AM 放送を受信した場合、妨害電波を受信して停止しやすくなりますので、クレードルにセットしない状態で操作してください。



手動選局（マニュアルチューニング）する

聞きたい放送局が登録されていない場合など、周波数を切り換えて選局します。

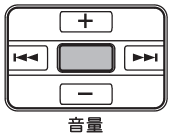
1 本機の電源を入れる

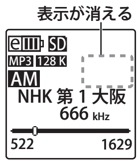
☞ 電源を入れる（32 ページ）

2 AM/FM ボタンを押して、AM 放送または FM 放送を選ぶ

- ボタンを押すごとに、AM と FM が切り換わります。

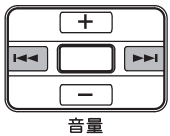
3 決定ボタンを押して、周波数選局モードに切り換える

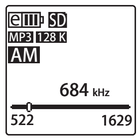




- ボタンを押すごとに、プリセット選局モード⇔周波数選局モードが切り換わります。
- 周波数選局モードに切り換えると画面のプリセット表示とチャンネルが表示が消えます。

4 |◀◀ / ▶▶|ボタンをポンポンと 1 回づつ押す





- AM 放送の場合
  ボタンを押すごとに 9kHz ステップで周波数が進み（戻り）ます。
- FM 放送の場合
  ボタンを押すごとに 0.1MHz ステップで周波数が進み（戻り）ます。

放送局を登録 / 削除する

放送局を登録する

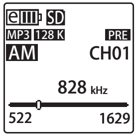
受信中の放送局をお好みのチャンネル（1CH ～ 20CH）に登録することができます。登録した放送局は、プリセット選局モードで選局することができます。

1 登録したい放送局を選局する

☞ **登録されている放送局から選局する（プリセット選局）（54 ページ）**

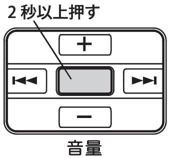
☞ **自動選局（オートスキャンチューニング）する（55 ページ）**

☞ **手動選局（マニュアルチューニング）する（56 ページ）**

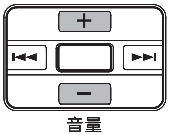


2 決定ボタンを 2 秒以上押す

プリセット編集画面が表示されます。

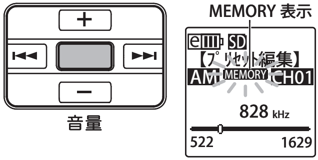


3 音量（+ / −）ボタンを押して、［登録］を選択する



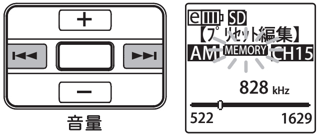
4 決定ボタンを押す

［MEMORY］が点滅し、チャンネルが表示されます。



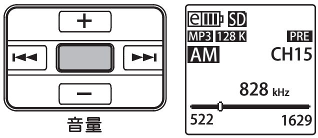
5 ⏮ / ⏭ボタンを押して、登録するチャンネル（CH01 ～ CH20）を選択する

・ 登録を途中でやめる場合は、停止 / もどるボタンを押してください。



6 決定ボタンを押す

・ チャンネルに放送局が登録されます。
・ 以前にチャンネルに登録されていた放送局は、上書きされます。



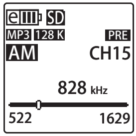
知っておくと便利です

・ 本機ではエリアバンドの設定地域（地域 :7、ユーザー :1）ごとに、AM、FM それぞれ放送局を 20 局ずつ登録できます。
・ 放送局をチャンネル 1 ～ 5（CH01 ～ CH05）に登録する場合は、選局ボタンで登録することもできます。手順 1 の後、選局ボタン（1 ～ 5）のいずれかを 2 秒以上押してください。“ ピッ ” と音が鳴り、放送局が登録されます。

放送局を削除する

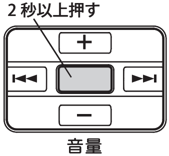
1 プリセット選局モードで、削除したい放送局を選局する

☞ **登録されている放送局から選局する（プリセット選局）（54 ページ）**

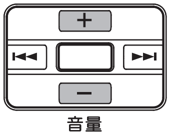


2 決定ボタンを 2 秒以上押す

プリセット編集画面が表示されます。

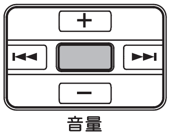


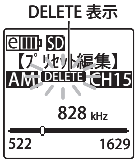
3 音量（+ / −）ボタンを押して、［削除］を選択する



4 決定ボタンを押す

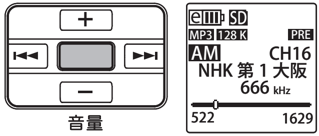
［DELETE］が点滅します。





5 決定ボタンを押す

選択した放送局が削除され、削除した次のチャンネルの放送局を受信します。（次の放送局がない場合は、CH01 に戻ります。）



プリセットを初期化する

変更や登録の追加、削除などを加えた「エリアバンド」の設定をもとの状態に戻します。

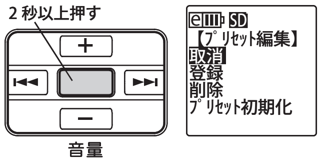
1 初期化したいエリアバンドを選択する。

☞ **お使いになる地域を設定する（46 ページ）**

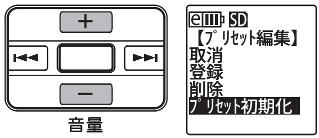
2 AM/FM ボタンを押して、ラジオモードに切り換える

3 決定ボタンを 2 秒以上押す

プリセット編集画面が表示されます。



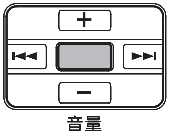
4 音量（＋ / −）ボタンを押して［プリセット初期化］を選択する



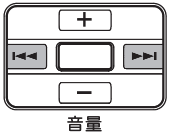
5 決定ボタンを押す

エリアバンド初期化画面が表示されます。

- ここではエリアバンド［ユーザ］を選択しています。

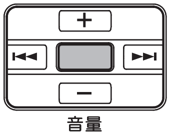


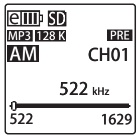
6 ⏮/⏭ボタンを押して［実行］を選択する



7 決定ボタンを押す

エリアバンドの設定が初期化され、チャンネル 01 の放送局を受信します。





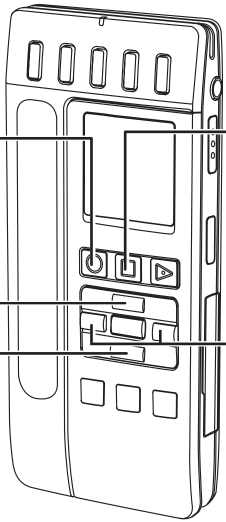
知っておくと便利です

- プリセットの初期化は、地域ごとに行ってください。全ての地域を一度に初期化する場合は、メニューの初期化を行ってください。

☞ **メニューを初期化する（153 ページ）**

録音する

録音の基本操作



・ 本機をクレードルにセットした状態、あるいは AC 動作モードでの使用時で録音を開始した場合、本機をクレードルから取り外したり、USB 接続ケーブルを抜いたりしないでください。本機に電池がない状態や電池の残量が少ない状態でクレードルや USB 対応 AC アダプターから取り外すと、電源が切れ microSD カード内のデータが壊れる可能性があります。

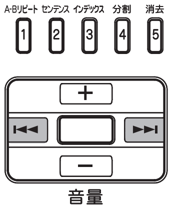
ラジオ放送を録音する

本機で受信したラジオ放送を、microSD カードに録音します。

1 **本機の電源を入れる**

☞ **電源を入れる（32 ページ）**

2 **録音したい放送局を選択する**

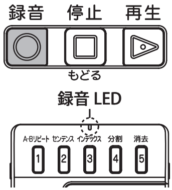


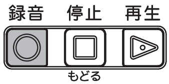
☞ **登録されている放送局から選局する（プリセット選局）（ 54 ページ）**

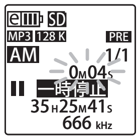
☞ **自動選局（オートスキャンチューニング）する（55 ページ）**

☞ **手動選局（マニュアルチューニング）する（56 ページ）**

3 **録音ボタンを押す**





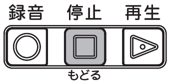


録音 LED が点灯し､受信中のラジオ音声の録音を開始します。

- 録音中は､画面のバックライトが常時オフになります。
- AM 放送を録音した音声は TUNER_AM フォルダに､FM 放送を録音した音声はTUNER_FM フォルダに、録音ファイルが保存されます。
- 録音中は放送局の変更はできません。
- 録音中に録音ボタンを押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。
- 録音中にインデックスボタンを押すと、インデックスをつけることができます。
  ☞ **インデックスを付ける（85 ページ）**
- 録音中、ヘッドホンまたはスピーカーから、録音している音声をモニターすることができます。音量は音量（＋ / －）ボタンで調整できます。
  ☞ **音声の出力先を切り換える（144 ページ）**

4 **停止 / もどるボタンを押す**

録音 LED が消灯し、録音を終了してラジオ放送受信画面に戻ります。



ラジオ録音時の録音モードについて

サンプリング周波数は、ノイズの影響を避けるため、放送局によって自動的に切り換わります（32/44.1/48/kHz のいずれか）。ただし、ラジオ録音時の録音モードは、MP3:128 kbps に固定されています。

知っておくと便利です

- FM 放送録音時にノイズが多いときは、FM モードを［モノラル］に切り換えてください。
  受信環境によっては、録音中ラジオ放送にノイズが入る場合があります。また、電波の弱い場所では、耳でラジオ放送を聞いているときにはきれいに聞こえていても、録音するとノイズを拾ってしまうことがあるため、実際に試し録音を行い、もし電波が弱くノイズが入るようであれば、場所を移動するなどして、きれいに録音できる場所で録音してください。
  ☞ **FM モードを切り換える（145 ページ）**

- AM 放送録音時にノイズが多いときは、AM 画面表示を［OFF］に切り換えてください。
  ☞ **AM 画面表示を切り換える（145 ページ）**

マイク録音する

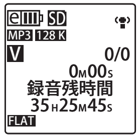
会議など人の声を録音する

会議や講義など、人の声を microSD カードにマイク録音します。

1 **本機の電源を入れる**

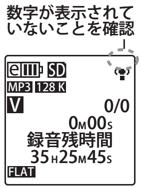
☞ **電源を入れる（32 ページ）**

2 **SD モード画面（またはリスト画面）を表示する**



・ SD/ リストボタンを押すごとに、SD モード画面⇔リスト画面が切り換わります。

3 **ALC（オートレベルコントロール）をオンにする**



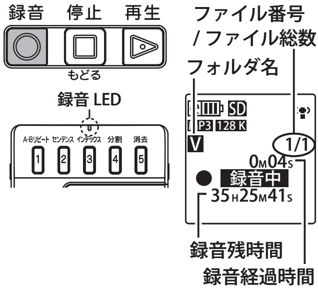
・ お買い上げ時は、ALC はオンに設定されています。

・ 画面右上に数字が表示されていないことを確認してください。数字が表示されている場合は、ALC がオフに設定されていますので、オンに設定してください。

	ALC オン	ALC オフ
アイコン		15

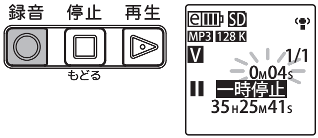
☞ **マイク ALC 設定を切り換える（131 ページ）**

4 録音ボタンを押す



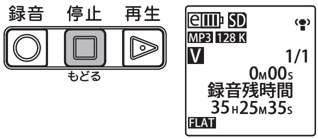
録音 LED が点灯し、マイク録音を開始します。

- 録音中は、本機をさわったり、動かしたりしないでください。接触音が録音されます。
- マイク録音した音声は、VOICE（V）フォルダに録音ファイルが保存されます。



- 録音中に録音ボタンを押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。
- 録音中にインデックスボタンを押すと、インデックスをつけることができます。
  ☞ **インデックスを付ける（85 ページ）**
- 録音中、ヘッドホンから、録音している音声をモニターすることができます。音量は音量（＋ / −）ボタンで調整できます。

5 停止ボタンを押す



録音 LED が消灯し、録音を終了して SD モード画面に戻ります。

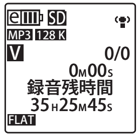
楽器や自然の音などを録音する

楽器演奏などを、本機の内蔵マイクで microSD カードに録音します。
録音する内容や音の大きさに合わせて、手動で録音レベルを調節して録音します。

1 本機の電源を入れる

☞ 電源を入れる（32 ページ）

2 SD モード画面（またはリスト画面）を表示する



・ SD/ リストボタンを押すごとに、SD モード画面⇔リスト画面が切り換わります。

3 ALC（オートレベルコントロール）を「オフ」に設定する

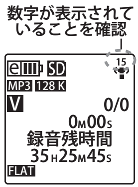
☞ マイク ALC 設定を切り換える（130 ページ）

・ お買い上げ時は、ALC はオンに設定されています。
・ ALC の設定を変更すると画面に表示されるアイコンが変わります。

	ALC オン	ALC オフ
アイコン		15

（お買い上げ時の設定 : 15）

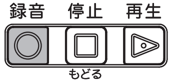
画面右上に数字が表示されていない場合は、ALC がオンに設定されていますので、オフに設定してください。

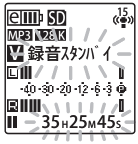


4 録音ボタンを押す

録音スタンバイ画面が表示されます。

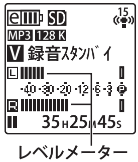
・この状態ではまだ録音を行っていません。





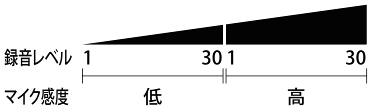
5 楽器演奏などを録音する場合は、マイクに向かって実際に録音する音を鳴らす

レベルメーターが左右に振れます。レベルメーターが右に振れるほど、大きな音で集音していることを表します。



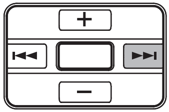
6 |◀◀ / ▶▶|ボタンを押して、録音レベルを調整する

・ ボタンを押すと録音レベル表示が 0 から 30 の範囲で調整できます。録音レベルはマイク感度ごとに設定できます。録音レベル 0 の場合は無音が録音されます。



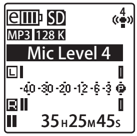
（次ページにつづく）

- 録音 LED が点灯しない範囲で、できるだけ大きく集音する（レベルメーターが右に振れる）ように▶▶|ボタンを押して録音レベルを上げてください。

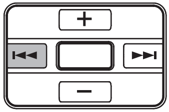


音量

録音レベルが
小さすぎる場合

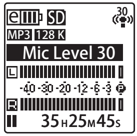


- 録音 LED が点灯した場合は、録音 LED が消えるところまで|◀◀ボタンを押して録音レベルを少し下げてください。
- 録音レベルを 1 まで下げても録音 LED が点灯する場合は、マイク感度を「低」に設定してください。
- 録音レベルを 30 まで上げてもレベルメーターが適切な録音レベルに達しない場合は、マイク感度を「高」に設定してください。
- 適切な録音レベルは、録音したい音が最も大きくなった場合でも、レベルメーターが右に振り切れることなく録音 LED が点灯しない状態です。



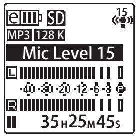
音量

録音レベルが
大きすぎる場合



録音 LED

適切な録音レベル



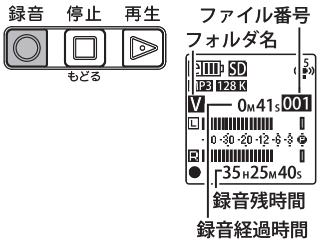
※メニュー設定で、録音 LED が OFF に設定されている場合は、録音 LED は点灯しません。

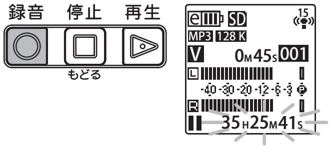
☞ **録音 LED を設定する（147 ページ）**

7 録音ボタンを押す

録音 LED が点灯し、録音を開始します。

・ 録音中は、本機をさわったり、動かしたりしないでください。接触音が録音されます。

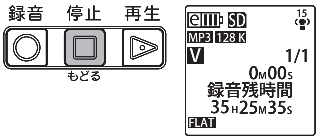




・ 録音中に録音ボタンを押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。
・ 録音中にインデックスボタンを押すと、インデックスをつけることができます。
☞ インデックスを付ける（85 ページ）
・ 録音中、ヘッドホンから、録音している音声をモニターすることができます。音量は音量（＋ / ー）ボタンで調整できます。
・ マイク録音した場合は、VOICE（V）フォルダに録音ファイルが保存されます。

8 停止ボタンを押す

録音 LED が消灯し、録音を終了して SD モード画面に戻ります。

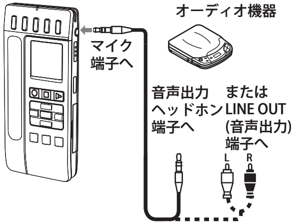


外部機器から録音する

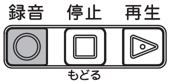
コンポやラジカセ、CD・MD プレーヤーなど外部機器と接続して、それらの音楽などを録音することができます。

1 本機のマイク端子と外部機器の音声出力端子をつなぐ

- 市販のオーディオケーブル（ステレオミニプラグ：3.5 φ、抵抗なし）を使用してください。

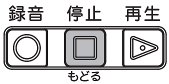


2 外部音源を再生し、本機の録音ボタンを押して録音を始める



- VOICE（V）フォルダに録音されます。
- マイク ALC を［OFF］に設定し、録音レベルを調整して録音することをおすすめします。
- 本機の感度を［低］にし、外部音源の音量を大きくして録音することをおすすめします。
  ☞ **楽器や自然の音などを録音する（67 ページ）**
  ☞ **マイク ALC 設定を切り換える（131 ページ）**
- 録音を始める前に事前に試し録音を行い、外部機器で録音の調整を行ってください。音量が大きすぎると、音割れの原因になります。

3 停止 / もどるボタンを押して録音を停止し、外部機器の再生を停止する。



録音する

録音シーンごとの設定の目安

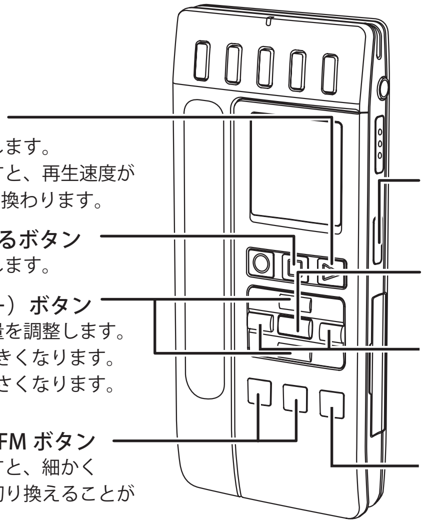
マイク録音に関する各種設定をおこなうことで、録音状況に応じた最適な音質を得ることができます。各設定について、詳しくは下記ページを参照してください。

<table>
<tr><th></th><th>音楽演奏録音</th><th>動物の声や環境音など</th><th>大人数での会議・セミナー</th><th>少人数での会議・お稽古ごと</th><th>ボイスメモ、口元での録音</th></tr>
<tr><td>録音モード
☞ 129 ページ</td><td colspan="5">音質を優先するか録音時間を優先するかによって、目的に合った録音モードを選んでください。</td></tr>
<tr><td>マイク ALC
☞ 130 ページ</td><td colspan="2">OFF</td><td colspan="3">ON</td></tr>
<tr><td>録音レベル
☞ 68 ページ</td><td colspan="5">マイク ALC を「OFF」に設定した場合は、録音レベルを手動で調整できます。マイク ALC を「ON」に設定した場合は、録音レベルが自動で調整されます。</td></tr>
<tr><td>マイク感度
☞ 131 ページ</td><td>低</td><td colspan="4">高</td></tr>
<tr><td>Low Cut フィルタ
☞ 133 ページ</td><td colspan="2">OFF</td><td colspan="3">ON</td></tr>
<tr><td>ステレオワイド
☞ 134 ページ</td><td colspan="5">ステレオワイド機能を使用することにより、ステレオ感が強調されたより広がりのある音で録音できます。</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー録音
☞ 134 ページ</td><td colspan="5">録音ボタンを押してから録音を開始するまでの時間を設定できます。楽器演奏の録音など、準備が必要な場合に便利に使えます。また、録音開始時に本機の操作音が録音されることも回避することができます。</td></tr>
</table>

- 上記は、あくまで目安です。
- 録音する際は、必ずあらかじめ確認してから録音してください。

再生する

再生の基本操作



再生ボタン
再生を開始します。
再生中に押すと、再生速度が
3 段階に切り換わります。

停止 / もどるボタン
再生を停止します。

音量（+/−）ボタン
再生中の音量を調整します。
+: 音量が大きくなります。
−: 音量が小さくなります。

予約・AM/FM ボタン
再生中に押すと、細かく
スピードを切り換えることが
できます。

メニューボタン
再生中に押すと、再生メニュー
を表示します。

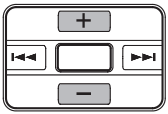
決定ボタン
停止中に押すと、フォルダ
選択画面を表示します。

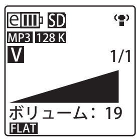
⏮ / ⏭ ボタン
ファイルの早送り / 早戻しや
ファイルの頭出しができます。

SD/ リストボタン
リスト画面と SD モード画面を
切り換えます。

音量を調節する

音量（+ / −）ボタンを押して、聞きやすい音量に調節してください。
音量は 21 段階（0 ～ 20）で表示されます。





ファイルを再生する

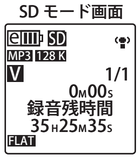
本機で録音したファイルを再生します。

1 **本機の電源を入れる**

☞ **電源を入れる（32 ページ）**

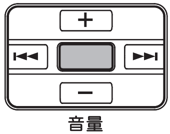
2 **SD モード画面を表示する**

・ SD/ リストボタンを押すごとに、SD モード画面⇔リスト画面が切り換わります。



3 **決定ボタンを押す**

フォルダ選択画面が表示されます。



4 **音量（＋ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押し、再生したいファイルのあるフォルダを選択する**

右図は、AM フォルダを選択した場合です。

T1 ～ T5: タイマー録音したファイルのフォルダ

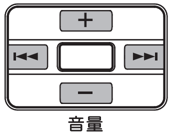
AM: AM 放送を録音したファイルのフォルダ

FM: FM 放送を録音したファイルのフォルダ

V: マイク録音したファイルのフォルダ

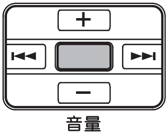
M: パソコンから取り込んだファイルのフォルダ

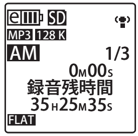
🗑 : ゴミ箱



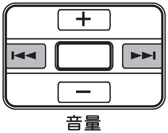
5 決定ボタンを押す

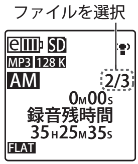
SD モード画面に戻り、左上に選択したフォルダ名（AM）が表示されます。



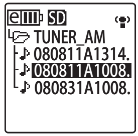


6 ⏮/⏭ボタンを押して、再生するファイルを選択する





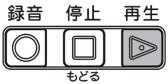
- フォルダ内にたくさんのファイルがある場合は、SD/ リストボタンを押し、リスト画面に切り換えてファイルを選択すると便利です。
  ☞リスト画面の操作（28 ページ）

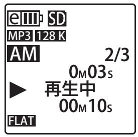


7 再生ボタンを押す

ファイルが再生されます。

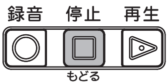
- 選択したファイルの再生が終わると、そのまま次のファイルを再生します。

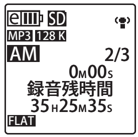




8 停止ボタンを押す

再生を停止し、SD モード画面に戻ります。

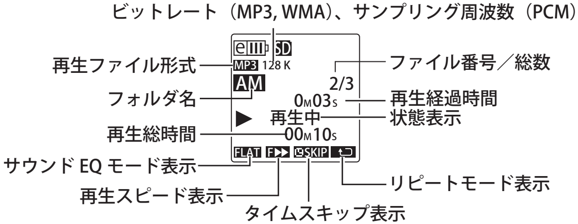




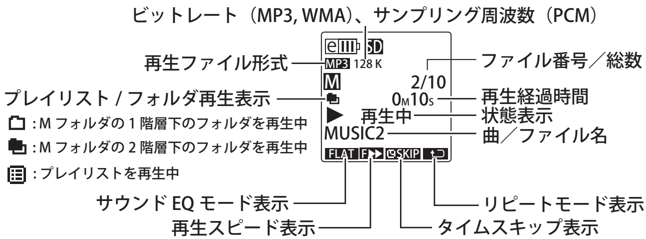
再生中の画面表示

再生中の液晶画面の表示は、再生するフォルダにより異なります。
すべての画面を一度に表示することはできません。

● T1 ～ T5、TUNER AM（AM）、TUNER FM（FM）、VOICE（V）フォルダ



● MUSIC（M）フォルダ



- ファイルによっては、再生経過時間と実際の経過時間が異なる場合があります。
- ファイルによっては登録されたアーティスト名や曲名などが表示されないことがあります。
- 再生中、長い曲ファイル名はスクロール表示します。

データやファイルを早送り / 早戻しするには

■早送り / 早戻しするには

再生中、▶▶|を押し続けると早送りします。|◀◀を押し続けると早戻しします。
ボタンを離すとその位置から再生を開始します。

・フォルダをまたがっての「早送り / 早戻し」はできません。

■ファイルの頭出し（ファイル送り / ファイル戻し）をするには

再生中 * または停止中に▶▶|をポンと 1 回押すごとにファイル送りします。
|◀◀をポンと 1 回押すごとにファイル戻しします。

■インデックス送り / インデックス戻しするには

インデックスを付けたファイルの再生中 * に▶▶|をポンと 1 回押すごとに次のインデックスに送ります。|◀◀をポンと 1 回押すごとに前のインデックスに戻ります。

☞ **インデックスを付ける（85 ページ）**

■タイムスキップ（送り / 戻し）するには

タイムスキップ機能を設定した状態で、再生中に|◀◀または▶▶|をポンと 1 回押すごとに、設定された時間の間隔だけタイムスキップします。

☞ **タイムスキップを設定する（139 ページ）**

- 設定したタイムスキップより近い位置に、ファイルの頭出し位置やインデックスマークがある場合は、その位置にタイムスキップします。
- タイムスキップ設定中に、ファイル送り / 戻しするには、一度ファイルの再生を停止してから|◀◀または▶▶|をポンと一回押します。

* タイムスキップ設定時は、タイムスキップ機能がはたらきます。

再生に関する機能と設定

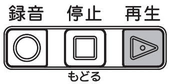
本機は、語学学習や会議録音の再生などに効果的に使える様々な機能を搭載しています。詳しくは、下記ページを参照してください。

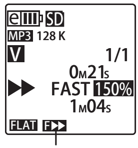
機能	効果	設定内容
早聞き / 遅聞き **☞ （79 ページ）**	再生スピードを早くしたり、遅くしたりすることができます。聞き取りにくい音声は遅く、早く聞きたい場合は早くすることで、便利に使うことができます。（PCM 録音ファイルは早聞き / 遅聞き機能は使えません。）	MP3: 50 ～ 200% WMA: 50 ～ 120%
A-B リピート **☞ （81 ページ）**	再生中のファイルの一部分（A 点と B 点）を指定し、繰返し聞くことができます。	–
センテンス再生 **☞ （82、138 ページ）**	再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生する機能です。音楽の短いフレーズや、語学学習などで聞き逃した場合にワンボタンで戻ることができます。	5、10、15 秒
タイムスキップ **☞ （77、139 ページ）**	再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけスキップし、再生することができます。	OFF、30 秒、1 分、10 分、30 分
クリアボイス **☞ （82 ページ）**	再生時に雑音やノイズがある場合、クリアボイス機能を使用することで音声が聞き取りやすくなる場合があります。	ON、OFF
リピートモード **☞ （137 ページ）**	ファイルのリピートモードを設定することができます。	OFF、ONE、ALL、RANDOM
サウンド EQ **☞ （140 ページ）**	お好みの音質で再生することができます。	FLAT、BASS1、BASS2、POP、ROCK、JAZZ、USER
インデックス機能 **☞ （85 ページ）**	インデックスマークをつけることで、後で聞くときに素早く頭出しができます。（ミュージック / ゴミ箱フォルダでは使用できません。）	–

早聞き / 遅聞き機能

語学学習や楽器演奏での聞き取りにくい箇所は再生スピードを遅く、会議の内容は早くといったように、必要に応じて再生スピードを調節して聞くことができます。音声はデジタルで自動調節され、音程が変わることなく聞くことができます。再生スピードの設定は、あらかじめ設定された間隔でスピードを切り換える方法と、再生スピードを細かく設定する方法の 2 つの方法があります。（PCM 録音ファイルは早聞き / 遅聞き機能は使えません。）

1. 設定された間隔でスピードを切り換える





再生スピード表示（FAST）

再生中に再生ボタンを押す

押すごとに再生スピードが「NORMAL」⇒「SLOW」⇒「FAST」⇒「NORMAL」の順に切り換わります。

- 再生スピードを変更すると画面にアイコン表示されます。
- 再生スピードは、ファイル形式によって以下のように切り換わります。

	NORMAL	SLOW	FAST
アイコン	なし	S |▶	F ▶▶
MP3	100%	70%	150%
WMA	100%	70%	120%

- 再生スピードを切り換えることができるのは、MP3 と WMA 形式のファイルのみです。WAV ファイルは再生スピードを切り換えることはできません。
- ファイルによっては、再生スピードを切り換えると正常に再生されない場合があります。

2. 再生スピードを細かく設定する

再生スピードを遅くしたいときは、再生中に、予約ボタンを押す

ボタンを押すごとに再生スピードが遅くなります。

再生スピードを早くしたいときは、再生中に、AM/FM ボタンを押す

ボタンを押すごとに再生スピードが早くなります。

・「SLOW」再生は 5%ごとに、「FAST」再生は 10%ごとに段階的に再生スピードを切り換えることができます。

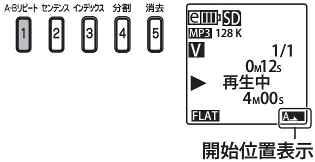
	NORMAL	SLOW	FAST
アイコン	なし	S |▶	F ▶▶
MP3	100%	50%から 100%までは 5%ごと	100%から 200%までは 10%ごと
WMA	100%	50%から 100%までは 5%ごと	100%から 120%までは 10%ごと

A-B リピート（部分リピート）再生を行う

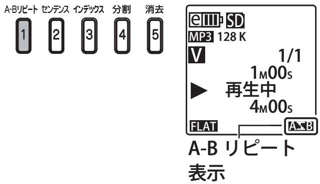
再生中のファイルの一部分（A 点から B 点まで）を指定し、繰り返し再生することができます。

1 **A-B リピートを行うファイルを再生する**
☞ ファイルを再生する（74 ページ）

2 **A-B リピート再生の開始位置で A-B リピートボタンを押す**
開始位置表示が点灯します。



3 **A-B リピート再生の終了位置で A-B リピートボタンを押す**
A-B リピート再生を解除するまで繰り返し再生します。



- A-B リピート再生中に次の操作を行うと A-B リピートが解除されます。
  - もう一度 A-B リピートボタンを押す
  - 停止 / もどるボタンを押す
  - ⏮ / ⏭ボタンを押す
- A-B リピート再生中にも、再生スピードの変更（☞ 79 ページ）をしたり、インデックス（☞ 85 ページ）をつけたり、センテンス再生（☞ 82 ページ）を行ったりすることができます。
- A 点と B 点の間隔が短すぎる場合、A-B リピートの設定ができません。
- A 点を設定後、B 点を設定しなかった場合、そのファイルの末尾が B 点になります。
- ファイルをまたいでの A-B リピートはできません。

センテンス再生を行う

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生できる機能です。音楽の短いフレーズや、重要な音声を聞き逃したときなどに便利です。

再生中にセンテンス再生ボタンを押す

あらかじめ設定した秒数の位置に戻って再生します。

☞ **センテンス（少し戻り）再生間隔を設定する（138 ページ）**

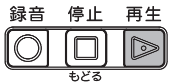
- もう一度戻して聞きたい場合は、もう一度センテンス再生ボタンを押します。
- A-B リピートを行っている場合は A-B リピート設定区間内でセンテンス再生を行います。
- 戻す秒数が、現在の再生位置より長い場合はファイルの最初から再生を行います。
- 最大で、再生中ファイルの先頭まで戻りますが、ファイルをまたいで（1 つ前のファイルに）戻ることはありません。

クリアボイス再生を行う

再生時に雑音やノイズがある場合、クリアボイス機能を使うことで、音声が聞きやすくなります。

再生中に再生ボタンを長押しする

クリアボイス機能が働きます。



- もう一度再生ボタンを長押しするとクリアボイス再生は解除されます。
- 再生を停止すると、クリアボイスは解除されます。
- PCM: 44.1、MP3: 192、MP3: 128 モードで録音した音声の再生時に使うと、より効果があります。
- 録音状態によっては、雑音が軽減しない場合があります。

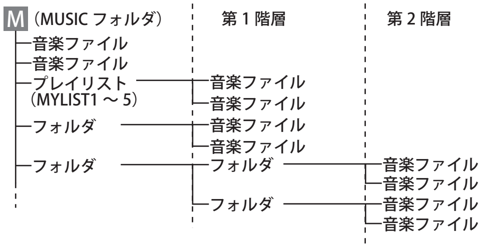
MUSIC フォルダの再生について

MUSIC（M）フォルダはパソコンから MP3、WMA および本機で録音した WAV ファイルを取り込んで再生するフォルダです。MUSIC（M）フォルダの中にお好みのフォルダを作成し、その中にファイルを転送して再生することもできます。

☞ **Windows Media Player で音楽ファイルを転送する（176 ページ）**

■フォルダの階層について

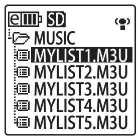
- 再生できるのは MUSIC フォルダの下位 2 階層までとなります。



- 3 階層以上は表示されません。

■ MYLIST1 ～ 5 ファイルについて

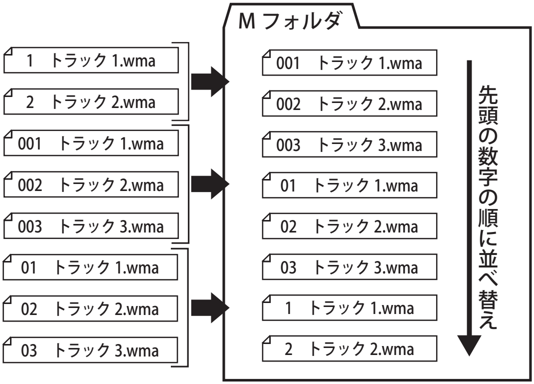
MUSIC フォルダには、あらかじめ 5 つのプレイリスト用ファイル（MYLIST1 ～ 5）が用意されています。MUSIC フォルダ内のファイルを各 MYLIST に登録することで、お好きな順番で再生することができます。



☞ **プレイリスト機能（MUSIC フォルダのみ）（91 ページ）**

■ MUSIC フォルダのソート（並べ替え）について

MUSIC フォルダでは、フォルダ内にあるファイルのファイル名の先頭の数字によって、昇順（小さい順）に自動で並べ替えられます。
先頭の数字が「001 ～」、「01 ～」、「1 ～」と混在している場合は、「001 ～」が最も優先され、次に「01 ～」、「1 ～」の順に並べ替えられます。



インデックスを付ける / 消去する

インデックスをつけると、再生時に頭出し操作ができるため、聞きたい位置をすばやくさがすことができます。

☞ **インデックス送り / インデックス戻しをするには（77 ページ）**

インデックスを付ける

・ MUSIC（M）フォルダ、ゴミ箱（🗑）フォルダのファイル及び、タイマー録音中はインデックスをつけることはできません。

録音または再生中に、インデックスを付けたい位置でインデックスボタンを押す。

「インデックス記録中」と表示され、インデックスが記録されます。

・ インデックスを付けた後も、録音または再生は続きますので、同様の操作で別の箇所にインデックスをつけることができます。
・ インデックスをつけたファイルをファイル分割するとインデックスは消去されます。
・ インデックスは、最大 36 個までつけることができます。

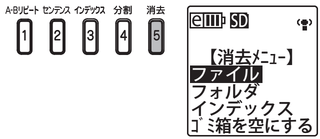
インデックスを消去する

1 インデックスを消去するファイルがあるフォルダを選択する

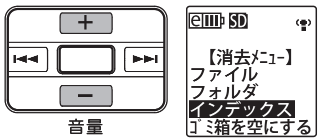
☞ フォルダを切り換える（30 ページ）

2 消去ボタンを押す

消去メニューが表示されます。

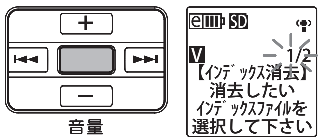


3 音量（＋ / −）ボタンを押して、インデックスを選択する

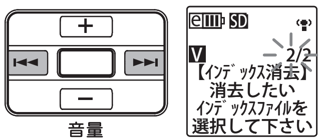


4 決定ボタンを押す

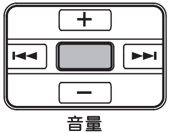
インデックス消去画面が表示され、ファイル番号が点滅します。



5 ⏮ / ⏭ボタンを押して、インデックスを消去するファイルを選択する

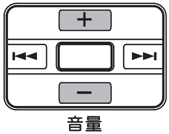


6 決定ボタンを押す



7 音量（+ / −）ボタンを押して、［実行］を選択する

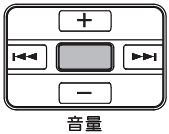
- インデックスの消去を途中でやめる場合は、［取消］を選択してください。

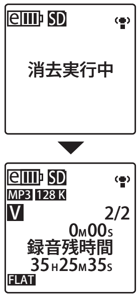


8 決定ボタンを押す

「消去実行中」と表示された後、インデックスが消去され、SD モード画面に戻ります。

- インデックスを消去しても音声は消去されません。
- ファイル内に複数のインデックスが付けられている場合であっても、インデックスを個別に消去することはできません。ファイル内のインデックスはすべて一括で消去されます。





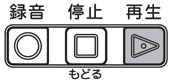
録音したファイルを分割する

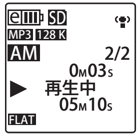
本機で録音した 1 つのファイルを 2 つに分割することにより、不要部分のカットや必要部分を抜き出すことができます。

- MUSIC（M）フォルダ、ゴミ箱（🗑）フォルダのファイルは、分割できません。
- ファイル分割するには、microSD カードの空き容量が必要です。
- フォルダがいっぱいのときは、ファイル分割できません。

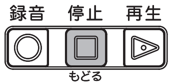
1 分割したいファイルを再生します

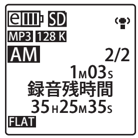
☞ファイルを再生する（74 ページ）





2 分割したい場所で停止ボタンを押す



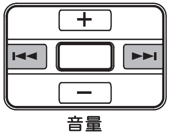


3 分割ボタンを押す

ファイル分割画面が表示されます。

4 ⏮ / ⏭ボタンを押して、［実行］を選択する

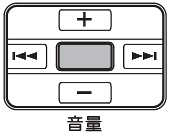
- ファイルの分割を途中でやめる場合は、［取消］を選択してください。

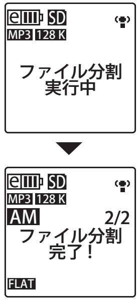


5 決定ボタンを押す

「ファイル分割 実行中」→「ファイル分割 完了 !」と表示され、ファイルが分割されます。

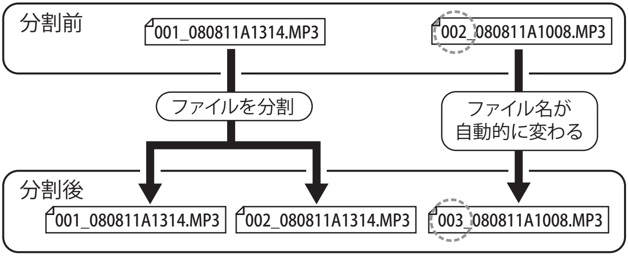
- 分割中は録音 LED が点滅します。
- ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが 1 つ増えます。
- インデックスをつけたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。
- ファイル分割した際、指定した場所から前後にずれが生じる場合があります。
- ファイル分割するファイルが入っている microSD カードの空き容量がない場合や、フォルダ内に、ファイルとフォルダが合わせて 199 個ある場合は、ファイル分割できません。





■ファイル分割のしくみと分割後のファイル名の付き方

例：001_080811A1314.MP3 ファイルを分割する。



001_080811A1314.MP3 のファイルを分割すると、002_080811A1314.MP3 のファイルが作成されます。ただし、フォルダ内に同じファイル番号のファイルが存在する場合は、分割後のファイルが優先され、もともとあったファイルのファイル番号が変更になります。
例えば、ファイル名 001_080811A1314.MP3 を分割すると 001_080811A1314.MP3 と 002_080811A1314.MP3 が作成され、フォルダ内に先に存在していた 002_080811A1008.MP3 は 003_080811A1008.MP3 にファイル番号が変更されます。

- 分割した部分が前後のファイルで重複します。重複する時間と分割に必要なファイルの録音時間は下表の通りです。

録音モード		重複する時間	ファイル録音時間
MP3	32kbps	約 8 秒	約 16 秒以上
	64kbps	約 4 秒	約 8 秒以上
	128kbps	約 2 秒	約 4 秒以上
	192kbps	約 1 秒以下	約 2 秒以上
PCM	44.1kHz		

プレイリスト機能（MUSIC フォルダのみ）

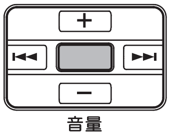
本機にはあらかじめ MUSIC フォルダ内に本機で編集できる 5 つのプレイリストファイル（MYLIST1 ～ 5.M3U）が用意されています。MUSIC フォルダ内のお好みの曲を、お好みの順番で再生することができます。

- プレイリストに登録できるのは、MUSIC フォルダ内のファイルのみです。
- MYLIST1 ～ 5 は削除することはできません。
- MYLIST はパソコンで編集しないでください。
- 1 つの MYLIST につき、99 ファイルが登録できます。

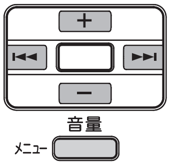
プレイリスト（MYLIST）にファイルやフォルダを登録する

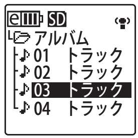
1 **SD モード画面で決定ボタンを押し、MUSIC（M）フォルダを選択する**

☞ **フォルダを切り換える（30 ページ）**



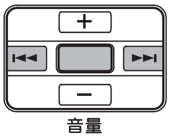
2 **音量（＋ / －）ボタン、|◀◀ / ▶▶|ボタンを押してプレイリストへ登録したいファイルまたはフォルダを選択し、メニューボタンを押す**





3 **|◀◀ / ▶▶|ボタンを押して、登録したいプレイリスト（MYLIST1 ～ 5 のいずれか）を選択し、決定ボタンを押す**

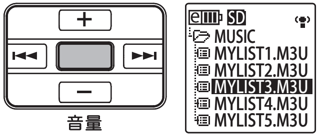
選択したプレイリストにファイルまたはフォルダが登録されます。



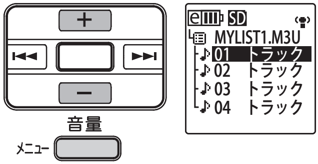
プレイリスト（MYLIST）の再生順を変更する

プレイリストに登録されているファイルの再生順を変更します。

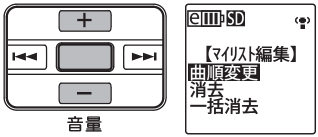
1 **リスト画面で再生順を変更したいプレイリスト（MYLIST1 ～ 5.M3U）を選択し、決定ボタンを押す**



2 **音量（＋ / －）ボタンを押して再生順を変更したいファイルを選択し、メニューボタンを押す**

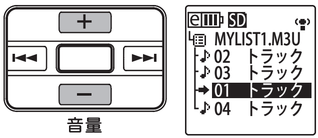


3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［曲順変更］を選択し、決定ボタンを押す**



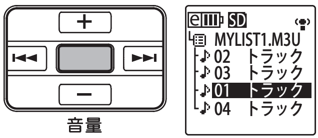
4 **音量（＋ / －）ボタンを押して選択したファイルを再生したい順番の位置に移動する**

選択中のファイルのアイコンが➡に変わります。



5 **決定ボタンを押す**

プレイリストの再生順が変更されました。

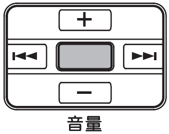


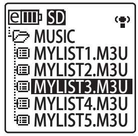
プレイリスト（MYLIST）のファイルを 1 件消去する

プレイリストに登録されているファイルの登録を消去します。

- プレイリスト内のファイルを消去しても、元となるファイルは消去されません。

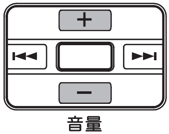
1 **リスト画面で消去したいファイルが入っているプレイリスト（MYLIST1 ～ 5.M3U）を選択し、決定ボタンを押す**

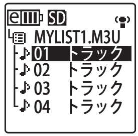




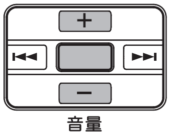
2 **音量（+ / −）ボタンを押して消去したいファイルを選択し、メニューボタンを押す**

- ここではファイル 01 を消去します。





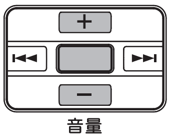
3 **音量（+ / −）ボタンを押して［消去］を選択し、決定ボタンを押す**

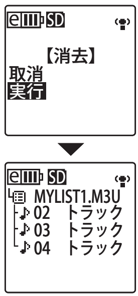


4 **音量（+ / −）ボタンを押して［実行］を選択し、決定ボタンを押す**

選択したファイルがプレイリストから消去されます。

- ファイル 01 が消去され、MYLIST には 02 ～ 04 のファイルのみ登録されています。



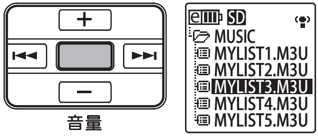


プレイリスト（MYLIST）のファイルを全件消去する

プレイリストに登録されている全てのファイルの登録を消去します。

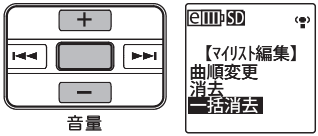
- プレイリスト内のファイルを消去しても、元となるファイルは消去されません。

1 **リスト画面で全件消去したいプレイリスト（MYLIST1 ～ 5.M3U）を選択し、決定ボタンを押す**



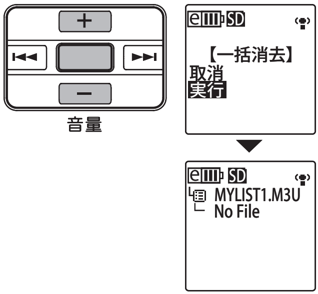
2 **メニューボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［一括消去］を選択し、決定ボタンを押す**



4 **音量（+ / −）ボタンを押して［実行］を選択し、決定ボタンを押す**

プレイリスト内の全てのファイルがプレイリストから消去され、“No File” と表示されます。



タイマー機能を使う

タイマー予約の流れ

あらかじめ設定した時間に、ラジオ放送の録音やマイク録音をしたり、ラジオ放送の受信やファイルの再生をしたりすることができます。録音と再生で一部手順が異なります。

タイマー予約設定の手順	録音	再生
step1　音量を調節し、タイマー設定の準備をする 本機に 5 つまで登録することができます。予約設定 1 ～ 5 のいずれかを選択します。	○	○
step2　タイマーの ON/OFF を設定する タイマー設定の ON/OFF を切り換えます	○	○
step3　繰り返し方法を設定する 繰り返し方法を、「1 回」、「毎日」、「曜日指定」のいずれかから選択することができます。	○	○
step4　曜日を設定する（step3 で、「曜日指定」を選択した場合のみ） タイマーを動作させる曜日を指定します。	○	○
step5　開始時間を設定する タイマーが作動する時間を設定します。	○	○
step6　終了時間を設定する タイマーが終了する時間を設定します。	○	○
step7　動作を設定する 「タイマー予約録音」、「タイマー予約再生」のいずれかを選択します。	○	○
step8　再生先を設定する（タイマー予約再生のみ） タイマー再生するモードを「AM」、「FM」、「ファイル再生」のいずれかから選択します。	−	○
step9　録音元を設定する（タイマー予約録音のみ） タイマー録音するモードを「AM」、「FM」、「MIC」のいずれかから選択します。	○	−
step10　録音音質を設定する（マイク録音のみ） 録音する音質を設定します。	○	−
step11　録音先を設定する（タイマー予約録音のみ） 録音するフォルダを「T1 ～ 5」のいずれかに設定します。	○	−
step12　出力を設定する（タイマー予約録音のみ） タイマー録音時に音声を出力するかどうかを設定します。	○	−
step13　タイマー設定の完了 タイマー設定を確定します。（**必ず完了してください。**）	○	○

タイマー予約を設定する

タイマー予約録音 / 再生の設定をします。

- タイマー動作時の音量は、タイマー予約 step13 で［完了］を選択し、決定ボタンを押した時点で設定されている音量になります。☞ **知っておくと便利です**（114 ページ）
- 設定前に電池の残量が充分にあることを確認し、カレンダーを設定してください。
  ☞ **電池の残量について（32 ページ）**
  ☞ **カレンダー（日時）を設定する（44 ページ）**

step1　音量を調節し、タイマー設定の準備をする

1 **本機の電源を入れ、音量を調節する。**

☞ **電源を入れる（32 ページ）**
☞ **音量を調節する（73 ページ）**

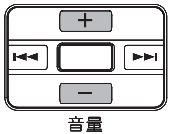
2 **予約ボタンを押す**

予約設定画面が表示されます。

- 予約設定画面では、予約設定の一覧が確認できます。
  ☞ **予約設定画面の見方（114 ページ）**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して、予約設定 1 〜 5 のいずれかを選択する**

例 : ここでは 1 を選択します。

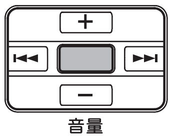


4 **決定ボタンを押す**

選択した予約番号の設定画面が表示されます。

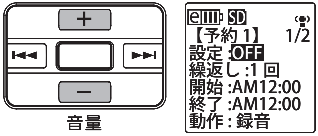
- **必ず決定ボタンを押してください。**

☞ **「step2 タイマーの ON/OFF を設定する」へすすむ**



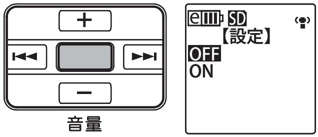
step2　タイマーの ON/OFF を設定する

1 **音量（＋ / −）ボタンを押して、［設定］の項目を選択する**



2 **決定ボタンを押す**

【設定】画面が表示されます。

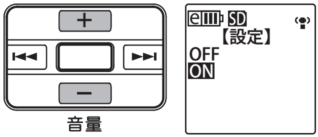


3 **音量（＋ / −）ボタンを押して、［ON］を選択する**

［OFF］: タイマーを実行しません

［ON］: タイマーを実行します

- タイマー設定が OFF になっていると、タイマー録音（再生）は動作しません。タイマー録音（再生）する場合は、ON に設定してください。設定のみ行い、タイマー録音（再生）しない場合は、OFF に設定してください。

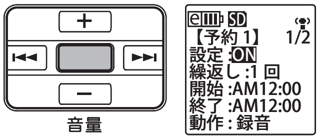


4 **決定ボタンを押す**

タイマー ON/OFF の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

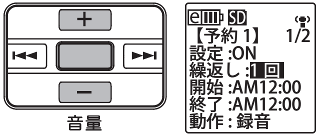
- **必ず決定ボタンを押してください。**

☞ **「step3 繰り返し方法を設定する」へすすむ**



step3　繰り返し方法を設定をする

1 **音量（＋ / －）ボタンを押して［繰返し］の項目を選択し、決定ボタンを押す**

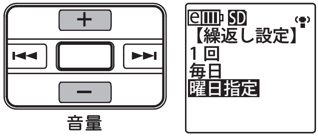


2 **音量（＋ / －）ボタンを押して、ご希望の繰返し設定を選択する**

［1 回］：　指定時刻になると一回だけ予約録音（再生）します

［毎日］：　指定時刻になると毎日予約録音（再生）します

［曜日指定］：指定した曜日の指定時刻に予約録音（再生）します



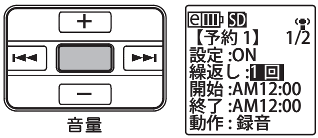
3 **決定ボタンを押す**

繰返し方法の設定を完了します。

- **必ず決定ボタンを押してください。**

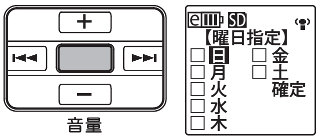
2で［1 回］または［毎日］を選択した場合は、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

☞ **「step5 開始時間を設定する」へすすむ**



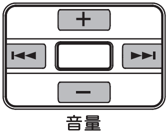
2で［曜日指定］を選択した場合は、曜日指定画面が表示されます。

☞ **「step4 曜日を設定する」へすすむ**



step4　曜日を設定をする（step3 で［曜日指定］を選択した場合のみ）

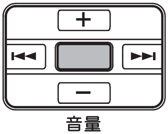
1 **音量（＋ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押してご希望の曜日を選択する**



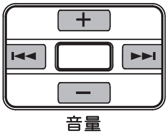
2 **決定ボタンを押す**

曜日の左の□にチェックが入ります。

- 曜日は、複数指定できます。
- チェックを取り消すときは、もう一度決定ボタンを押します。



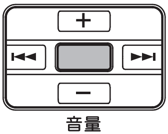
3 **音量（＋ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押して［確定］を選択する**



4 **決定ボタンを押す**

曜日の選択を完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

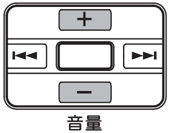
☞ **「step5 開始時間を設定する」へすすむ**



- 手順3で、必ず「確定」を選んで決定ボタンを押してください。決定ボタンが押されていないと曜日指定が確定されず、設定が反映されません。

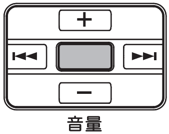
step5　開始時間を設定する

1 音量（＋ / －）ボタンを押して、［開始］の項目を選択する



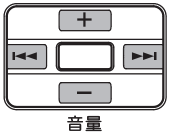
2 決定ボタンを押す

【開始時間】設定画面が表示されます。



3 音量（＋ / －）ボタン、|◀◀ / ▶▶|ボタンを押して、開始時間を設定する

- |◀◀ / ▶▶|ボタンを押すごとに“時”と“分”を移動します。
- 音量（＋ / －）ボタンを押すごとに数値が変更されます。
- AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です。

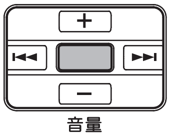


4 決定ボタンを押す

タイマー開始時間の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

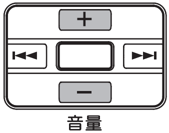
- **必ず決定ボタンを押してください。**

☞　**「step6 終了時間を設定する」へすすむ**



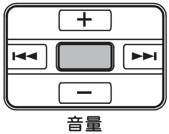
step6　終了時間を設定する

1 **音量（+ / −）ボタンを押して、［終了］の項目を選択する**



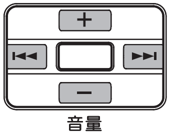
2 **決定ボタンを押す**

【終了時間】設定画面が表示されます。



3 **音量（+ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押して、終了時間を設定する**

- ⏮ / ⏭ボタンを押すごとに " 時 " と " 分 " を移動します。
- 音量（+ / −）ボタンを押すごとに数値が変更されます。
- AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です。
- 開始時刻から終了時刻までの設定可能時間は 12 時間です。

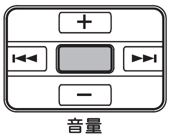


4 **決定ボタンを押す**

タイマー終了時間の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

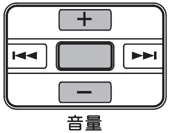
- **必ず決定ボタンを押してください。**

☞ **「step7 動作を設定する」へすすむ**



step7　動作を設定する

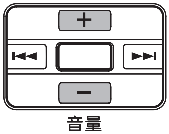
1 **音量（＋ / －）ボタンを押して［動作］の項目を選択し、決定ボタンを押す**



2 **音量（＋ / －）ボタンを押して、再生または録音を選択する**

［再生］: タイマー設定時刻になると､自動的にファイルの再生を開始します。

［録音］: タイマー設定時刻になると、自動的に録音を開始します。



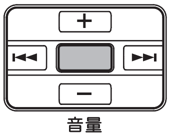
3 **決定ボタンを押す**

タイマー動作の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

- **必ず決定ボタンを押してください。**

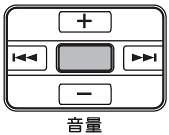
2で［再生］を選択した場合は

☞ **「step8 再生先を設定する」へすすむ**



2で［録音］を選択した場合は

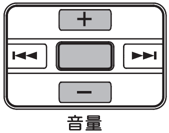
☞ **「step9 録音元を設定する」へすすむ**

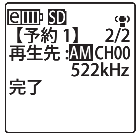


step8　再生先を設定する（step7 で［再生］を選択した場合のみ）

■再生先を選択する

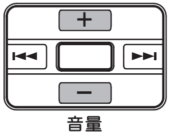
1 音量（＋ / －）ボタンを押して、［再生先］の項目を選択し、決定ボタンを押す





2 音量（＋ / －）ボタンを押して、再生先を選択する

［AM］: AM 放送を受信します
［FM］: FM 放送を受信します
［ファイル再生］: 選択したファイルを再生します。

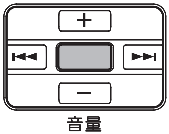


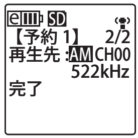
3 決定ボタンを押す

- **必ず決定ボタンを押してください。**

2で［AM］または［FM］を選択した場合は、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

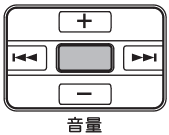
☞ **「放送局を選択する」へすすむ**

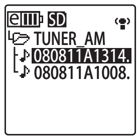




2で［ファイル再生］を選択した場合は、リスト画面が表示されます。

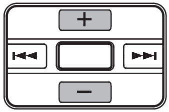
☞ **「再生するファイルを選択する」へすすむ**



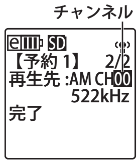


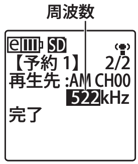
■放送局を選択する（[AM］または［FM］を選択した場合のみ）

1 音量（＋ / －）ボタンを押して、受信したい放送局がプリセットされているチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）に移動する



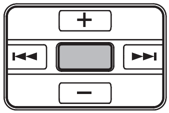
音量





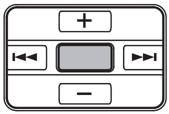
2 決定ボタンを押す

1でチャンネルを選択した場合は【プリセット設定】画面が表示されます。



音量

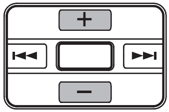
1で周波数を選択した場合は【周波数設定】画面が表示されます。



音量

3 **音量（+ / −）ボタンを押して、受信したいラジオ放送のチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）を選択する**

・ ボタンを押すごとにチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）が切り換わります。



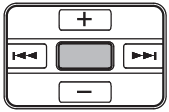
音量

4 **決定ボタンを押す**

再生先の放送局の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

・ **必ず決定ボタンを押してください。**

☞ **「step13 タイマー設定の完了」へすすむ**

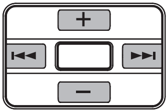


音量

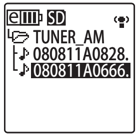
・ ラジオ（AM/FM）をタイマー予約録音する場合は、あらかじめ録音する放送局がよく受信できることを確認し、その状態から本機（あるいはクレードルのループアンテナ）を動かさないでください。
・ FM 放送をタイマー予約録音する場合は、ヘッドホン端子にステレオヘッドホン（付属）を接続したままにしておいてください。ヘッドホンがアンテナの役目をするため、ヘッドホンを接続していない状態では、タイマー作動時に FM 放送を受信できません。（ただし、クレードルに FM アンテナが接続された状態で、クレードルを使用する場合は、ヘッドホンを接続する必要はありません。）

■再生するファイルを選択する（[ファイル再生］を選択した場合のみ）

1 **⏮ / ⏭ボタン、音量（＋ / −）ボタンを押して、再生したい音声ファイルが格納されているフォルダから再生したいファイルを選択する**



音量



☞ **リスト画面の操作（28 ページ）**

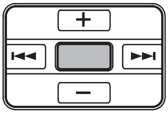
- ゴミ箱（RECYCLE）フォルダのファイルは選択できません。
- 選択したファイルが削除された場合、指定時刻に BEEP 音が鳴ります。
- リピートモードが OFF に設定されている場合、ファイルを一回再生して停止します。タイマー設定時間中にタイマー指定した時間より短いファイルを繰返し再生したい場合は、リピートモードを OFF 以外に設定してください。

2 **決定ボタンを押す**

再生するファイルの設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

- **必ず決定ボタンを押してください。**

☞ **「step13 タイマー設定の完了」へすすむ**



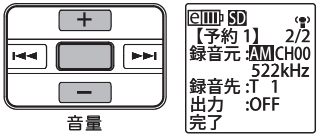
音量

MUSIC フォルダのファイルを選択した場合

step9　録音元を設定する（step7 で［録音］を選択した場合のみ）

■録音元を選択する

1 **音量（＋ / −）ボタンを押して、［録音元］の項目を選択し、決定ボタンを押す**

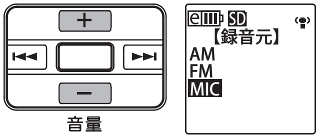


2 **音量（＋ / −）ボタンを押して、録音元を選択する**

［AM］: AM 放送を録音（再生）します

［FM］: FM 放送を録音（再生）します

［MIC］: マイク録音や外部録音をします



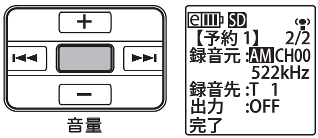
3 **決定ボタンを押す**

録音元の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

- **必ず決定ボタンを押してください。**

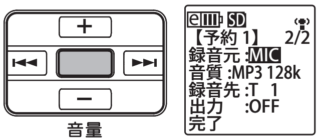
2で［AM］または［FM］を選択した場合は

☞ **「放送局を選択する」へすすむ**



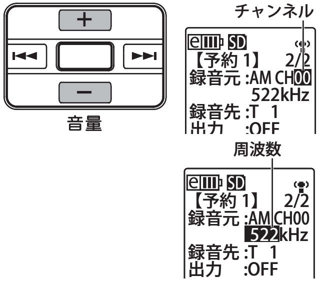
2で［MIC］を選択した場合は

☞ **「step10 録音音質を設定する」へすすむ**



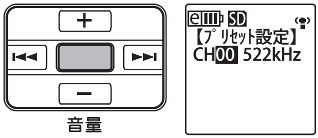
■放送局を選択する（[AM] または [FM] を選択した場合のみ）

1 音量（＋ / －）ボタンを押して、録音したい放送局がプリセットされているチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）を選択する

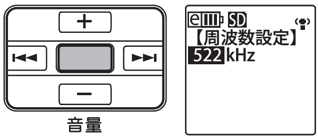


2 決定ボタンを押す

1でチャンネルを選択した場合は【プリセット設定】画面が表示されます。

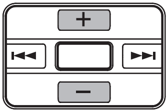


1で周波数を選択した場合は【周波数設定】画面が表示されます。



3 音量（＋ / －）ボタンを押して、録音したいラジオ放送のチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）を選択する

・ ボタンを押すごとにチャンネル（CH）または周波数（AM: kHz、FM: MHz）が切り換わります。



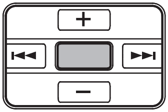
音量

4 決定ボタンを押す

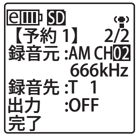
録音元の放送局の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

・ **必ず決定ボタンを押してください。**

☞ **「step11 録音先を設定する」へすすむ**

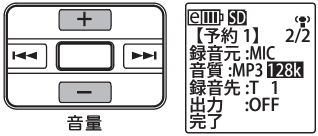


音量



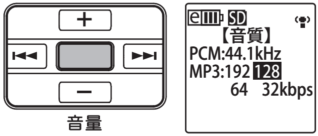
step10 録音音質を設定する（step9 で［MIC］を選択した場合のみ）

1 **音量（＋ / −）ボタンを押して、［音質］の項目を選択する**

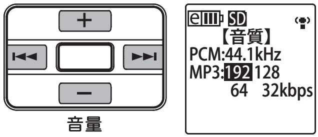


2 **決定ボタンを押す**

【音質】設定画面が表示されます。



3 **|◀◀ / ▶▶|ボタン、音量（＋ / −）ボタンを押して、録音する音質を選択する**

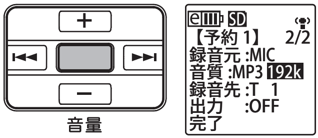


4 **決定ボタンを押す**

タイマー動作の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

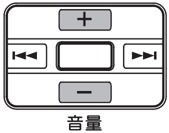
- **必ず決定ボタンを押してください。**

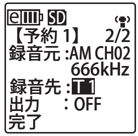
☞ **「step11 録音先を設定する」へすすむ**



step11 録音先を設定する（step7 で［録音］を選択した場合のみ）

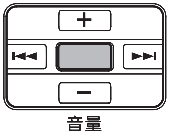
1 **音量（＋ / －）ボタンを押して、［録音先］の項目を選択する**





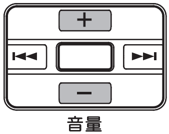
2 **決定ボタンを押す**

【録音先】設定画面が表示されます。



3 **音量（＋ / －）ボタンを押して、録音するフォルダ（T1 ～ T5）を選択する**

- T1 ～ T5 以外のフォルダへ録音することはできません。
- お買い上げ時は、予約録音 1 ～ 5 の録音先は、それぞれT1 ～T5 フォルダに設定されています。

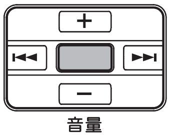


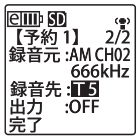
4 **決定ボタンを押す**

録音先となるフォルダの設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

- **必ず決定ボタンを押してください。**

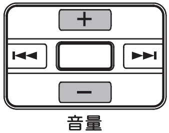
☞ **「step12 出力を設定する」へすすむ**

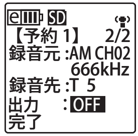




step12 出力を設定する（step7 で［録音］を選択した場合のみ）

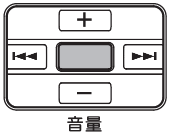
1 音量（＋ / −）ボタンを押して、［出力］を選択する





2 決定ボタンを押す

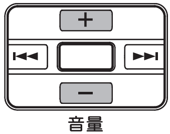
出力設定画面が表示されます。



3 音量（＋ / −）ボタンを押して、［ＯＦＦ］または［ＯＮ］を選択する

［OFF］: 音声を出力しません。（音量 ″0″）

［ON］ : 音声を出力します。

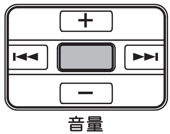


4 決定ボタンを押す

出力の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

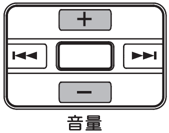
- **必ず決定ボタンを押してください。**

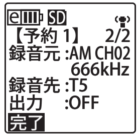
☞ 「step13 タイマー設定の完了」へすすむ



step13 タイマー設定の完了

1 **音量（+ / −）ボタンを押して、［完了］を選択する**

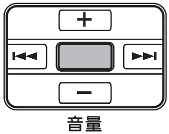




2 **決定ボタンを押す**

予約設定画面に戻ります。

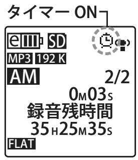
- **必ず［完了］を選択し、決定ボタンを押してください。**



3 **予約ボタンを押す**

SD モード画面またはラジオ受信画面に戻ります。

- タイマー設定が ON になっている場合は、画面に⏲が表示されます。



- タイマー設定や時報設定が重複している場合はタイマー設定が完了できず、エラーが表示されます。タイマー設定が重複しないように、**各タイマー設定の開始時刻と終了時刻はそれぞれ 1 分以上空けて設定をおこなってください。**
- タイマー設定中に、別に設定しているタイマーの設定時刻になった場合は、タイマー録音（再生）を開始します。
- 電源をオフにしている場合も、タイマー開始時刻になると電源が入り動作します。タイマー終了時刻になると電源が切れます。
- 再生中やラジオ受信中にタイマー開始時刻になると、タイマーを実行します。
- 録音中は、タイマー開始時刻になってもタイマーは実行されません。

知っておくと便利です

- **タイマー動作時の音量は、step13［完了］を選択して決定ボタンを押した時点で設定されている音量になります。クレードル (ICR-RS110MF の場合）に接続した状態でタイマー動作 (録音・再生）を実行する場合、IC レコーダ本体のみで操作、確認している場合よりも大きな音で再生されますので、予めクレードル接続状態で再生時の音量を確認しておくことをおすすめします。また、深夜や早朝時など、音を出さずにタイマー録音したい場合は、出力設定を "OFF" にすることをおすすめします。**
- カレンダー設定が初期化された場合、全てのタイマー設定は OFF になります。
- タイマー再生でファイル再生を設定後に、選択したファイルを消去した場合は、タイマー設定時刻になるとファイル再生の代わりにビープ音が 30 秒間鳴ります。
- 次のような場合は、タイマー予約録音（再生）が正しくできないことがあります。
  - 録音中にタイマー開始時刻になった場合
  - microSD カードが入っていない、または microSD カードの残容量が少なく、タイマー予約録音が指定した時間できない場合
  - 録音ファイル数の上限を超えた場合
  - パソコンなどと接続していて、タイマー開始時刻になっても動作できない場合
  - タイマー録音中（再生中）に、電池 / 電源が切れた場合
- 何らかの理由により、タイマーが動作しなかった場合は、「タイマー動作が実行できませんでした」が表示されます。また、予約設定画面で動作しなかったタイマー設定の設定番号の先頭に（×）が表示されます。ただし、本機の電池を抜いていた場合、（×）は表示されません。

■予約設定画面の見方

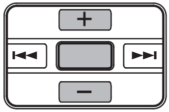
① 予約番号
② OFF: タイマーを実行しない
ON: タイマーを実行する
③ REC: タイマー予約録音
PLAY: タイマー予約再生
④ 開始時刻

スリープタイマーを使う

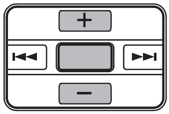
スリープタイマーを設定すると、設定した時間が経過した後、自動的に電源を切ることができます。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［共通設定］を選択し、決定ボタンを押す**


音量

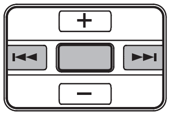
3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［スリープタイマー］を選択し、決定ボタンを押す**

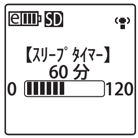

音量

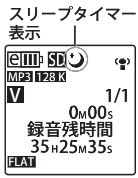
4 **⏮ / ⏭ボタンを押してスリープタイマーが作動するまでの時間を設定し、決定ボタンを押す**

10 分～ 120 分の間で 10 分単位で設定できます。0 分に設定するとスリープタイマーが OFF に設定されます。

- 一度スリープタイマー設定した後に、再度スリープタイマー設定メニューに入ると残り時間を確認できます。
- スリープタイマーが設定されると、画面にが表示されます。


音量





メニューボタンを押してメニューを終了する

ゴミ箱機能について

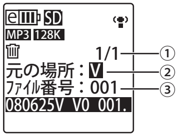
ゴミ箱機能をオンに設定すると、本機で消去したファイルはゴミ箱（🗑）フォルダに移動されます。ゴミ箱（🗑）フォルダの中のファイルは元に戻すことができるので、間違って消去した場合でも安心です。
お買い上げ時は、ゴミ箱機能が「ON」に設定されています。ゴミ箱機能を「OFF」に設定すると、ファイル、フォルダの消去を行なった場合、データは microSD カードから消去され、元に戻すことができません。**誤消去防止のため、ゴミ箱機能を「ON」にすることをおすすめします。**（☞ 152 ページ）

- **ゴミ箱（🗑）フォルダの最大ファイル数は 199 ファイルです。ゴミ箱に 199 ファイルある場合は、それ以上のファイルを削除できないため、ゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルを元のフォルダ内に戻すか、ゴミ箱フォルダを空にしてください。**
  ☞ゴミ箱フォルダ内のファイルを元に戻す（118 ページ）
  ☞ゴミ箱内のファイルを空にする（119 ページ）参照
- **M フォルダのファイルは、ゴミ箱機能設定が「ON」「OFF」にかかわらず、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動しません。本機から完全に消去されます。**
- ゴミ箱（🗑）フォルダにファイルが多くたまると、動作の低下をまねくおそれがあります。定期的にゴミ箱を " 空 " にすることをおすすめします。
- ゴミ箱機能が「ON」のときにファイルを削除しても、録音残時間表示は増えません。
- ゴミ箱（🗑）フォルダにファイルを移動すると元のフォルダに作成されたインデックスは自動的に消去されます。
- microSD カードをフォーマットした場合は、ゴミ箱にあるファイルもすべて消去されます。
- ゴミ箱（🗑）フォルダ選択時に録音ボタンを押すと VOICE（V）フォルダへ移動して録音を開始します。
- ゴミ箱機能を「OFF」にしても、ゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルは消去されません。
- ゴミ箱（🗑）フォルダは、リスト画面では「RECYCLE」と表示されます。

ゴミ箱機能設定時のゴミ箱フォルダの表示について

●ファイルがない時

●ファイルがある時



①ゴミ箱フォルダ内のファイル番号
②消去前に保存されていたフォルダ
③消去前のファイル番号

- ゴミ箱内のファイルは、再生ボタンで再生することができます。

ゴミ箱に移動したファイルのファイル名について

ゴミ箱に移動したファイルのファイル名は自動的に変更されます。

例 :AM フォルダの “001_080725A1008.MP3” のファイルをゴミ箱に移動した場合

$\underset{\textcircled{1}}{\underline{\textbf{001\_}}}\underset{\textcircled{2}}{\underline{\textbf{080725}}}\underset{\textcircled{3}}{\underline{\textbf{A}}}\underset{\textcircled{4}}{\underline{\textbf{1008}}}\textbf{\_}\underset{\textcircled{5}}{\underline{\textbf{AM}}}\textbf{\_}\underset{\textcircled{6}}{\underline{\textbf{003}}}\textbf{.}\underset{\textcircled{7}}{\underline{\textbf{MP3}}}$

①: ゴミ箱内のファイル番号 *（001、002、003…というように、ゴミ箱に移動された順番でつけられます）
②: 日付（ファイルを録音した日付です）
③: 録音内容（ゴミ箱に移動する前のフォルダ名です）
④: 周波数（AM フォルダ、FM フォルダから移動したファイルのみ）
⑤: 元のフォルダ（AM、FM、VO、T1 ～ T5）
⑥: ファイル番号（ゴミ箱に移動する前のファイル番号です）
⑦: 拡張子（ファイル形式です。MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV となります）

* 本機では表示されません。パソコンでのみ表示されます。

ゴミ箱フォルダ内のファイルを元に戻す

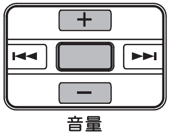
1 ゴミ箱フォルダを選択する

☞ **フォルダを切り換える（30 ページ）**

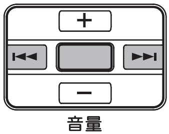
2 消去ボタンを押す

ゴミ箱メニューが表示されます。

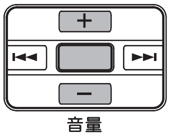
3 音量（＋ / －）ボタンで［1 件戻す］を選択し、決定ボタンを押す。



4 ⏮ / ⏭ボタンを押して元に戻すファイルを選択し、決定ボタンを押す。

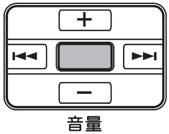


5 音量（＋ / －）ボタンで［実行］を選択する。



6 **決定ボタンを押す**

“ ゴミ箱からファイルを戻しています ...” と表示された後、“ ＊の末尾にファイルを戻しました ” と表示されます。（＊はフォルダ名が入ります）

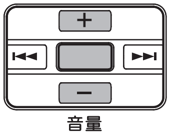


- **ゴミ箱内のファイルを元に戻した場合、ファイル名が変わり、元のフォルダの最後尾に復元されます。**
- 手順**6**で “ ＊が一杯です。ファイルを戻せません ” と表示された場合は元のフォルダのファイル数が制限数に達しています。ファイルを消去して空き容量を増やしてください。（＊はフォルダ名が入ります。）

ゴミ箱内のファイルを空にする

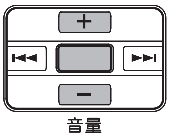
ゴミ箱を空にすると、ゴミ箱内のファイルは完全にメモリから削除されます。元に戻すことはできないので、空にする前に必要なデータはパソコンや外部機器などに保存してください。

1 **118 ページの手順3で［空にする］を選択し、決定ボタンを押す**



2 **音量（＋ / －）ボタンで［実行］を選択し、決定ボタンを押す。**

“ ゴミ箱を空にしています ...” と表示され、ゴミ箱が空になります。



- SD モード画面で停止中に消去ボタンを押して、消去メニューからゴミ箱を空にすることもできます。

1 件消去する（ファイル消去）

フォルダ内のファイルを 1 つ選んで消去することができます。

- ゴミ箱機能がオフに設定されている場合（☞ 152 ページ）、一度消去した音声などは元に戻すことができません。消去する前に、必ず録音内容を確認してください。
- 操作前に電池の残量が十分にあることを確認してください。

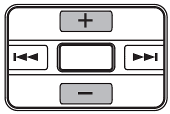
1 消去したいファイルのあるフォルダを選択する

☞ **フォルダを切り換える（30 ページ）**

2 消去ボタンを押す

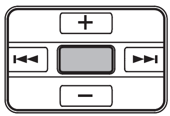
- 消去メニューが表示されます。

3 音量（＋ / －）ボタンを押して、［ファイル］を選択する



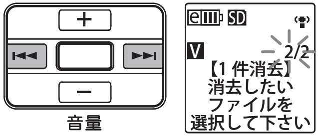
4 決定ボタンを押す

1 件消去画面が表示されます。

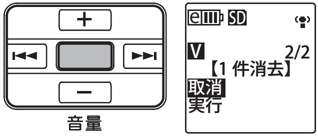


5 ⏮/⏭ボタンを押して、消去するファイルを選択します

・ボタンを押すごとに右上の数字が切り換わります。

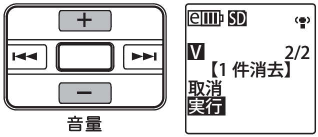


6 決定ボタンを押す



7 音量（+ / −）ボタンを押して、［実行］を選択する

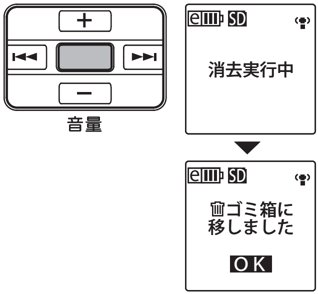
・消去を中止する場合は、［取消］を選択してください。



8 決定ボタンを押す

●ゴミ箱機能がオンに設定されている場合
「消去実行中」の表示後、「ゴミ箱に移しました」と表示され、ファイルがゴミ箱に移動します。もう一度決定ボタンを押すと、SD モード画面に戻ります。

●ゴミ箱機能がオフに設定されている場合
「消去実行中」の表示後、ファイルが消去されSD モード画面に戻ります。



全件消去する（フォルダ消去）

フォルダ内の全ファイルを一括して消去することができます。

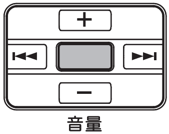
- ゴミ箱機能がオフに設定されている場合（☞ 152 ページ）、一度消去した音声などは元に戻すことができません。消去する前に、必ず録音内容を確認してください。
- 操作前に電池の残量が十分にあることを確認してください。

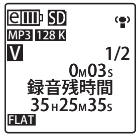
1 全件消去したいフォルダを選択する

☞ **フォルダを切り換える（30 ページ）**

2 決定ボタンを押す

SD モード画面に戻り左上に選択したフォルダ名が表示されます。

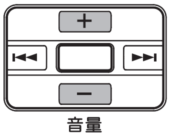




3 消去ボタンを押す

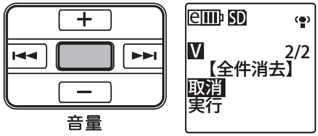
消去メニューが表示されます。

4 音量（＋ / －）ボタンを押して、［フォルダ］を選択する



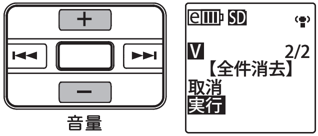
5 決定ボタンを押す

全件消去画面が表示されます。



6 音量（＋ / －）ボタンを押して、［実行］を選択する

- 消去を中止する場合は、［取消］を選択してください。



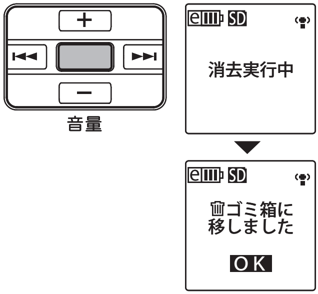
7 決定ボタンを押す

●ゴミ箱機能がオンに設定されている場合

「消去実行中」の表示後､「ゴミ箱に移しました」と表示され、ファイルがゴミ箱に移動します。もう一度決定ボタンを押すと、SD モード画面に戻ります。

●ゴミ箱機能がオフに設定されている場合

「消去実行中」の表示後、ファイルが消去され SD モード画面に戻ります。



microSD カードを初期化する（フォーマット）

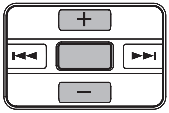
フォーマットを行うと、ゴミ箱機能がオンの場合でも全てのファイルが完全に消去されます（mircoSD カード初期化)。一度消去したファイルは元に戻すことができません。
消去前に必ず mircoSD カード内の録音内容を確認してください。全データの消去前に、必要なデータはパソコンや外部機器にバックアップしてください。(☞ 164、199 ページ)

・ 全データを消去する前に電池の残量が充分にあることを確認してください。

1 **メニューボタンを押す**

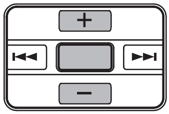
メニュー項目が表示されます。

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［共通設定］を選択し、決定ボタンを押す**



音量

3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［フォーマット］を選択し、決定ボタンを押す**

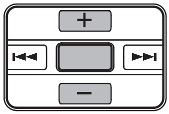


音量

4 **音量（＋ / －）ボタンを押して［実行］を選択し、決定ボタンを押す**

フォーマット実行中⇒フォーマット完了！と表示され、mircoSD カード内の全データを消去します。

・ 消去を実行しないときは【取消】を選択し、決定ボタンを押します。
・ 消去実行中は、取り消しはできません。
・ フォーマット中に microSD カードや電池を抜かないでください。



音量

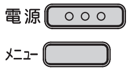
メニューボタンを押してメニューを終了する

メニューについて

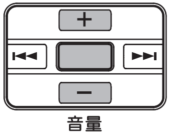
メニュー操作のしかた

メニュー画面で本機の設定を変更したり、本機の機能を使うことができます。
ここでは、基本的なメニュー設定の操作について説明します。
例 : 録音モードを変更する場合

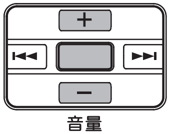
1 本機の電源を入れ、メニューボタンを押す
メニュー項目が表示されます。



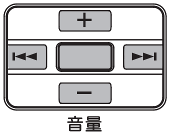
2 メニュー項目を選択する
音量（＋ / －）ボタンを押してメニュー項目を選択し、決定ボタンを押します。
ここでは［録音設定］を選びます。

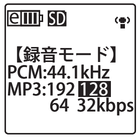


3 設定項目を選択する
音量（＋ / －）ボタンを押して設定項目を選択し、決定ボタンを押します。
ここでは［録音モード］を選びます。



4 設定内容を変更する
設定する内容は、設定項目により異なります。
ここでは|◀◀ / ▶▶|ボタン、音量（＋ / －）ボタンを押して「MP3:128kbps」を選択し、決定ボタンを押します。





5 メニューボタンを押す
メニュー操作を終了します。
これで設定は完了です。

メニュー一覧

■停止中メニュー

SD モード画面で停止中、またはラジオ受信中にメニューボタンを押す

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

【メニュー項目】	【設定項目】	【設定内容】	【参照ページ】
録音設定	録音モード	PCM: 44.1kHz MP3: 192/**128**/64/32kbps	130 ページ
	マイク ALC 設定	OFF/**ON**	131 ページ
	マイク感度	**高** / 低	132 ページ
	VAS 設定	**OFF**/ON	133 ページ
	Low Cut フィルタ	**OFF**/ON	134 ページ
	ステレオワイド	**OFF**/ON	135 ページ
	セルフタイマー録音	**OFF**/5 秒 /10 秒 /30 秒	135 ページ
再生設定	リピート設定	**OFF**/ONE/ALL/RANDOM	137 ページ
	センテンス再生	**5 秒** /10 秒 /15 秒	138 ページ
	タイムスキップ	**OFF**/30 秒 /1 分 /10 分 /30 分	139 ページ
	サウンド EQ	**FLAT**/BASS1/BASS2/POP/ ROCK/JAZZ/USER	140 ページ

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

【メニュー項目】	【設定項目】	【設定内容】	【参照ページ】
ラジオ設定	エリアバンド	札幌 / 仙台 / **東京** / 名古屋 大阪 / 広島 / 福岡 / ユーザ	46 ページ
	オートプリセット	AM/**FM**	143 ページ
	出力設定	**自動切換** / スピーカー固定	144 ページ
	FM モード	**ステレオ** / モノラル	145 ページ
	AM 画面表示	OFF/ **常に ON**	145 ページ
共通設定	BEEP 音設定	OFF/ **音声ガイド** / 警告音 （音量設定※1: 音量大 / **音量中** / 音量小）	146 ページ
	録音 LED	OFF/**ON**	147 ページ
	カレンダー設定	年 / 月 / 日 /24h または AM/PM/ 時 / 分※2	44 ページ
	時報設定	設定 : **OFF**/ON 受信先 : **FM**/AM、CH、周波数 受信時間 : **AM12** ～ PM11 完了	147 ページ
	電池切換	**エネループ** / アルカリ電池	150 ページ

※1 音声ガイドまたは警告音設定時のみ音量が設定できます。
※2 お買い上げ時（工場出荷時）は 2008 年 11 月 1 日 24H 0 時 00 分に設定されています。

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

【メニュー項目】	【設定項目】	【設定内容】	【参照ページ】
共通設定	オートパワーオフ	OFF（0）～ **15** 分	151 ページ
	スリープタイマー	**OFF**（0）～ 120 分	115 ページ
	バックライト	OFF/**ON**	151 ページ
	コントラスト	（淡）1 ～ **5** ～ 10（濃）	152 ページ
	ゴミ箱機能	OFF/**ON**	152 ページ
	フォーマット	**取消** / 実行	124 ページ
	メニュー初期化	**取消** / 実行	153 ページ
	バージョン	バージョンの表示	153 ページ

■再生中メニュー

再生中にメニューボタンを押す

【ボタン操作】	【設定項目】	【設定内容】	【参照ページ】
メニューボタン	リピート設定	**OFF**/ONE/ALL/RANDOM	137 ページ
	センテンス再生	**5 秒** /10 秒 /15 秒	138 ページ
	タイムスキップ	**OFF**/30 秒 /1 分 /10 分 /30 分	139 ページ
	サウンド EQ	**FLAT**/BASS1/BASS2/POP/ROCK/JAZZ/USER	140 ページ

■消去メニュー

停止中に消去ボタンを押す

【ボタン操作】	【設定項目】	【設定内容】	【参照ページ】
消去ボタン	ファイル	**取消** / 実行	120 ページ
	フォルダ	**取消** / 実行	122 ページ
	インデックス	**取消** / 実行	86 ページ
	ゴミ箱を空にする	**取消** / 実行	119 ページ

■ゴミ箱メニュー

ゴミ箱フォルダで消去ボタンを押す

【ボタン操作】	【設定項目】		【参照ページ】
消去ボタン	一件戻す	**取消** / 実行	118 ページ
	空にする	**取消** / 実行	119 ページ

■プレイリスト編集メニュー

プレイリスト（MYLIST）内をリスト表示中にメニューボタンを押す

【ボタン操作】	【設定項目】	【設定内容】	【参照ページ】
メニューボタン	曲順変更		92 ページ
	消去	**取消** / 実行	93 ページ
	一括消去	**取消** / 実行	94 ページ

録音に関するメニュー設定（録音設定）

録音モードを切り換える

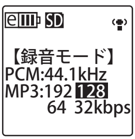
マイク録音時の音質を変更することができます。目的に応じて最適な音質をお選びいただけます。

1 **本機の電源を入れ、SD モード画面でメニューボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［録音設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［録音モード］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **⏮ / ⏭ボタン、音量（+ / −）ボタンを押して［録音モード］を選択し、決定ボタンを押す**



PCM	44.1kHz	高音質録音
MP3	192kbps	↑
	128kbps	標準音質
	64kbps	↓
	32kbps	長時間録音

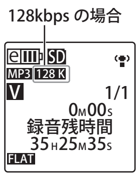
- PCM は音声データをすべて非圧縮で記録し、MP3 は圧縮して記録します。音質を高めるとデータサイズは大きくなり録音できる時間はそれだけ短くなります。音質を優先するか、録音時間を優先するかを考え、目的に合った録音モードをお選びください。

☞ **録音モードと録音可能時間（202 ページ）**

- ラジオ録音時の音質は、MP3: 128kbps に固定されています。

メニューボタンを押してメニューを終了する

- 選んだ録音モードが画面に表示されます。



マイク ALC 設定を切り換える

会議や人の声を録音するときは ALC をオンに、楽器演奏や自然の音など、手動で録音レベルを調整して録音するときは ALC をオフに設定してください。

ALC 設定	ALC オン	ALC オフ
特長	大きい音は少し小さく、小さい音は少し大きく録音します。音割れや歪みを抑え、聞き取りに適した音声録音を行います。	音の大小をそのまま録音し、原音に忠実な音声録音を行います。
主な使用場面	会議や商談、講演やインタビューなど	楽器演奏など

・ ラジオ録音時は、マイク ALC は機能しません。

1 **本機の電源を入れ、SD モード画面でメニューボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［録音設定］を選択し、決定ボタンを押す**

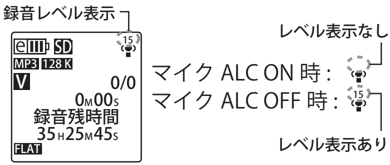
3 **音量（+ / −）ボタンを押して［マイク ALC 設定］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（+ / −）ボタンを押して［OFF］または［ON］を選択し、決定ボタンを押す**

OFF: ALC をオフにします。
ON: ALC をオンにします。

メニューボタンを押してメニューを終了する

・ ALC の設定を切り換えると画面のアイコンが変わります。



・ マイク ALC を OFF に設定すると、マイク感度のアイコンの上に現在の録音レベルが表示されます。（ON に設定されているときは何も表示されません。）
・ マイク ALC は、マイク録音時のみ有効になります。

マイク感度を切り換える

録音状況に応じて、マイクの感度を切り換えることができます。
録音した音声が小さい場合や大きすぎる場合は、マイク感度を切り換えて調整してください。

- ラジオ録音時は、マイク感度は機能しません。

1 **本機の電源を入れ、SD モード画面でメニューボタンを押す**

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［録音設定］を選択し、決定ボタンを押す**

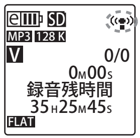
3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［マイク感度］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（＋ / －）ボタンを押して［OFF］または［ON］を選択し、決定ボタンを押す**

高：録音した音声が小さすぎる場合は高に設定してください。
低：録音した音声が大きすぎる場合は低に設定してください。

メニューボタンを押してメニューを終了する

- マイク感度の設定を切り換えると画面のアイコンが変わります。



マイク感度 高：
マイク感度 低：

- マイク感度は、マイク録音時のみ有効になります。

VAS を設定する

VAS を「ON」に設定すると、録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定レベル以下になると録音が自動的に一時停止（録音待機）します。

- マイク ALC が「OFF」に設定されている場合、VAS 録音はできません。
- VAS 設定「ON」で録音中に、一時停止（録音待機）になっても、オートパワーオフ機能は働きません。
  ただし、VAS 録音中に録音ボタンを押す（一時停止）と、通常の録音一時停止状態になります。（オートパワーオフを ON に設定しているときは、設定された時間の経過後に自動的に電源が切れます。）
- ラジオ録音時は、VAS は設定できません。
- 小さな音の場合は録音しないことがありますので、大切な録音をするときは、この機能を「OFF」に設定してください。
- Low Cut フィルタを ON に設定すると低域の音がカットされるため、正しく録音されない場合があります。そのような場合は、Low Cut フィルタを OFF に設定してください。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋ / −）ボタンを押して［録音設定］を選択し、決定ボタンを押す**

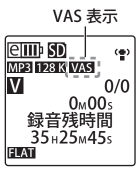
3 **音量（＋ / −）ボタンを押して［VAS 設定］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（＋ / −）ボタンを押して「OFF」または「ON」を選択し、決定ボタンを押す**

OFF:
VAS をオフにします。
ON:
VAS をオンにします。

5 **メニューボタンを押してメニューを終了する**

- VAS を ON に設定すると、画面にアイコンが表示されます。



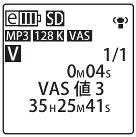
6 **SD モードで録音ボタンを押す**

音声を感知すると自動的に録音が始まります。音声を感知できない場合は、一時停止（録音待機）になり、経過時間と VAS 表示が点滅し、一時停止状態になります。

- 停止 / もどるボタンを押すと録音停止状態になります。

■音声感知レベルの調整

VAS 設定 ON で録音中に |◀◀ / ▶▶| ボタンを押すと、録音感知レベルを調整できます。



- 1 ～ 5 段階に調整できます。（お買い上げ時は 3 に設定されています。）
- 数値が高くなるほど小さな音を感知して録音を開始しますが、雑音の多い場所では、録音が一時停止しない場合があります。

Low Cut フィルタを設定する

録音時に低い周波数の音を減衰させ、クリアな音を録音します。会議録音で気になる空調設備の音などを低減したい時に効果的です。

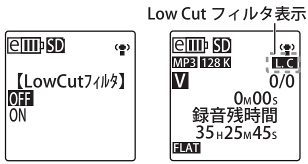
- ラジオ録音時は Low Cut フィルタは機能しません。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［録音設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［Low Cut フィルタ］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（＋ / －）ボタンを押して［OFF］または［ON］を選択し、決定ボタンを押す**



メニューボタンを押してメニューを終了する

- Low Cut フィルタをオンに設定すると画面にアイコンが表示されます。

ステレオワイドを設定する

本機のマイク録音時、ステレオ感が強調された、より広がりのある録音ができます。

- ラジオ録音時はステレオワイドは設定できません。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（+ / –）ボタンを押して［録音設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（+ / –）ボタンを押して［ステレオワイド］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（+ / –）ボタンを押して［OFF］または［ON］を選択し、決定ボタンを押す**

OFF:ステレオワイドをオフにします。
ON: ステレオワイドをオンにします。

メニューボタンを押してメニューを終了する

セルフタイマーで録音する

本機のマイク録音時、録音ボタンを押してから録音を開始するまでの時間をお好みで設定できます。楽器の練習等、録音までの準備を一定時間必要とする録音に最適です。

- ラジオの録音は、セルフタイマー録音できません。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（+ / –）ボタンを押して［録音設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（+ / –）ボタンを押して［セルフタイマー録音］を選択し、決定ボタンを押す**

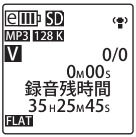
4 音量（+ / −）ボタンを押してセルフタイマーの設定時間を選択し、決定ボタンを押す

OFF:　セルフタイマーを設定しません。
5 秒 :　録音ボタンを押した 5 秒後に録音を開始します。
10 秒 : 録音ボタンを押した 10 秒後に録音を開始します。
30 秒 : 録音ボタンを押した 30 秒後に録音を開始します。

5 メニューボタンを押してメニューを終了する

6 SD/ リストボタンを押して、SD モード画面またはリスト画面を表示する。

SD モード画面



リスト画面

7 録音ボタンを押す。

セルフタイマー待機画面が表示され、設定した時間のカウントダウンが始まります（録音 LED が ON に設定されているときは、録音 LED が点滅します）。

- ALC がオフに設定されている場合は、「録音スタンバイモード」になります。録音レベルを調整した後、再度録音ボタンを押してください。セルフタイマー待機画面となり、設定時間のカウントダウンが始まります。

手順4で設定した時間が経過すると、録音を開始します。

- 一度セルフタイマー録音を開始すると、自動的にセルフタイマー録音の設定が「OFF」になります。もう一度、セルフタイマー録音を行うには、再度 1 ～ 4 の手順で設定を行ってください。
- カウントダウン中に［停止 / 戻る］を押すと、セルフタイマー録音をキャンセルできます。キャンセルした場合は、もう一度［録音 / 一時停止］を押すとカウントダウンが始まります。

再生に関するメニュー設定（再生設定）

リピート設定を切り換える

ファイルをリピート再生（繰り返し再生）することができます。1ファイルを何度も繰り返したり、フォルダ内のファイルを順に再生したり、ランダムに再生したり、いろいろなリピート再生を選択することができます。

1 **本機の電源を入れ（または再生中に）、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋／－）ボタンを押して［再生設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（＋／－）ボタンを押して［リピート設定］を選択し、決定ボタンを押す**

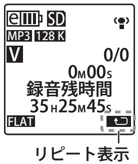
4 **音量（＋／－）ボタンを押してリピートモードを選択し、決定ボタンを押す**

OFF: リピート再生をオフにします。
ONE: 選択中の 1 曲を繰り返し再生します。
ALL:
フォルダ内のすべての曲を繰り返し再生します。（フォルダをまたがっての再生はできません）
RANDOM:
フォルダ内のすべての曲を順不同に並べ換えて繰り返し再生します。（フォルダをまたがっての再生はできません）

メニューボタンを押してメニューを終了する

・ リピートを設定すると画面にアイコンが表示されます。

	ONE
	ALL
RND	RANDOM



ファイルを再生すると、設定されているリピートモードで再生を開始します。

・ リピート再生を中止するときは、リピートモードの設定で「OFF」を選択してください。

センテンス（少し戻り）再生間隔を設定する

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生できる機能です。音楽の短いフレーズや、重要な音声を聞き逃したときなどに便利です。

1 **本機の電源を入れ（または再生中に）、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［再生設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［センテンス再生］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（＋ / －）ボタンを押してセンテンス再生する時間を選択し、決定ボタンを押す**

5 秒 : 5 秒戻ってセンテンス再生します。
10 秒 : 10 秒戻ってセンテンス再生します。
15 秒 : 15 秒戻ってセンテンス再生します。

メニューボタンを押してメニューを終了する

再生中にセンテンス再生ボタンを押すとセンテンス再生をします。
☞ センテンス再生を行う（82 ページ）

タイムスキップを設定する

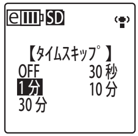
再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけスキップして再生することができます。
同じ箇所を繰り返したり、再生位置をすばやく移動させたりする時に便利です。

1 **本機の電源を入れ（または再生中に）、メニューボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［再生設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［タイムスキップ］を選択し、決定ボタンを押す**

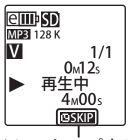
4 **音量（+ / −）ボタン、⏮ / ⏭ ボタンを押してタイムスキップする時間を選択し、決定ボタンを押す**



OFF: タイムスキップ機能をオフにします。
30 秒 : 30 秒ごとにタイムスキップします。
1 分 : 1 分ごとにタイムスキップします。
10 分 : 10 分ごとにタイムスキップします。
30 分 : 30 分ごとにタイムスキップします。

メニューボタンを押してメニューを終了する

- タイムスキップを設定すると画面にアイコンが表示されます。



タイムスキップ表示

☞ **タイムスキップ（送り / 戻し）するには（77 ページ）**

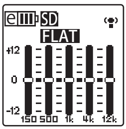
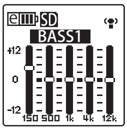
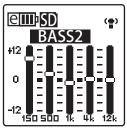
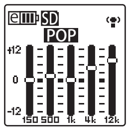
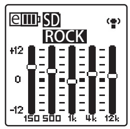
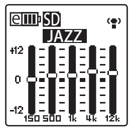
サウンド EQ を設定する

サウンド EQ を設定することにより、お好みの音質で音楽をお楽しみいただけます。

- サウンド EQ は、ステレオヘッドホン再生時、またはクレードル接続再生時のみ有効となります。

■サウンド EQ モードを選択する

あらかじめプリセットされている「FLAT」、「BASS1」、「BASS2」、「POP」、「ROCK」、「JAZZ」の 6 種類のサウンド EQ モードと、5 バンドのサウンドレベルを自由に設定できる「USER」から選択することができます。プリセットサウンドの特徴は、以下のとおりです。

FLAT	BASS1	BASS2	POP	ROCK	JAZZ
					
「サウンド EQ」機能を使わず、原音のまま再生します。	低音域をやや強調します。	低音域をより強調します。	高音域をより強調します。	低音域と高音域をやや強調します。	中音域を強調します。

- 「USER」の出荷時の設定は、「FLAT」と同様です。
- プリセットされている 6 種類のサウンド EQ モードは、設定内容の変更（調整）はできません。
- 細かい設定内容の変更を行いたい場合は、「USER」を選択してください。

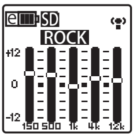
☞ **サウンド EQ をお好みの音質に設定する（141 ページ）**

1 **本機の電源を入れ（または再生中に）、メニューボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［再生設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［サウンド EQ］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **⏮ / ⏭ボタンを押してお好みのサウンド EQ モードを選択し、決定ボタンを押す**



6 つのプリセットサウンド EQ モードと、「USER」から選択できます。

- 「USER」を選択した場合は、「サウンド EQ をお好みの音質に設定する」（141 ページ）を参照の上、設定してください。

5 **メニューボタンを押してメニューを終了する**

- 設定したサウンド EQ モードが画面に表示されます。

EQ モード表示

■サウンド EQ をお好みの音質に設定する（USER 選択時のみ）

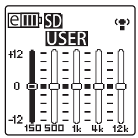
サウンド EQ で「USER」を選択している場合、サウンド EQ の 5 バンドの各レベルを自由に設定することができます。

1 **サウンド EQ 設定で USER を選択する**

☞**サウンド EQ モードを選択する（140 ページ）**

2 **音量（−）ボタンを押す**

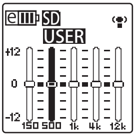
150Hz 帯が黒色バー表示になり、選択されます。



3 |◀◀ / ▶▶|ボタンを押して、変更したい周波数帯を選ぶ

選択している周波数帯が黒色バー表示になります。

- 「150H z」、「500H z」、「1k H z」、「4kHz」、「12kHz」の周波数帯の調整ができます。



4 音量（＋ / －）ボタンを押して、選択した周波数帯のレベルを調整する

－ 12dB ～ 12dB（25 段階）まで、1 dB ごとに調整できます。dB の数字が大きいほど強調されます。

- 音量（＋）を押すとレベルが大きくなります。
- 音量（－）ボタンを押すとレベルが小さくなります。
- **他の周波数を変更する場合は手順3と手順4の操作を繰り返してください。**
- **途中で設定を中止するときは、停止 / もどるボタンを押してください。手順1の画面に戻ります。**

5 決定ボタンを押す

メニューボタンを押してメニューを終了する

ラジオに関するメニュー設定（ラジオ設定）

オートプリセットを使う

現在、本機で聞くことのできる電波の強い放送局を受信して、メニュー設定「エリアバンド」の「ユーザー」にプリセットします。

- オートプリセットを使うと、プリセットできたチャンネルを⏮/⏭ボタンで選局できます。

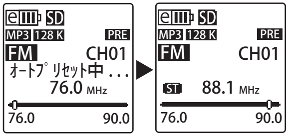
1 **本機の電源を入れ（またはラジオ受信中に）、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋/－）ボタンを押して［ラジオ設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（＋/－）ボタンを押して［オートプリセット］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（＋/－）ボタンを押して「AM」または「FM」を選択し、決定ボタンを押す**

"オートプリセット中"と表示され、周波数の下限から自動的に選局が始まり、受信した放送局が自動的にプリセットされます。



- 受信できる放送局が20局登録されるか、周波数の上限に達するとオートプリセットを終了し、チャンネル01に登録された放送局を受信します。

- 電波が弱く、受信状態が悪い場合は、オートプリセットができない場合があります。
- 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信してプリセットすることがありますが、故障ではありません。
- 本機をクレードルにセットした状態でAM放送を受信した場合、妨害電波を受信して停止しやすくなりますので、クレードルにセットしない状態で実行してください。
- オートプリセットを実行すると、エリアバンドの設定は自動的に［ユーザー］に切り換わります。

音声の出力先を切り換える

ラジオ受信時に、ヘッドホンを接続している時も音声をスピーカーから出力することができます。
FM 放送受信時はヘッドホンがアンテナの役目をするため、ヘッドホンを本機に接続しておかなければなりません。通常、ヘッドホンを接続するとヘッドホンからのみ音声が出力されますが、「スピーカー」固定に設定するとヘッドホンを接続した状態でもスピーカーから音声を出力することができます。

1 **本機の電源を入れ（またはラジオ受信中に）、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［ラジオ設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［出力設定］を選択し、決定ボタンを押す**

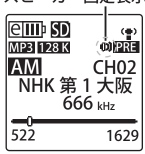
4 **音量（＋ / －）ボタンを押して［自動切換］または［スピーカー固定］を選択し、決定ボタンを押す**

自動切換 :
ヘッドホン接続時は、スピーカーから音声を出力しません。
スピーカー固定 :
ヘッドホン接続時も、スピーカーから音声を出力します。

メニューボタンを押してメニューを終了する

- 「スピーカー固定」は、ラジオ受信時のみ有効です。ファイル再生時はヘッドホンを接続すると、スピーカーから音声は出力されません。

スピーカー固定表示



FM モードを切り換える

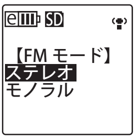
FM 放送受信時、受信状態によって雑音で聞こえにくい場合は、モノラルに切り換えると聞きやすくなる場合があります。

1 本機の電源を入れ（またはラジオ受信中に）、メニューボタンを押す

2 音量（＋ / －）ボタンを押して［ラジオ設定］を選択し、決定ボタンを押す

3 音量（＋ / －）ボタンを押して［FM モード］を選択し、決定ボタンを押す

4 音量（＋ / －）ボタンを押して［ステレオ］または［モノラル］を選択し、決定ボタンを押す



ステレオ：
ステレオで受信します。
モノラル：
常にモノラルになります。

- FM ラジオ受信中に再生ボタンを押して、FM モードを切り換えることもできます。

メニューボタンを押してメニューを終了する

AM 画面表示を切り換える

AM 放送受信中の画面表示を設定します。AM 放送を受信しているときにノイズが入る場合は、画面表示を消すことによってノイズが少なくなることがあります。

1 本機の電源を入れ（またはラジオ受信中に）、メニューボタンを押す

2 音量（＋ / －）ボタンを押して、［ラジオ設定］を選択し、決定ボタンを押す

3 音量（＋ / －）ボタンを押して、［AM 画面表示］を選択し、決定ボタンを押す

4 音量（＋ / －）ボタンを押して、［OFF］、または［常に ON］を選択し、決定ボタンを押す

OFF:
何も操作をしていないときは、自動的に画面表示が消えます。いずれかのボタンを押すと、2 秒間画面が表示されます。
常に ON:
何も操作をしていないときでも、常に画面が表示されます。

メニューボタンを押してメニューを終了する

その他のメニュー設定（共通設定）

音声ガイド /BEEP 音を設定する

ボタン操作時の BEEP 音（ビープ : ピピピピッ）や音声ガイドを設定したり、鳴らないようにしたりすることができます。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［共通設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［BEEP 音設定］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（＋ / －）ボタンを押して［OFF］、［音声ガイド］または［警告音］を選択し、決定ボタンを押す**

OFF:
ボタン操作時に音声ガイド、BEEP 音を鳴らしません。
音声ガイド :
ボタン操作時に音声ガイドと BEEP 音を鳴らします。
警告音 :
ボタン操作時に BEEP 音を鳴らします。

5 **［音声ガイド］、［警告音］を選択した場合は、音量（＋ / －）ボタンを押してお好みの音量を選択し、決定ボタンを押す**

メニューボタンを押してメニューを終了する

録音 LED を設定する

録音時、録音 LED を点灯しないように設定することができます。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［共通設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［録音 LED］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（＋ / －）ボタンを押して「OFF」または「ON」を選択し、決定ボタンを押す**

OFF: 録音時、録音 LED が点灯しません。
ON: 録音時、録音 LED が点灯します。

メニューボタンを押してメニューを終了する

時刻自動補正機能（時報設定）を設定する

ラジオの時報情報を受信することにより、現在時刻を自動的に補正することができます。

- 時刻自動補正機能は、本機の電源オフ時または、クレードル充電時のみ動作します。
- 時刻自動補正機能で補正できる範囲は、時報の± 2 分間です。あらかじめカレンダー設定で誤差が 2 分以内になるように設定してください。
- 時報設定する前に、設定する周波数の放送が正しく聞こえることをご確認ください。ノイズが入ると、正しく時報設定ができないのでご注意ください。
- FM を受信させる場合は、あらかじめ本機にヘッドホンを接続しておくか、本機をクレードルにセットしておいてください。受信状態が悪い場合は、正しく補正できません。感度が悪くノイズが入る場合は、ラジオ設定メニューの FM モードを「モノラル」に設定するとノイズが低減する場合があります。
- ラジオの受信状態が悪い場合は、誤動作防止のため、時刻自動補正機能を OFF に設定してください。
- 録音、再生時など本機の動作中に時刻自動補正の設定時間になった場合は、補正を行いません。

・ 毎時、時報が放送されるわけではありません。また、放送局によっては時報のお知らせがない場合があります。

1 本機の電源を入れ、メニューボタンを押す

2 音量（＋ / －）ボタンを押して［共通設定］を選択し、決定ボタンを押す

3 音量（＋ / －）ボタンを押して［時報設定］を選択し、決定ボタンを押す

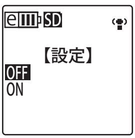
時報設定画面が表示されます。

4 設定（ON/OFF）を選択する

時刻自動補正の ON/OFF を設定します。

①音量（＋ / －）ボタンを押して［設定］を選択し、決定ボタンを押す

②音量（＋ / －）ボタンを押して「ON」または「OFF」を選択し、決定ボタンを押す



ON: 設定する
OFF: 設定しない

5 受信先（AM/FM）を選択する

時報情報を受信する受信先を AM/FM から選択します。

①音量（＋ / －）ボタンを押して［受信先］に移動し、決定ボタンを押す

②「AM」または「FM」を選択し、決定ボタンを押す

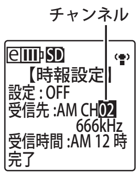
6 受信先（放送局）を選択する

時報情報を受信する放送局を選択します。

・ 放送局の選局方法は、「チャンネル」と「周波数」の 2 通りあります。

●チャンネルで選局する場合

①音量（＋ / －）ボタンを押して［チャンネル（CH）］に移動し、決定ボタンを押す



②音量（＋ / －）ボタンを押して放送局が登録されているチャンネルを選択し、決定ボタンを押す

☞ **手順7へすすむ**

●周波数で選局する場合

①音量（＋ / －）ボタンを押して［周波数］に移動し、決定ボタンを押す

②音量（＋ / －）ボタンを押して放送局が登録されている周波数を選択し、決定ボタンを押す

☞ **手順7へすすむ**

7 受信時間を選択する

時報情報を受信する時間を設定します。

①音量（＋ / －）ボタンを押して［受信時間］に移動し、決定ボタンを押す

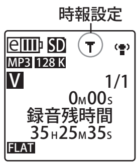
②音量（＋ / －）ボタンを押して［時間］を選択し、決定ボタンを押す

8 時報設定を終了する

音量（＋ / －）ボタンを押して［完了］に移動し、決定ボタンを押す

メニューボタンを押してメニューを終了する

- 時報設定を ON に設定すると、画面にアイコン（T）が表示されます。



- 設定した時間になると、ラジオの時報情報を受信し、現在時刻が自動的に補正されます。

・ 時報情報受信の成功 / 失敗によりアイコンの表示が変わります。

受信成功	受信失敗
OK	

9 本機の電源を切る

・ 本機の動作中は自動補正機能が働きません。

使用する電池の種類を切り換える

使用する電池の種類（エネループ充電池、またはアルカリ乾電池）を設定します。

1 本機の電源を入れ、メニューボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、決定ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［電池切換］を選択し、決定ボタンを押す

4 音量（+ / −）ボタンを押して使用している電池の種類を選択し、決定ボタンを押す

メニューボタンを押してメニューを終了する

・ 設定した種類と異なる電池を使用すると、電池残量などが正しく表示されません。

オートパワーオフを設定する

電源オン状態で、設定した時間、本機を使用しなかった場合、自動的に電源が切れる機能です（録音中、録音スタンバイ中、VAS録音で一時待機中、再生中、ラジオ受信中を除く）。電源を切り忘れても自動で電源が切れるので、余分な電池の消耗を防ぎます。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋/－）ボタンを押して［共通設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（＋/－）ボタンを押して［オートパワーオフ］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（＋/－）ボタンを押してオートパワーオフ機能がはたらく時間を選択し、決定ボタンを押す**

OFF（0）～ 15 分（15）

- 1 分単位で設定できます。
- OFF に設定するとオートパワーオフ機能ははたらきません。

メニューボタンを押してメニューを終了する

画面のバックライトを設定する

ボタンを押したときの画面のバックライトの設定を変更します。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋/－）ボタンを押して［共通設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（＋/－）ボタンを押して［バックライト］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（＋/－）ボタンを押して［ON］または［OFF］を選択し、決定ボタンを押す**

OFF: バックライトは点灯しません
ON: ボタンを押したとき、15 秒間バックライトが点灯します

メニューボタンを押してメニューを終了する

- お買い上げ時は、ON に設定されています。
- 電池残量が少ない場合は、バックライトが点灯しないことがあります。

画面のコントラストを調整する

画面のコントラストを調節します。
調整は 10 段階で設定できます。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［コントラスト］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **⏮、⏭ボタンを押してコントラストの濃淡を調整し、決定ボタンを押す**

表示調整 : 1（淡）～ 10（濃）

メニューボタンを押してメニューを終了する

ゴミ箱機能を設定する

ゴミ箱機能を無効（OFF）にして消去したファイルは、元に戻すことができません。
通常は、誤消去防止のため有効（ON）に設定しておくことをおすすめします。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［ゴミ箱機能］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（+ / −）ボタンを押して［ON］または［OFF］を選択し、決定ボタンを押す**

OFF: ゴミ箱機能が無効になります。
ON: ゴミ箱機能が有効になります。

メニューボタンを押してメニューを終了する

メニューを初期化する

本機の設定を初期化すると、メニュー設定（カレンダー設定を除く）/ 予約設定 / ラジオプリセット設定はお買い上げ時の状態に戻ります。

- メニューを初期化しても microSD カード内のデータは消去されません。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（＋ / −）ボタンを押して［メニュー初期化］を選択し、決定ボタンを押す**

4 **音量（＋ / −）ボタンを押して［実行］を選択し、決定ボタンを押す**

設定メニューの初期化が行われます。

メニューボタンを押してメニューを終了する

バージョンを確認する

本機ファームウェアのバージョンを確認することができます。

1 **本機の電源を入れ、メニューボタンを押す**

2 **音量（＋ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、決定ボタンを押す**

3 **音量（＋ / −）ボタンを押して［バージョン］を選択し、決定ボタンを押す**

ファームウェアのバージョンが表示されます。

メニューボタンを押してメニューを終了する

パソコンでお使いになる前に

動作環境の確認

動作環境

本機は以下のパソコン環境で動作します。

対応機種	Windows 標準搭載パソコン
対応 OS （日本語版）	Windows Vista Windows XP Windows 2000 Professional (SP3 以降)
USB 端子	本機接続時に 1 つ必要
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要 サウンド再生機能を搭載のパソコン

● Windows Media Player について

お使いの OS に対応した、以下のいずれかの Windows Media Player をお使いください。

Windows Media Player11	Windows Vista / Windows XP
Windows Media Player10	Windows XP
Windows Media Player9	Windows 2000 Professional (SP3 以降)

※上記以外の Windows Media Player での動作保証はいたしません。
※上記は 2008 年 11 月現在での動作環境です。

最新の Windows Media Player は、以下の URL から入手してください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx
☞ Windows Media Player のバージョンを確認する（156 ページ）

- Macintosh など Windows を搭載していないパソコンや、自作パソコンでは動作保証いたしません。
- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  -Windows 各 OS からのアップグレード環境
  -Windows95、Windows NT、Windows98、Windows98SE、Windows Me
  -Windows 各 OS のデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
- Windows Vista/XP/2000 をお使いの場合、管理者権限（Administrators）のユーザにてご使用ください。
- Windows 2000 以降で導入された「ダイナミック ディスク」には動作保証していません。

※サスペンド：
CPU、LCD、HDD などを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPU は停止しているが ROM への電力供給はされている状態。

■パソコン接続時のご注意

- **本機で録音した MP3 または、WAV ファイルの名前をパソコンで変更すると、元のフォルダで再生できなくなります。ファイル名規則に則ったファイル名に戻すか、MUSIC フォルダに移して再生してください。（☞ 23 ページ）**
- microSD カードのフォーマットは必ず本機側で行ってください。パソコンでフォーマットを行うと、以降の録音が正常に行われなくなることがあります。
- パソコンでフォーマットしてしまった場合は、再度本機でフォーマットしてください。（☞ 123 ページ）
- バスパワー型 USB ハブ、または USB 延長ケーブル（付属ケーブル以外）をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用 USB 接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。

Windows Media Player のバージョンを確認する

お使いのパソコンのメーカーや OS のバージョンにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。本書の説明で使用する画面は、Windows XP/Windows Media Player 11 となります。その他のバージョンの OS/Windows Media Player をお使いの場合は、当社サポート HP をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

1 **［スタート］メニューから［すべてのプログラム］-［Windows Media Player］を選択して、Windows Media player を起動する**

2 **メニューバーが表示されている場合は、［ヘルプ］-［バージョン情報］をクリックする**

メニューバーが表示されていない場合は、手順**1**の Windows Media Player を起動した状態で、キーボードの［Ctrl］キーを押しながら［M］を押すとメニューバーが表示されます。

3 **[バージョン] の右側に表示されている数字を確認する**

一番左のケタ番号が、お使いの Windows Media Player のバージョンです。

9.XX.XX ⇒　バージョン 9
10.XX.XX ⇒ バージョン 10
11.XX.XX ⇒ バージョン 11

7.XX…、8.XX…と表記されているバージョンは動作保証致しません。

パソコンでできること

パソコンを使ってこんなことができます。

■パソコンを使って充電する
本機をパソコンに接続して、エネループを充電することができます。

■録音した音声ファイルをパソコンに保存する
本機で録音した音声ファイルをパソコンにバックアップできます。

■パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す
本機からパソコンにバックアップした音声ファイルを、もう一度本機に戻して聞くことができます。

■音声ファイルを CD-R/RW にコピーする
本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R/RW にコピーすることができます。

■音声ファイルを作成する（CD リッピング）
音楽 CD や語学 CD から、本機で再生可能なファイルをパソコンで作成します。

■ Windows Media Player で音楽ファイルを転送する
パソコンで作成した音楽ファイルを、Windows Media Player を使って本機に取り込みます。

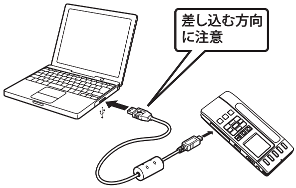
■ microSD カードリーダー / ライターとして使用する
本機を microSD カードリーダー / ライターとして使うことができます。

パソコンに接続する / 取り外す

パソコンに接続する

1 専用 USB 接続ケーブルをパソコンの USB 端子に接続する

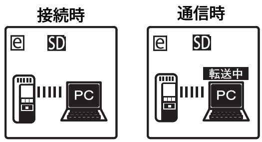
2 電源オフの状態で、専用 USB 接続ケーブルのもう一方を本機に接続する



- バスパワー型 USB ハブ、または USB 延長ケーブル（付属ケーブル以外）をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用 USB 接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。

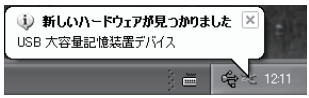
■パソコンに接続中の画面の表示

通信中は本機をパソコンから抜かないでください。
接続画面表示中は、本機のどのボタンやスイッチを押しても動作しません。



■初めて接続した場合

図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。



- パソコンに何も表示されない場合は
  （☞ 181 ページ）

■自動再生画面について

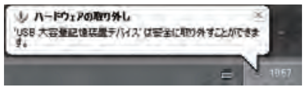
Windows XP または Windows Vista をお使いの場合は［自動再生］画面が表示される場合があります。
[自動再生] 画面で「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択して「OK」をクリックすると、本機のフォルダが表示されます。
また、[自動再生] 画面で実行する動作の種類や表記は、お使いのパソコン環境によって変わります。

パソコンから取り外す

1 **［タスクトレイ］の をクリックし、[USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブを安全に取り外します] をクリックする**

- お使いのパソコン環境により、ドライブのアルファベット表記が異なりますが、問題はありません。

2 **下図のメッセージが表示されたら、本機を専用 USB 接続ケーブルから取り外す**



- [タスクトレイ] に アイコンが表示されていない場合は、 アイコンをクリックしてください。隠れているアイコンが表示されます。それでも アイコンが表示されない場合は、パソコンの電源を切り、本機を取り外してください。

パソコンまたは USB 対応 AC アダプターで充電する

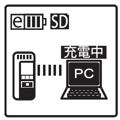
本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプターに接続し、エネループ充電池（付属）を充電することができます。

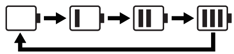
- **本機にエネループ充電池が入っていることを必ず確認してください。**
- アルカリ電池等を入れたまま充電すると、液漏れ等、本機の故障の原因となります。
- 電池切換を「エネループ」に設定してください。
  ☞使用する電池の種類を切り換える（150 ページ）

エネループを充電する

1 **本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプターに接続する**
☞パソコンに接続する（158 ページ）

2 **本機の画面が PC 接続中の表示であることを確認して、ホールドスイッチをホールド側にする**





録音 LED が点灯し、充電が始まります。

- 充電中は画面の電池残量の表示が図のように切り換わります。
- 途中で充電を止めるときは、ホールドスイッチを戻してください。
- 充電が完了すると、録音 LED が消灯します。
- 充電時間は約 220 分です。

※充電時間は、使い切った電池を満充電する場合の目安です。電池の残量や周囲温度などによって充電時間は変化します。

充電が完了したら、本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプターから取り外す
☞パソコンから取り外す（159 ページ）

- クレードルを使って本機を充電することもできます。

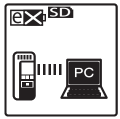
☞ クレードルで充電する（43 ページ）

- 電池切換の設定が「アルカリ電池」に設定されている場合は充電されません。
- ホールドスイッチをホールド側にした状態でパソコンまたは USB 対応 AC アダプターに接続すると充電が開始されません。ホールドスイッチをいったん戻してから、再度ホールド側に切り換えてください。
- 画面に PC 接続中の表示が出ないときは、再度、本機をパソコンまたは USB 対応 AC アダプターに接続し直してください。

☞ パソコンに接続する（158 ページ）

- 以下の状態のときは充電しない場合があります。
  - パソコンが休止状態のモードになったとき
  - パソコンを再起動したとき
- 図のように充電表示にが表示されると、以下のような理由により充電できません。
  - エネループ充電池以外の電池が入っている
  - 本機に電池が入っていない
  - 本機の温度が上がっている

  （パソコンから取り外し、電源オフ状態でしばらく放置してから接続してください。）



- 充電中に電池があたたかくなることがありますが異常ではありません。
- 満充電しても、電池の使用時間が著しく短くなったときが電池の寿命です。新しい単 3 形エネループ充電池をお買い求めください。
- 充電中は電池ぶたを必ず閉めてください。
- データ転送中でも充電はできますが、使用状況によっては充電完了後の使用時間が短くなることがあります。
- 充電は周囲の温度が 5 ～ 35℃の環境でおこなってください。

パソコンで見る本機のフォルダ / ファイルについて

1 本機をパソコンに接続する

☞ **パソコンに接続する（158 ページ）**

2 マイ コンピュータを開く

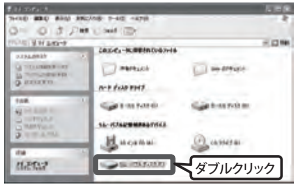
［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］をクリックする。または、デスクトップ上の［マイ コンピュータ］をダブルクリックする。

3 リムーバブル ディスクを開く

［リムーバブル ディスク］をダブルクリックする。

・リムーバブル ディスクが表示されなかったら

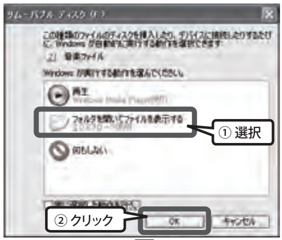
☞ 本機が正常に認識されているか確認する（181 ページ）

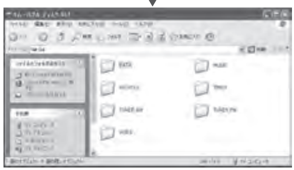


本機のフォルダが表示されます。

☞ フォルダとは（24 ページ）

本機接続時に［自動再生］画面（☞ 159 ページ）が表示された場合、「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択し、「OK」をクリックしても、本機のフォルダを表示させることができます。





- **本機で録音した MP3 または、WAV ファイルの名前をパソコンで変更すると、元のフォルダで再生できなくなります。ファイル名規則に沿ったファイル名に戻すか、MUSIC フォルダに移して再生してください。（☞ 23 ページ）**

録音した音声ファイルをパソコンに保存する

1 本機をパソコンに接続し、マイコンピューターからリムーバブルディスクを開く

☞パソコンに接続する（158 ページ）

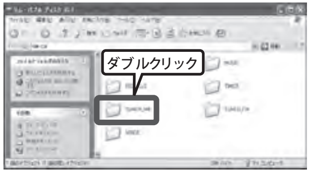
- マイコンピューターの開き方については（☞ 162 ページ）

2 録音した音声ファイルが入っているフォルダを開く

［リムーバブル ディスク］内の［TUNER_AM］をダブルクリックする。

- ここでは、「TUNER_AM」フォルダを開く例です。

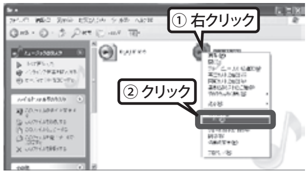
☞ファイル / フォルダについて（23 ページ）



3 パソコンに保存したいファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから [コピー] をクリックする

コピーする準備が完了しました。

- パソコンに保存するとともにそのファイルを本機から消去する場合は [切り取り] を選んでください。



4 保存先のフォルダを開く

［スタート］メニューから［マイミュージック］をクリックする。

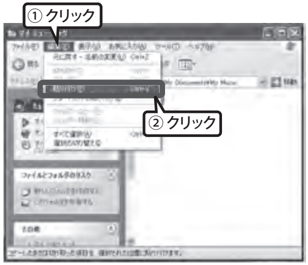
- ここでは [マイ ミュージック] に保存する例です。

5 音声ファイルを転送する

［編集］をクリックし､表示されたメニューから［貼り付け］をクリックする。

保存先のフォルダに同じ名前のファイル作成されたら保存完了です。

- **転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。**



6 本機をパソコンから取り外す

☞パソコンから取り外す（159 ページ）

パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す

マイミュージックに保存した音声ファイルを本機に戻して再生する方法について説明します。パソコンに保存されたファイルを本機で聞くときは、MUSIC フォルダに転送してください。

1 本機をパソコンに接続する

☞パソコンに接続する（158 ページ）

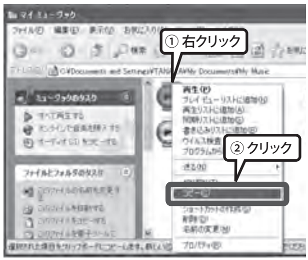
2 マイ ミュージックを開く

[スタート] メニューから「マイ ミュージック」をクリックする。または、デスクトップ上の [マイ ミュージック] をダブルクリックする。

- マイ ミュージック以外の他の場所にファイルを保存している場合は、ファイルが保存されている場所を開いてください。

3 転送したい音声ファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから [コピー] をクリックする

コピーする準備が完了しました。

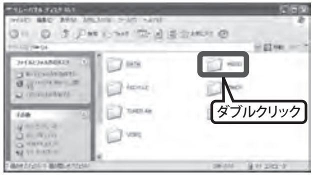


4 マイ コンピュータからリムーバブルディスクを開く

・マイコンピューターの開き方については（☞ 162 ページ）

5 MUSIC フォルダを開く

［MUSIC］をダブルクリックする。

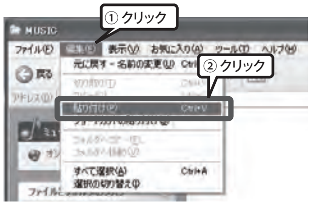


6 音声ファイルを転送する

［編集］をクリックして表示されるメニューから［貼り付け］をクリックする。

コピーが開始され、同じ名前のファイルが作成されたら転送完了です。

- **転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。**



7 本機をパソコンから取り外す

☞ パソコンから取り外す（159 ページ）

知っておくと便利です

■ファイルを VOICE、TIMER（T1 ～ T5）、TUNER_AM、TUNER_FM フォルダに戻す場合

ファイル名規則（☞ 23 ページ）に沿ったファイルのみ再生できます。ファイル名を確認し、元のフォルダへ入れてください。例えば、“001_081120 A 1008.MP3” のファイルは TUNER AM フォルダに、“001_081120 V.MP3” のファイルは VOICE フォルダに戻します。その他のフォルダへ戻しても、再生できません。

・ファイル名から元のフォルダを調べることができます。

001_081120A1008.MP3

元のフォルダ

A: TUNER_AM または T1 ～ T5 フォルダ
F: TUNER_FM または T1 ～ T5 フォルダ
V: VOICE または T1 ～ T5 フォルダ

音声ファイルを CD-R/RW にコピーする

本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R/RW にコピーすることができます。以降の手順は、本機で録音した音声ファイルを、[マイ ドキュメント]の[マイ ミュージック] に保存した状態で説明しています。

- **CD-R/RW にコピー中は、他の操作をしないでください。ノイズ混入の原因になります。**

1 **Windows Media Player を起動する**

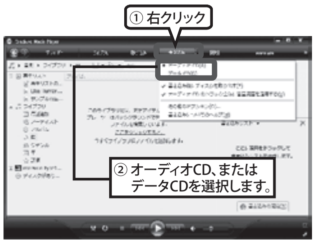
画面左下の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］ー［Windows Media Player］をクリックして、Windows Media Player11 を起動する。

2 **[書き込み] をクリックする**

書き込み画面が表示されます。

3 **書き込み形式（作成する CD の種類）を選択する**

[書き込み] ボタンの上で右クリックし、表示されるメニューから、[オーディオ CD] または [データ CD] をクリックする。



［オーディオ CD］：
CD-DA 形式に変換して CD-R/RW にコピーします。CD-R 対応のコンポやカーオーディオなどで再生できます。
［データ CD］：
本機で録音した形式（MP3、PCM）のまま CD-R/RW にコピーします。パソコン上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。

・ オーディオ CD を選択して CD-R/RW にコピーする場合、CD の容量によって最大で以下の記録時間となります。（あくまで理論値であり、保証するものではありません）
650MB…74 分
700MB…80 分
コピーしたい音声ファイルが上記時間以上のときは、あらかじめ本機でファイル分割してください。

☞**録音したファイルを分割する（88 ページ）**

4 空の CD-R を CD-R/RW ドライブに挿入する

書き込みリストの上に、挿入した CD の情報（残り記録時間など）が表示されます。

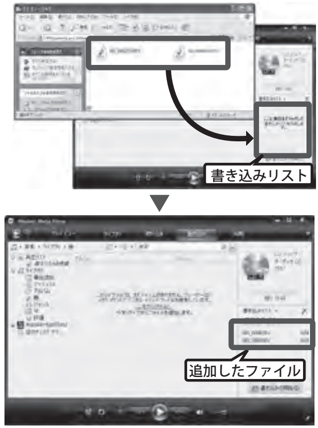
5 [スタート] メニューから [マイミュージック] を開く

・ マイミュージック以外の他の場所に書き込むファイルを保存している場合は、ファイルが保存されている場所を開いてください。

6 CD-R にコピーしたいファイルを Windows Media Player の [書き込みリスト] にドラッグ & ドロップして追加する

[書き込みリスト] に追加されたファイルが表示されます。

- ドラッグ & ドロップとは、パソコン画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態で、マウスの左ボタンをクリックしたまま移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）操作のことです。



- 書き込みリスト上でファイルの再生時間が表示されていないファイルは、書き込みエラーとなります。この場合は一度そのファイルをダブルクリックして再生してください。時間が表示されるようになり、書き込みもできるようになります。

7 書き込みを開始する

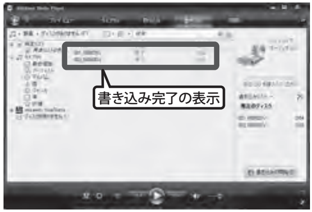
[書き込みの開始] をクリックして、CD-R への書き込みを開始する。

8 書き込みの完了

[完了] と表示されたら、CD-R/RW への書き込みは完了です。

- Windows Media Player の設定によっては、自動的に CD トレイが開きます。

- 書き込みリストに追加した音声ファイルの合計時間が記録可能時間を超えた場合、Windows Media Player11 は自動的に複数の CD に分けて書き込みます。また、Windows Media Player11 は書き込み時に曲の間に 2 秒間の間隔を空けるため、合計時間が CD の長さと正確に一致していても最後の曲が収まらない可能性があります。



本機で音楽を聞く

本機で音楽を楽しむには、まずパソコンに音楽ファイルを記録し、それを本機に転送する必要があります。

■音楽ファイルを記録するには

音楽ファイルを記録するには以下の 2 通りの方法があります。

- 音楽 CD や語学 CD から作成する
- インターネット上の音楽配信サービスを利用する

本機で再生できる形式は、次の 3 形式のファイルです。

- WMA 形式のファイル（PD-DRM 対応）
- MP3 形式のファイル
- 本機で録音した WAV 形式のファイル

※AAC 形式など、本機に対応していない記録形式では再生できません。

- **お客様が取得した MP3・WMA・WAV 形式ファイルは個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で複製や配布したり、インターネットへの掲載などに使用することは、固く禁じられています。**
- **本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、または音楽ファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。**

音楽 CD を記録する場合	音楽配信サービスを利用する場合
Windows Media Player を起動し、音楽 CD の曲をライブラリへ取り込みます。 ライブラリへの取り込みが終わった段階で、音楽 CD の内容が MP3（または WMA）形式の音楽ファイルへと変換されます。 ☞ **音楽ファイルを作成する（CD リッピング）（174 ページ）**	WMA 形式に対応している音楽配信ホームページから音楽ファイルを購入します。 本機は PD-DRM に対応しています（DRM10 には対応していません）。

▼ ▼

Windows Media Player を使って音楽ファイルを転送します。
☞ **Windows Media Player で音楽ファイルを転送する（176 ページ）**

音楽ファイルを作成する（CD リッピング）

音楽 CD や語学 CD から本機で再生可能なファイル（MP3 または WMA）を作成し、パソコンに取り込む方法について説明します。

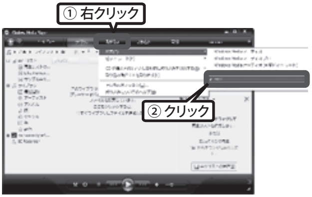
- **CD から音楽ファイルを取り込み中は、他の操作をしないでください。ノイズ発生の原因となります。**

1 **Windows Media Player を起動する**

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択して、Windows Media Player を起動する。

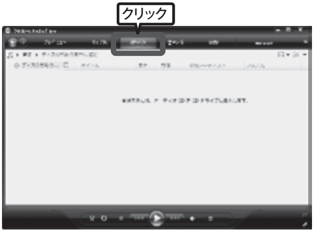
2 **Windows Media Player の設定を変更する**

[取り込み] の上で右クリックして表示されるメニューから、[形式] - [mp3] をクリックする。



3 **[取り込み] をクリックし、音楽 CD をパソコンの CD-R/RW ドライブに挿入する**

- お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽 CD の曲情報を入手して表示します。インターネットに接続していない場合や、CD の種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。



4 **取り込みを開始する**

パソコンに取り込みたい曲にチェックをつけて
[取り込みの開始] をクリックする。

・ Windows Media Player の設定によっては、CD を挿入したとき自動的に取り込みが開始されます。

5 **取り込みの完了**

選択した曲がすべて［ライブラリに取り込み済み］と表示されたら、取り込みは完了です。
取り込まれたファイルは、Windows Media Player の初期設定では、マイミュージックにアーティストやアルバムごとに分かれて保存されます。

Windows Media Player で音楽ファイルを転送する

パソコンに取り込んだ音楽ファイルを、本機に転送することができます。
CD からパソコンに音楽ファイルを取り込む方法については「音楽ファイルを作成する（CD リッピング）」を参照してください。（☞ 174 ページ）

1 **Windows Media Player を起動する**

「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「Windows Media Player」を選択して、Windows Media Player を起動する。

2 **[同期] をクリックする**

同期画面が表示されます。

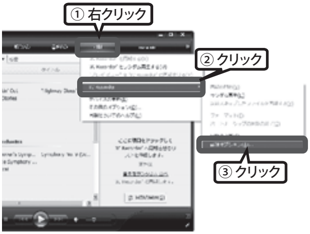
3 **本機をパソコンに接続する**

☞ パソコンに接続する（158 ページ）

接続した機器の情報が表示されます。
デバイスの設定画面が表示された場合は [完了] をクリックしてください。

4 同期の設定を行う

[同期] の上で右クリックし、表示されるメニューから [リムーバブルディスク] – [詳細オプション] をクリックする。



5 [同期] タブの [デバイスにフォルダ階層を作成する] にチェックをつけ、[OK] をクリックする

初期状態でチェックが入っていると、フォルダが作成されない場合がありますので、一度チェックを外してから、再度チェックをつけ、[OK] をクリックしてください。

6 同期リストを作成する

画面左側のライブラリから同期したい音楽ファイルを選択し、画面右側の「同期リスト」にドラッグ＆ドロップする。

- Ctrl キーを押しながら音楽ファイルを選択することで、複数のファイルをまとめて選択して追加することができます。
- アーティストやアルバムのジャケット画像をドラッグ＆ドロップすれば、そのアーティストやアルバムに含まれるすべての曲が同期リストに追加されます。

7 同期を開始する

画面右下の [同期の開始] ボタンをクリックする。

8 同期の完了

[デバイスに同期されました] と表示されたら、同期は完了です。

その他の活用方法

microSD カードリーダー / ライターとして使用する

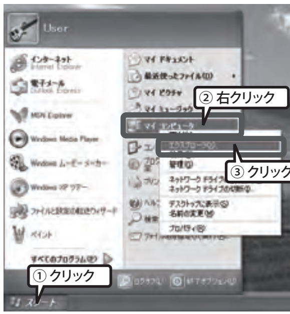
本機は、ラジオ付き IC レコーダーとしての使い方のほかに、microSD カードリーダー / ライターとしてご使用いただけます。文書や画像データを microSD カードに保存することもできます。

パソコンのデータを本機にコピーする

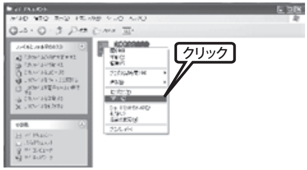
1 パソコンを起動する

2 本機をパソコンに接続する
☞ **パソコンに接続する（158 ページ）**

3 エクスプローラを起動する
［スタート］メニューをクリックし、［マイコンピュータ］の上で右クリックし、表示されたメニューから［エクスプローラ］をクリックする。



4 コピーするファイルが入っているフォルダを開き、コピーするファイルを選択して右クリックし、[コピー] をクリックする



5 [リムーバブル ディスク] をクリックする

6 [編集] をクリックし、メニューから [貼り付け] をクリックする

リムバームディスクに同名のファイルが作成されたら、コピー完了です。

7 本機をパソコンから取り外す

☞ **パソコンから取り外す（159 ページ）**

本機が正常に認識されているか確認する

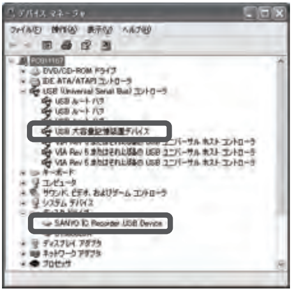
● Windows Vista

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。
[スタート] メニューの「コンピュータ」アイコンの上で右クリックし､表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システム] 画面を開きます。
[デバイスマネージャ] をクリックし、表示されるユーザーアカウント制御画面から [続行] を選択して [デバイスマネージャ] 画面を開きます。
[ディスクドライブ] 及び [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

● Windows XP、Windows 2000

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。
[スタート] メニュー（またはデスクトップ上）の [マイコンピュータ] アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システムのプロパティ] 画面を開きます。
[ハードウェア] タブ内の [デバイスマネージャ] をクリックしてデバイスマネージャ画面を開き、[ディスクドライブ] および [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] に右図のデバイスが表示されていれば正常です。

〈WindowsXP〉



〈Windows2000〉

デバイスマネージャで正しく表示されなかったら

以下の手順で確認を行ってください。

①起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
②接続されている他の USB 機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
③パソコンに USB 端子が複数ある場合（前面・背面など）は、別の USB 端子に本機を接続してください。
④バスパワー型 USB ハブ（USB 端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンの USB 端子に直接付属の専用 USB 接続ケーブルを使用して本機を接続してください。

・ 接続する USB ケーブルは、必ず付属の専用 USB 接続ケーブルを使用してください。

エリアバンド一覧

札幌							
FM				AM			
	放送局	表示名	周波数		放送局	表示名	周波数
1	FM 北海道	AIR-G′	80.4 MHz	1	NHK 第 1 札幌	NHK 第 1 札幌	567 kHz
2	FM ﾉｰｽｳｪｰﾌﾞ	NORTH WAVE	82.5 MHz	2	NHK 第 2 札幌	NHK 第 2 札幌	747 kHz
3	NHK FM 札幌	NHK 札幌	85.2 MHz	3	北海道放送	HBC ラジオ	1287 kHz
				4	STV ラジオ	STV ラジオ	1440 kHz

仙台							
FM				AM			
	放送局	表示名	周波数		放送局	表示名	周波数
1	FM 岩手	FM IWATE	76.1 MHz	1	岩手放送	岩手放送	684 kHz
2	FM 仙台	Date fm	77.1 MHz	2	NHK 第 1 仙台	NHK 第 1 仙台	891 kHz
3	FM 青森	FM 青森	80.0 MHz	3	山形放送	山形放送	918 kHz
4	FM 山形	BOY FM	80.4 MHz	4	秋田放送	秋田放送	936 kHz
5	ふくしま FM	ふくしま FM	81.8 MHz	5	NHK 第 2 仙台	NHK 第 2 仙台	1089 kHz
6	NHK FM 仙台	NHK 仙台	82.5 MHz	6	青森放送	青森放送	1233 kHz
7	FM 秋田	FM 秋田	82.8 MHz	7	東北放送	東北放送	1260 kHz
				8	ラジオ福島	ラジオ福島	1458 kHz

東京							
FM				AM			
	放送局	表示名	周波数		放送局	表示名	周波数
1	Inter FM	Inter FM	76.1 MHz	1	NHK 第 1 東京	NHK 第 1 東京	594 kHz
2	FM 栃木	RADIO BERRY	76.4 MHz	2	NHK 第 2 東京	NHK 第 2 東京	693 kHz
3	bay ｆｍ	bayfm	78.0 MHz	3	山梨放送	山梨放送	765 kHz
4	NACK5	NACK5	79.5 MHz	4	TBS	TBS	954 kHz
5	TOKYO FM	TOKYO FM	80.0 MHz	5	文化放送	文化放送	1134 kHz
6	J-WAVE	J-WAVE	81.3 MHz	6	茨城放送	茨城放送	1197 kHz
7	NHK FM 東京	NHK FM 東京	82.5 MHz	7	ニッポン放送	ニッポン放送	1242 kHz
8	FM 富士	FM-FUJI	83.0 MHz	8	ラジオ日本	ラジオ日本	1422 kHz
9	FM ヨコハマ	FM ヨコハマ	84.7 MHz	9	栃木放送	栃木放送	1530 kHz
10	FM 群馬	FM GUNMA	86.3 MHz				

名古屋							
FM				AM			
	放送局	表示名	周波数		放送局	表示名	周波数
1	FM 福井	FMFUKUI	76.1 MHz	1	NHK 第 1 名古屋	NHK 第 1 名古屋	729 kHz
2	FM-NIIGATA	FM-NIIGATA	77.5 MHz	2	北日本放送	KNB ラジオ	738 kHz
3	ZIP FM	ZIP-FM	77.8 MHz	3	福井放送	FBC ラジオ	864 kHz
4	FM 三重	RADIO3 FM 三重	78.9 MHz	4	NHK 第 2 名古屋	NHK 第 2 名古屋	909 kHz
5	FM PORT	FM PORT	79.0 MHz	5	CBC ラジオ	CBC ラジオ	1053 kHz
6	K-MIX	K-MIX	79.2 MHz	6	信越放送	信越放送	1098 kHz
7	RADIOi	RADIO-i	79.5 MHz	7	北陸放送	北陸放送	1107 kHz
8	FM 長野	FM NAGANO	79.7 MHz	8	新潟放送	新潟放送	1116 kHz
9	Radio 80	Radio 80	80.0 MHz	9	東海ラジオ	東海ラジオ	1332 kHz
10	FM 石川	FM ISHIKAWA	80.5 MHz	10	SBS	SBS	1404 kHz
11	FM 愛知	FM AICHI	80.7 MHz	11	岐阜放送	岐阜放送	1431 kHz
12	NHK FM 名古屋	NHK 名古屋	82.5 MHz				
13	FM とやま	FM とやま	82.7 MHz				

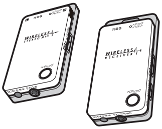
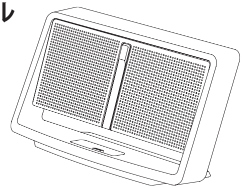
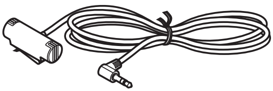
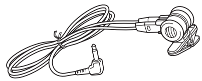
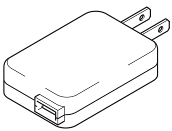
大阪							
FM				AM			
	放送局	表示名	周波数		放送局	表示名	周波数
1	FM COCOLO	FM CO・CO・LO	76.5 MHz	1	ラジオ関西	ラジオ関西	558 kHz
2	FM 滋賀	e-radio	77.0 MHz	2	NHK 第 1 大阪	NHK 第 1 大阪	666 kHz
3	FM802	FM802	80.2 MHz	3	NHK 第 2 大阪	NHK 第 2 大阪	828 kHz
4	NHK FM 京都	NHK FM 京都	82.8 MHz	4	ABC	ABC	1008 kHz
5	FM 大阪	fm osaka	85.1 MHz	5	KBS 京都	KBS 京都	1143 kHz
6	NHK FM 神戸	NHK FM 神戸	86.5 MHz	6	毎日放送	毎日放送	1179 kHz
7	NHK FM 大阪	NHK FM 大阪	88.1 MHz	7	ラジオ大阪	ラジオ大阪	1314 kHz
8	α -station	α -station	89.4 MHz	8	和歌山放送	和歌山放送	1431 kHz
9	Kiss FM	Kiss-FM	89.9 MHz				

広島							
FM				AM			
	放送局	表示名	周波数		放送局	表示名	周波数
1	FM 岡山	FM 岡山	76.8 MHz	1	NHK 第 2 広島	NHK 第 2 広島	702 kHz
2	FM 山陰	fm-sanin	77.4 MHz	2	山口放送	山口放送	765 kHz
3	HFM	広島 FM	78.2 MHz	3	高知放送	高知放送	900 kHz
4	FM 香川	FM 香川	78.6 MHz	4	NHK 第 1 広島	NHK 第 1 広島	1071 kHz
5	FM 山口	FM 山口	79.2 MHz	5	南海放送	南海放送	1116 kHz
6	FM 愛媛	FM 愛媛	79.7 MHz	6	四国放送	四国放送	1269 kHz
7	FM 徳島	FM 徳島	80.7 MHz	7	中国放送	RCC	1350 kHz
8	FM 高知	FM KOCHI	81.6 MHz	8	山陰放送	BSS	1431 kHz
9	NHK FM 広島	NHK FM 広島	88.3 MHz	9	西日本放送	西日本放送	1449 kHz
				10	山陽放送	RSK	1494 kHz

福岡							
FM				AM			
	放送局	表示名	周波数		放送局	表示名	周波数
1	LOVE FM	LOVE FM	76.1 MHz	1	NHK 第 1 福岡	NHK 第 1 福岡	612 kHz
2	フレンズ FM	フレンズ FM	76.2 MHz	2	琉球放送	琉球放送	738 kHz
3	FM 熊本	FMK	77.4 MHz	3	ラジオ沖縄	ラジオ沖縄	864 kHz
4	FM 佐賀	FM 佐賀	77.9 MHz	4	宮崎放送	宮崎放送	936 kHz
5	CROSS FM	CROSS FM	78.7 MHz	5	NHK 第 2 福岡	NHK 第 2 福岡	1017 kHz
6	FM 長崎	fmnagasaki	79.5 MHz	6	大分放送	大分放送	1098 kHz
7	FM 鹿児島	μ FM	79.8 MHz	7	南日本放送	南日本放送	1107 kHz
8	FM 福岡	fm fukuoka	80.7 MHz	8	熊本放送	熊本放送	1197 kHz
9	FM 宮崎	JOY FM	83.2 MHz	9	長崎放送	長崎放送	1233 kHz
10	NHK FM 福岡	NHK FM 福岡	84.8 MHz	10	RKB 毎日放送	RKB 毎日	1278 kHz
11	FM 沖縄	FM Okinawa	87.3 MHz	11	九州朝日放送	九州朝日	1413 kHz
12	FM 大分	FM 大分	88.0 MHz	12	NBC ラジオ佐賀	ラジオ佐賀	1458 kHz

関連商品について

デジタルボイスレコーダーをより便利にご使用いただくための別売品のご紹介です。

デジタルワイヤレスマイクシステム HM-W300  IC レコーダーと組み合わせると、遠くの音を手元で録音することができます。軽量、高音質デジタルワイヤレスマイク	**マルチクレードル** ASX-SP500 (ICR-RS110MF は付属しています)  本機の充電や AC 電源で本機を動作可能。ラジオ放送や音声ファイルをスピーカーから聴くこともできます。
タイピン式ステレオマイク  胸ポケットに入れたまま録音でき、鞄に入れてマイク部だけ出して録音するときなどに効果を発揮します。	**ステレオ 3 WAY マイク** HM-250  携帯電話、ビジネスホンや家庭用固定電話の録音、バイノーラル録音、ポケット録音に対応した多機能 3 WAY マイク。
USB 対応 AC アダプター D-5V-USB2  安全保護回路搭載で簡単充電。	

エラーメッセージ

本機の各操作中にエラーメッセージが表示されることがあります。
エラーメッセージの内容は、下記のとおりです。

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
バッテリー低下	電池切れです 新しい電池と 交換して下さい	アルカリ電池設定で電池切れになった場合に表示されます。	32 ページ
	電池切れです 電池を 充電して下さい	エネループ設定で電池切れになった場合に表示されます。	32 ページ
再生	再生するﾌｧｲﾙが ありません	フォルダ内に再生ファイルがない場合で、再生ボタンを押した場合に表示されます。	75 ページ
	このファイルは 可変速再生 できません	PCM 録音再生時に、再生スピードの変更操作をした場合に表示されます。	79 ページ
録音	容量が一杯です	microSD カードの空き容量がない時に録音した場合に表示されます。	200 ページ
	ﾌｧｲﾙが一杯です	各フォルダの録音可能なファイル数を超えて録音した場合に表示されます。	26 ページ
タイマー録音	時報設定の 設定時間が 重なっています 確認してください	時報設定時刻とタイマー予約時間が重なっている場合に表示されます。	100 ページ 101 ページ 113 ページ 147 ページ
	No. ○と 設定時間が 重なっています 確認してください	タイマー予約設定時間が他の予約設定時間と重なっている場合に表示されます。	100 ページ 101 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
タイマー録音	設定時間は 最大 12 時間です 開始 / 終了時間を 確認して下さい	タイマー予約設定の最大設定時間である 12 時間を越えて設定した場合に表示されます。	101 ページ
編集（インデックス）	インデックス が一杯です	インデックスが最大数（1 ファイルあたり 36 個）を超えた場合に表示されます。	85 ページ
編集（ファイル分割）	このフォルダに これ以上の ファイルを 作成できません	フォルダ内に再生可能なファイル数が最大まである状態で、ファイル分割操作をした場合に表示されます。	88 ページ
	ファイル分割に 必要な空き容量 が足りません	ファイル分割するために必要な microSD カードの空き容量がない場合に表示されます。	88 ページ
	録音時間が 短いので 分割できません	ファイル分割可能な録音時間よりも短いファイルを分割操作した場合に表示されます。	88 ページ
	現在の停止位置 ではファイルを 分割できません	ファイル分割できない位置で分割操作した場合に表示されます。	88 ページ
編集（全般）	MUSIC ﾌｫﾙﾀﾞ では 編集できません	MUSIC フォルダを選択時に分割ボタンを押した場合に表示されます。	23 ページ 88 ページ
リスト表示	再生するファイルが ありません	フォルダ内に本機で再生できるファイルがない場合に表示されます。	28 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
ゴミ箱	ゴミ箱ﾌｫﾙﾀﾞでは 編集できません	ゴミ箱フォルダを選択時に分割ボタンを押した場合に表示されます。	23 ページ 88 ページ
	ゴミ箱が 一杯です 空にして下さい	ゴミ箱フォルダ内のファイルが最大（199）まである状態で、ゴミ箱設定「ON」でファイルを削除し、これ以上ゴミ箱へ移せない場合に表示されます。	119 ページ 121 ページ
	＊が一杯です ファイルを 戻せません	ゴミ箱からファイルを戻した際に、戻し先のフォルダに録音可能な最大数のファイルが存在している場合に表示されます。（＊は戻し先のフォルダ名）	118 ページ
microSD カード関連	SD カードを 挿入して下さい	microSD カードが挿入されていない状態で、録音や再生ボタンを押し microSD カードにアクセスした場合に表示されます。	37 ページ
	microSD ｶｰﾄﾞが 正しく 認識しません 再挿入下さい	microSD カードの挿入で認識に失敗した場合や、microSD カードが壊れている場合などに表示されます。	39 ページ
	SD カード 書込み速度が 遅いです	PCM 録音時などに録音の書き込みが正しくできない状態が発生した際に表示されます。	39 ページ
ラジオ	プリセットモードで チャンネル選択し 削除して下さい	周波数選択モードでプリセット削除を実行したときに表示されます。	59 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
プレイリスト編集	このプレイリストにこれ以上ファイルを登録できません	1つのプレイリスト（MYLIST）に100ファイル目を登録しようとした場合に表示されます。	91ページ
	MUSICフォルダ以外ではプレイリスト操作できません	MUSIC（M）フォルダ以外のフォルダ内のファイルを選択して、プレイリスト（MYLIST）に登録しようとした場合に表示されます。	91ページ
	全てのファイルをプレイリストへ追加できませんでした	1つのプレイリスト（MYLIST）に100ファイル以上のファイルを登録しようとした場合に表示されます。	91ページ
	ファイルがない為プレイリスト操作できません	プレイリストに登録されている元のファイルが削除されている場合に表示されます。	91ページ
	ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾌｧｲﾙは選択できません	リスト表示中にプレイリストファイルを選択してメニューボタンを押したときに表示されます。	28ページ

故障かな？と思ったら

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　　　因	電池が正しく入っていないか、電池切れである
解 決 方 法	電池が正しく入っていることを確認してください。 一度電池を完全に抜いてから、電池を正常に入れ直してください。または充電するか新しい電池に交換してください。 31ページ「電池を入れる」参照

ボタンまたはスイッチを押しても反応しない

原　　　因	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている
解 決 方 法	誤動作防止機能（ホールド機能）を解除してください。 36ページ「誤動作を防止する（ホールド機能）」参照

原　　　因	USB接続したままである
解 決 方 法	本機をパソコンから取り外してください。 159ページ「パソコンから取り外す」参照

microSD カードが認識されない

原　　　因	microSDカードが正しく挿入されていない
解 決 方 法	本機の電源をオフにし、再度microSDカードを挿入し直してください。

原　　　因	microSDカードを本機以外（パソコンなど）でフォーマットした
解 決 方 法	microSDカードを本機でフォーマットしてください。 124ページ「microSDカードを初期化する（フォーマット）」参照

エネループが充電できない

原　　　因	電池切換が「アルカリ電池」に設定されている
解 決 方 法	電池切換を「エネループ」に設定してください。 150ページ「使用する電池の種類を設定する」参照

原因	本機をパソコンに接続しただけである
解決方法	パソコンでの充電は、接続しただけでは自動的に充電されません。充電操作をしてください。 160ページ「エネループを充電する」参照

原因	クレードル接続時、本機の電源がONのままである
解決方法	本機の電源をOFFにしてください。 43ページ「クレードルで充電する」参照

充電すると を表示する

原因	・エネループ充電池以外の電池を入れて充電しようとした ・本機に電池を入れずに充電しようとした ・電池が正しく入っていない
解決方法	本機にエネループ充電池を入れて充電してください。

原因	本機の温度が上がっている
解決方法	本機をパソコンから取り外して、しばらく放置してから再充電してください。

音声が聞こえない

原因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 74ページ「ファイルを再生する」参照

フォルダ（VOICE、TUNER_AM、TUNER_FM、T1 ～ T5、）内のファイルが再生できない

原因	ファイル名が異なる
解決方法	上記フォルダ内のファイルは、パソコンでファイル名を変更すると元のフォルダに戻しても再生できなくなりますが、MUSIC（M）フォルダに転送すると、本機で再生できるようになります。

原因	本機で録音したWAV形式の音声ファイルではない
解決方法	本機以外で録音したWAV形式の音声ファイルの再生はできません。

MUSIC（M）フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原因	再生できるファイル形式ではない
解決方法	正常に再生できるWMA形式またはMP3形式のファイルをご使用ください。

原因	本機で録音したWAV形式の音声ファイルではない
解決方法	本機以外で録音したWAV形式の音声ファイルの再生はできません。

原　　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、MUSIC（M）フォルダ以外のフォルダに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内のMUSIC（M）フォルダ内に転送してください。 176ページ「Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する」参照

原　　因	本機で再生できないファイルとなっている
解決方法	エンコーダー（MP3・WMA変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

原　　因	プレイリストに書かれているファイルがMUSIC(M)フォルダ内にない
解決方法	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSIC(M)フォルダ内にそのファイルを転送してください。

原　　因	転送方法が異なる
解決方法	著作権保護されているファイルは、エクスプローラで転送しても再生できません。Windows Media Playerで転送してください。 176ページ「Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する」

原　　因	再生可能なファイル数を超えている
解決方法	1つのフォルダにつき最大199ファイルのみ再生可能です。サブフォルダがある場合は、サブフォルダの数だけ、再生できるファイル数が減ります。別のフォルダに保存してください。

ファイル分割ができない

原　　因	microSDカードの空き容量が足りない
解決方法	不要なファイルを消去してください。 120ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照

原　　因	ファイルの録音時間が短すぎる
解決方法	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。 PCM44.1…約2秒以上、MP3:192…約2秒以上、MP3:128…約4秒以上、MP3:64…約8秒以上、MP3:32…約16秒以上

原　　因	フォルダあたりの最大ファイル数(199)を超えている。
解決方法	不要なファイルを消去してください。 120ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照

ファイルが消去できない

原　　因	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている
解決方法	本機をパソコンに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。または、microSDカードのフォーマット（初期化）をおこなってください。 124ページ「microSDカードを初期化する（フォーマット）」参照

PC 接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	専用USB接続ケーブルが本機側、パソコン側共に最後まで正しく差し込まれていることを確認の上、再度接続してください。 158ページ「パソコンに接続する」参照

原　　因	Windows 98, 98SE, MeのPCおよびMacintoshに接続している
解決方法	Windows 98, 98SE, Me及びMacintoshはサポートしていません。

原　　因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	バスパワー型USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSB端子と本機を直接接続するか、またはセルフパワー型（電源アダプター付）のUSBハブを使用してください。または、パソコン本体に複数USB端子がある場合は、他のUSB端子に接続してください。 158ページ「パソコンに接続する」参照

原　　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名を表すアルファベット）がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

録音した音声に音の歪み（音割れ）が発生している

原　　因	マイク感度が適切でない
解決方法	・マイク感度を「低」に切り換えてください。それでも音割れする場合は「LowCutフィルタ」をON、マイクALCをOFFにし、録音レベルを調整して録音してください。 132ページ「マイク感度を切り換える」参照 134ページ「LowCutフィルタを設定する」参照 67ページ「楽器や自然の音などを録音する」参照

録音したファイルに音とびが発生する

原　因	推奨品以外のmicroSDカードを使っている
解決方法	推奨品のmicroSDカードをご使用ください。 38ページ「microSDカードについて」参照

原　因	・microSDカードを本機以外（パソコンなど）でフォーマットした ・メモリの断片化が進んでいる
解決方法	microSDカードを本機でフォーマットしてください。 124ページ「microSDカードを初期化する（フォーマット）」参照

録音できない

原　因	microSDカードの直下（ルートフォルダー）にファイルやフォルダが多数存在すると、それ以上ファイルが作成できないため、録音ができません。 例えば、半角8文字のファイル名のファイルがmicroSDカードの直下に256個あると、それ以上ファイルをコピーしたり、フォルダを作成したりすることができません。
解決方法	microSDカードの直下（ルートフォルダー）のファイルやフォルダを削除してから、録音を開始してください。

PC 接続時に、本機の画面に接続アイコン表示がでない

解決方法	パソコンによっては、パソコンに接続した時に、本機の画面に接続アイコン表示がでない場合や、パソコン側で本機が認識されない場合があります。その時は本機をパソコンより抜いて再度接続してください。

カレンダーが正しく表示されない

解決方法	日時を再設定してください。 44ページ「カレンダー（日時）を設定する」参照

ファイルを削除したのに空き領域が増えない

原　因	ゴミ箱の設定がONになっている
解決方法	ゴミ箱の中身を消去してください。 119ページ「ゴミ箱内のファイルを空にする」参照

ラジオの雑音が多く聞きづらい

原　　　因	近くに雑音源（テレビやモーター、電気器具など）がある
解 決 方 法	設置場所を変えてみてください。 41ページ「本機の使用場所について」参照
原　　　因	周波数がずれている
解 決 方 法	周波数を調整してください。 53ページ「ラジオ放送の選局について」参照

タイマーが正常に動作しない（予約録音ができていなかった）

原　　　因	カレンダーが初期化されている
解 決 方 法	カレンダーの設定を行なってください。 44ページ「カレンダー（日時）を設定する」参照
原　　　因	録音先のフォルダーがいっぱいになっている
解 決 方 法	不要なファイルを消去してください。 120ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照 録音先を変更してください。 111ページ「step11 録音先を設定する」参照
原　　　因	電池の残量がない
解 決 方 法	電池を交換する。 32ページ「電池の残量について」参照
原　　　因	microSDカードの空き容量がない
解 決 方 法	不要なファイルを消去してください。 120ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照
原　　　因	本機にmicroSDカードが入っていない
解 決 方 法	microSDカードを取り付けてください。 37ページ「microSDカードを取り付ける/取り外す」参照

FM 放送が受信できない

原　　　因	付属ヘッドホンが差し込まれていない
解 決 方 法	本機のヘッドホン端子に付属のステレオヘッドホンを差し込んでください。

よくあるご質問

Q：アルカリ乾電池やエネループ充電池以外の電池は使えますか?

A：マンガン電池、ニカド電池は使用しないでください。オキシライド電池は使用できます。（電池の持続時間はアルカリ乾電池の場合とほぼ同じになります。）

Q：マイク録音した音声にガサガサ雑音が入るのはなぜ?

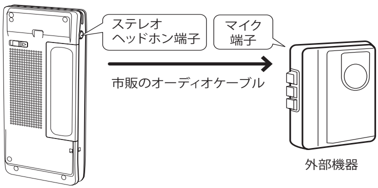
A：マイク録音中に本機や本機を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。マイク録音中はできるだけ本機を動かさないようにしてください。

Q：うまく録音するコツは?

A：録音場所や周囲の状況により録音状態が異なりますので、事前に試し録音をして適切な録音モードやマイク感度を選択してください。72 ページを参考に、本機の設定を行ってください。

Q：録音内容をテープ・ＭＤなどに保存するには?

A：市販のオーディオケーブル（ミニプラグ：3.5ø）を使えば、本機で録音したファイルを、簡単にテープレコーダーや MD レコーダーなどの外部機器にダビングして保存することができます。



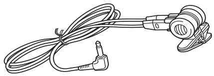
使用するオーディオケーブル

外部機器側	オーディオケーブル
マイク入力	ミニプラグ：3.5ø、抵抗入り
音声ライン入力	ミニプラグ：3.5ø、抵抗なし

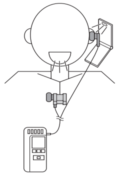
- ステレオのオーディオケーブルをご使用ください。
- ダビングする時は、事前にためし録音をし、本機で音量の調節を行ってください。
- テープレコーダーやMDプレーヤーから本機への録音も可能です。☞71ページ

Q：電話の音声を録音するには?

A：別売品：3WAY ステレオマイク「HM-250」を使って録音できます。携帯電話、家庭用固定電話または、ビジネスホンなどの会話を録音するときに便利です。



3WAYステレオマイク「HM-250」



Q：取扱説明書に記載されている録音可能時間は、1 つのファイルごとの録音可能時間ですか?

A：いいえ、ちがいます。各録音モードの録音可能時間とは、microSD カード内に録音ファイルが何もない状態で、録音モードを変えることなく最初から最後まで録音した場合の合計時間です。例えば、1 ファイルでメモリが一杯になるまで録音すると、ファイルやフォルダを変更してもそれ以上は録音できません。

Q：パソコンにいったん保存した録音ファイルを、本機に再び戻したら再生できなくなりました。

A：パソコンでファイル名を変更していませんか?ファイル名を変更すると、VOICE フォルダや TIMER フォルダ（T1 ～ T5）などに戻しても再生できません。ファイル名を変更した場合は、MUSIC フォルダに転送すると再生できるようになります。

その他のよくあるご質問ならびに本機ファームウェアのバージョンアップ情報については、当社ホームページのサポートページ　http://www.sanyo-audio.com/support/icr/　にて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。

お手入れについて

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

■温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本機の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

対応 OS:　Windows Vista/XP/2000

対応メディア :　microSD カード、microSDHC カード
（※当社推奨 microSD カード以外での動作保証はいたしません）

録音モードと録音可能時間 :

録音モード	microSD カードのサイズ				
	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB
PCM44.1kHz	約 45 分	約 1 時間 20 分	約 3 時間	約 6 時間	約 12 時間
MP3 192kbps	約 5 時間 50 分	約 11 時間	約 22 時間 30 分	約 45 時間	約 90 時間
MP3 128kbps	約 8 時間 50 分	約 16 時間 30 分	約 34 時間	約 68 時間	約 136 時間
MP3 64kbps	約 17 時間 40 分	約 33 時間	約 68 時間	約 136 時間 30 分	約 272 時間
MP3 32kbps	約 35 時間 30 分	約 66 時間	約 136 時間	約 273 時間	約 544 時間

・表記の録音時間は目安です。microSD カードのメーカー、仕様により変わることがあります。
・録音されたファイルが複数あるときは、合計の録音時間はこれより短くなります。
・録音可能時間とは、microSD カードに何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せずに最初から最後まで録音した場合のすべてのフォルダの最大合計時間です。
※ 1 ファイルあたりの最長録音時間（連続録音時間）は 2GB までです。
ただし、電池の持続時間を超えて連続録音することはできません。

録音周波数特性 :
（外部マイク録音時）
40 ～ 21,000Hz（PCM 44.1kHz 16bit 時）
40 ～ 20,000Hz（MP3 192kbps 時）
40 ～ 15,000Hz（MP3 128kbps 時）
40 ～ 7,500Hz（MP3 64kbps 時）
40 ～ 6,500Hz（MP3 32kbps 時）
（内蔵マイク録音時）
60 ～ 20,000Hz（PCM 録音時）
※ MP3 録音時の周波数特性の上限値は、外部マイク録音時の各録音モードに準じます。また、下限値は各録音モード 60Hz となります。

録音フォーマット :　MP3、PCM（WAV）

再生フォーマット :　MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3）、WMA、
PCM（本機で録音したファイルのみ）

再生周波数特性 :	20 〜 21,000Hz		
サンプリング周波数 :	16 〜 44.1kHz		
再生対応ビットレート :	16 〜 320kbps（MP3）		
	32 〜 192kbps（WMA）		
	※ VBR 形式ファイルなどファイルによっては正常に再生されない場合があります。		
ラジオ受信周波数 :	［AM］522 〜 1629kHz		
	［FM］76 〜 90MHz		
入・出力端子 :	USB miniB、ステレオヘッドホン 3.5ø ミニ、		
	ステレオマイク 3.5ø ミニ、microSD カードスロット、I/O 端子		
動作温度 :	＋ 5℃〜＋ 35℃		
定格出力（イヤホン）:	10mW ＋ 10mW(16 Ω負荷時、JEITA/DC)		
（スピーカー）	80mW(16 Ω負荷時、JEITA/DC)		
電源 :	単 3 形エネループ充電池（単 3 形アルカリ乾電池）× 1 本、AC 電源（USB、I/O）		
充電時間 :	約 220 分		
電池持続時間 :（録音時間）	［MP3］64kbps		約 53 時間 30 分（アルカリ乾電池）
			約 43 時間 30 分（エネループ充電池）
	［PCM］44.1kHz 16bit		約 23 時間 30 分（アルカリ乾電池）
			約 19 時間 30 分（エネループ充電池）
（ラジオ録音時間）:	AM: ［MP3］128kbps		約 20 時間（アルカリ乾電池）
			約 16 時間 15 分（エネループ充電池）
	FM: ［MP3］128kbps		約 17 時間（アルカリ乾電池）
			約 13 時間 45 分（エネループ充電池）
	（録音環境：録音 LED OFF、バックライト OFF、録音モニターなし、ALC ON 時）		
（再生時間/イヤホン）:	［MP3］		約 53 時間 30 分（アルカリ乾電池）
			約 43 時間 30 分（エネループ充電池）
	［PCM］		約 24 時間（アルカリ乾電池）
			約 20 時間（エネループ充電池）
	（再生環境：録音 LED OFF、バックライト OFF、サウンド EQ FLAT 時）		

(再生時間/スピーカー):	[MP3]	約 41 時間（アルカリ乾電池）
		約 33 時間 30 分（エネループ充電池）
	[PCM]	約 22 時間（アルカリ乾電池）
		約 17 時間 45 分（エネループ充電池）
(ラジオ受信/イヤホン):	AM	約 25 時間 30 分（アルカリ乾電池）
		約 20 時間 45 分（エネループ充電池）
	FM	約 21 時間 30 分（アルカリ乾電池）
		約 17 時間 30 分（エネループ充電池）

（再生環境：録音 LED OFF、バックライト OFF、サウンド EQ FLAT 時）

※電池持続時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。アルカリ乾電池、もしくは当社製充電池（エネループ充電池）以外での動作保証はいたしません。

最大外形寸法 : 約 幅 49.5 ×高さ 113.5 ×奥行き 18(mm)

質量 : 約 92g（エネループ充電池含む）

付属品 :

インナーイヤー型ステレオイヤホン	（1）
専用 USB 接続ケーブル	（1）
単 3 形エネループ充電池	（1）
microSD カード（2GB:ICR-RS110MF, 1GB:ICR-RS110M)）	（1）
マルチクレードル＊	（1）
AM ループアンテナ＊	（1）
FM アンテナ＊	（1）
クレードル用 AC アダプター＊	（1）
本書（保証書付）	（1）
基本操作ガイド	（1）

＊ICR-RS110MF のみ付属しています。

付属マルチクレードルの仕様 (ICR-RS110MF のみ）

品番：ASX-SP500

最大外形寸法	： 約 幅 193 ×高さ 124.5 ×奥行き 100(mm)
質量	： 約 620g
出力	： 0.5W ＋ 0.5W
スピーカー	： フルレンジ　50 mm
電源	： AC アダプター　DC 6V（AC100V, 50/60Hz)

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

■この商品には保証書がついています。
保証書の所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から 1 年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は裏表紙と 211 ページ「無料修理規定」をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このラジオ付き IC レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、6 年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口（204 ページ）」にお問い合わせください

修理を依頼される時は…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1 故障の状況（できるだけくわしく）

2 品番（ICR-RS110MF/ICR-RS110M（本体）
/ASX-SP500（マルチクレードル））

3 お買い上げ年月日（保証書に記入）

4 おなまえ、おところ、電話番号

お客様ご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。

総合相談窓口： 家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口： 修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）
三洋電機（株） お客様センター

相談受付時間　　9:00 ～ 18:30（365 日）

☎ 050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は　**大阪 (06)6994-9570**　におかけください。
※郵便・FAX でご相談される場合

三洋電機 (株)　お客さまセンター

FAX　(06)6994-9510

〒 570-8677　大阪府守口市京阪本通 2-5-5

家電商品の修理サービスについてのご相談　＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間　月曜日～金曜日　[9:00 ～ 18:30]（7 月～ 8 月は [8:45 ～ 19:30]）
　　　　　土曜・日曜・祝日・当社休日　[9:00 ～ 17:30]

東コールセンター（050- がご利用できない場合は、東京 03-5302-3401 へおかけください）

関東・甲信越地区	050-3116-2222
北海道地区	050-3116-2333
東北地区	050-3116-2444

西コールセンター（050- がご利用できない場合は、大阪 06-4250-8400 へおかけください）

近畿・北陸・四国地区		050-3116-2555
中部地区		050-3116-2666　沼津地区は050-3116-2222
中国地区	中国	050-3116-2777
	四国	050-3116-2555
九州地区		050-3116-2888

沖縄地区※	098-944-5018

※受付時間：月曜日～土曜日 9:00 ～ 17:30　（日曜、祝日及び当社休日を除く）

■上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますので、ご了承ください。

お客さまご相談窓口における　お客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

**個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ
http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。**

持込み修理および部品についてのご相談　＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間　　月曜日～土曜日 9:00 ～ 17:30（日曜、祝日及び当社休日を除く）
ご相談は、各地区サービスセンターで承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくはホームページでご確認ください。http://www.sanyo.co.jp

北　海　道　地　区			
札　幌	(011) 831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函　館	(0138) 48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
旭　川	(0166) 22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
北　見	(0157) 23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧　路	(0154) 22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6
東　北　地　区			
仙　台	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
青　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市上野字山辺29-5
盛　岡	(019)623-1600	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-12-1
山　形	(023)641-1769	〒990-2331	山形県山形市飯田西4-5-35
秋　田	(018)862-6551	〒011-0901	秋田県秋田市寺内イサノ93-1
郡　山	(024)945-6793	〒963-0107	福島県郡山市安積3-120
関東・甲信越地区			
さいたま	(048) 778-3095	〒362-0025	埼玉県上尾市上尾下780-1
坂　戸	(049) 284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
宇都宮	(028) 684-2551	〒321-0151	栃木県宇都宮市西川田町53-1
つくば	(029) 8 64-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
水　戸	(029) 251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田3-2386-1
伊勢崎	(0270) 40-7611	〒372-0003	群馬県伊勢崎市華蔵寺町87-1
大　泉	(0276) 63-4401	〒370-0524	邑楽郡大泉町古海541-9
新　潟	(025) 285-2431	〒950-0951	新潟県新潟市中央区鳥屋野187-19
長　岡	(0258) 46-8065	〒940-2127	長岡市新産2-8-6
城　東	(03) 5697-8160	〒120-0005	東京都足立区綾瀬7-22-15綾瀬7丁目ビル
城　北	(03) 5914-3413	〒174-0051	東京都板橋区小豆沢1-23-10
城　西	(03) 5347-0761	〒167-0032	東京都杉並区天沼3-12-12テック杉並

武蔵野	(042) 364-7721	〒183-0033	東京都府中市分梅町5-9-1
横浜	(045) 827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
京浜	(044) 740-3530	〒221-0041	川崎市中原区下小田中5-11-21
平塚	(0463) 55-3926	〒254-0014	平塚市四之宮3-20-60
相模原	(042) 788-2760	〒194-0012	東京都町田市金森851-3
千葉	(043) 208-3800	〒260-0842	千葉県千葉市中央区南町3-7-15
鎌ケ谷	(047) 441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
甲府	(055) 226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23
中部地区			
名古屋	(052) 485-3620	〒453-0816	愛知県名古屋市中村区京田町2-1
岡崎	(0564) 23-3418	〒444-0009	岡崎市小呂町字2丁目30番地
岐阜	(058) 246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静岡	(054) 236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
沼津	(055) 935-0501	〒410-0822	静岡県沼津市下香貫七面1152-2
浜松	(053) 461-8685	〒430-0812	静岡県浜松市南区本郷町123
松本	(0263) 40-3411	〒390-0852	長野県松本市島立1064-1
金沢	(076) 292-2060	〒921-8005	石川県金沢市間明町2-100
富山	(076) 422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
福井	(0776) 53-7134	〒910-0834	福井県福井市丸山1-1002
津	(059) 236-5195	〒514-0111	三重県津市一身田平野285-2
近畿地区			
大阪	(06) 6992-6235	〒570-0086	大阪府守口市竹町4-13
大阪南	(06) 6761-4600	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町5-1-14三洋ビル2F
大阪東	(072) 965-1811	〒578-0903	東大阪市今米2-3-29
阪和	(072) 258-5001	〒591-8025	堺市北長曽根町3068-5
京都	(075) 672-0877	〒601-8135	京都市南区上鳥羽石橋町8 NTTコミュニケーションズ京都南ビル
福知山	(0773) 24-3405	〒620-0062	福知山市和久市町290和久市岩堀ビル2階
奈良	(0744) 22-7888	〒634-0817	奈良県橿原市寺田町113-1
滋賀	(077) 514-2221	〒524-0021	滋賀県守山市吉身4-1-24南井産業第3ビルB棟
和歌山	(073) 473-7112	〒640-8301	和歌山県和歌山市岩橋1636-1
神戸	(078) 651-3951	〒652-0813	神戸市兵庫区兵庫町2-2-18
阪神	(06) 6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6

姫　　路	(0792) 82-7892	〒670-0943	兵庫県姫路市市之郷町1-9
淡　　路	(0799) 42-6015	〒656-0478	兵庫県南あわじ市市福永536-1
中　国　地　区			
広　　島	(082) 279-0170	〒733-0833	広島県広島市西区商工センター4-9-9協和ビル
福　　山	(084) 954-4101	〒721-0952	広島県福山市曙町4-22-10
岡　　山	(086) 245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101
鳥　　取	(0857) 24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南吉方3-107
松　　江	(0852) 23-1183	〒690-0044	島根県松江市浜乃木2-15-3
山　　口	(083) 973-3391	〒754-0024	山口県山口市小郡若草町2-6
四　国　地　区			
松　　山	(089) 979-3486	〒799-2655	愛媛県松山市馬木町2057
四国中央	(0896) 23-3416	〒799-0404	四国中央市三島宮川2-732-4
高　　松	(087) 843-1840	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1657-1
高　　知	(088) 885-3411	〒781-8121	高知県高知市葛島2-8-9
徳　　島	(088) 699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189-1
九　州　地　区			
福　　岡	(092) 441-2541	〒812-0016	博多区博多駅南4-6-23
北 九 州	(093) 521-5286	〒802-0004	福岡県北九州市小倉北区鍛治町2-4-7
久 留 米	(0942) 37-3934	〒830-0038	久留米市西町105-18
長　　崎	(095) 813-3545	〒851-0101	長崎県長崎市古賀町1006-5
佐 世 保	(0956) 31-7635	〒857-1162	佐世保市卸本町17-1
熊　　本	(096) 388-3434	〒861-8045	熊本県熊本市小山3-2-11熊本トラックターミナル内
大　　分	(097) 543-3454	〒870-0829	大分県大分市椎迫5-6組
宮　　崎	(0985) 29-3441	〒880-0022	宮崎県宮崎市大橋3-224
鹿 児 島	(099) 251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町12-14
沖　縄　地　区			
沖　　縄	(098) 944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売（株） サービス部

(171208N)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

さくいん

資料

無料修理規定

裏表紙の保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載に基づき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と保証書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
保証書の★印欄に記載のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。
●品番は色記号を省略しています。

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または破損。
　ロ．お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または破損。
　ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
　ニ．業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
　ホ．保証書の提示がないとき。
　ヘ．保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　ト．消耗部品（例えば電池など）の交換。
2．保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客様の負担となります。
3．ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
4．ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合には、三洋電機お客さまご相談窓口（204 ページ）をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合せください。
5．保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
6．保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

● 裏表紙の保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または三洋電機お客さまご相談窓口（204 ページ）にお問い合わせください。
● 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは 203 ページをご覧ください。

三洋電機株式会社
デジタルシステムカンパニー　国内販売担当
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号
URL:http://www.sanyo-audio.com/support/index.html
(JP2)
1AJ6P1P0059--B